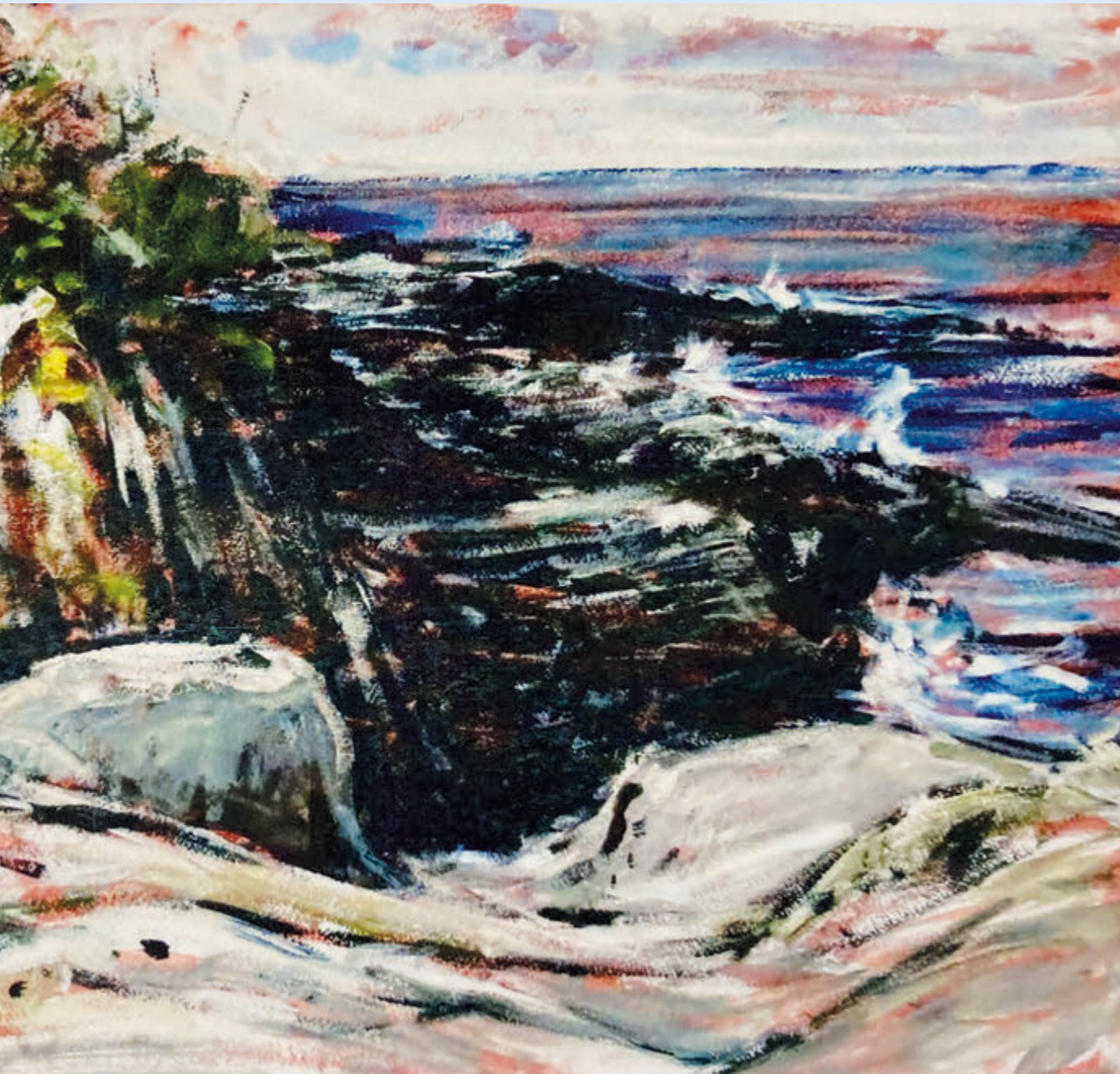


柑 KORO 芦

和歌山大学経済学部柑芦会誌

第52号 (2021年版)

特集:「コロナ禍下における現状と今後」



柑 KORO 蘆

和歌山大学経済学部柑芦会誌

柑芦 52号 (2021年版)

- 特集「コロナ禍下における現状と今後」
- 100周年を迎えるにあたって
- 追悼
- 支部だより
- ゼミ・同期会・クラブ・同好の集まり
- 母校だより
- 柑芦会の活動紹介
- 出合いのひろば(会員談話室)
- 柑芦会
- 後援会
- 訃報



〈表紙絵 / 白浜三段壁〉

作 大20 兵田 二郎

「柑芦 絵画を楽しむ会」の兵田二郎様に表紙をお願いしました。
南紀の名勝三段壁に碎ける波の力強さが印象的です。(編集部)

柑 芦 52号 (2021年版) 目 次

会長挨拶

柑芦会 会長 大18 北村修一 …………… 4

学長・学部長挨拶

和歌山大学学長 伊東千尋 …………… 5
 経済学部長 芦田昌也 …………… 6

特集

「コロナ禍下における現状と今後」

大学

学生 経済 柿本晃希 …………… 8
 岩崎 聖 …………… 9
 矢野詩織 …………… 10
 観光 戸高英里子 …………… 11
 教育 仙波 拓 …………… 12
 シス工 梅木智明・
 酒井貴弘 …………… 13
 教員 経済 金川めぐみ …………… 15
 高見直樹 …………… 16
 厨子直之 …………… 17
 観光 尾久土正己 …………… 18
 教育 内田みどり …………… 19
 シス工 吉野 孝 …………… 20

柑芦会(順不同)

シス工院 志垣沙都子 大61 坂井真奈
 大56 内海大輔 大47 濱口大伸
 大47 夫馬聡子 大46 宮下 剛
 大46 菊池 静 大45 三吉規央
 大43 和田直樹 大43 由井幸枝
 大41 三和田浩次 大39 山本進三
 大37 谷口 充 大35 門屋孝博
 大32 北口正人 大31 梶 正司
 大28 別役久雄 大27 小野田修一
 大26 小路一義 大25 川北雅朗
 大25 垣見祐二 大25 毛利恵行

大20 伊藤僚一 大19 石川和彦
 大15 真下義則 大11 宮本 正
 大 9 魚野宰弘

特別寄稿

コロナ禍における新しい潮流
 教授 大48 岸上光克 …………… 50

100周年を迎えるにあたって

100周年事業の取り組み
 100周年記念事業実行委員会委員長
 経済学部長 芦田昌也 …………… 54
 経済学部創立100周年の歩み(年表) …………… 56
 100周年記念写真 …………… 60

追悼

椎木名誉教授を偲んで 大45 高橋利典 …… 62
 久山 稔さんを偲んで 大11 小池布紗雄 … 63
 野田真之さんを偲ぶ 大17 本多康重 …… 64
 野田真之氏を偲んで 大23 西本正人 …… 65

支部だより

和歌山支部 大28 山中幹事長 …… 66
 大阪支部 大43 由井事務長 …… 67
 東京支部 大34 草場幹事長 …… 68
 神戸支部 大20 平林支部長 …… 69
 北海道支部 大19 田中支部長 …… 71
 三重支部 大31 山際幹事長 …… 72
 広島支部 大45 三吉支部長 …… 73
 香川支部 大22 島田支部長 …… 74
 徳島支部 大26 多田支部長 …… 75
 沖縄支部 大28 當真支部長 …… 76

ゼミ・同期会・クラブ・同好の集まり

和歌山大学合気道部 大16 熊谷研二 …… 78
 川柳サークルの現況 大18 北村修一 …… 84

母校だより

2020年度 香村賞	86
受賞者の作品紹介(6件)	
クラブ紹介 学生支援課	91
硬式野球部、剣道部、フライングディスク部	
STEP	
和歌山大学基金の現状	大23 西本正人 95
新刊書紹介	事務局 97
大学役員及び事務局紹介	事務局 98
経済学部教職員の異動	事務局 99
出身府県別入学者の状況	事務局 100
今年の卒業生の就職状況	キャリアC 102
現在の就職状況について	
経済学部キャリア教育担当	大46 本庄麻美子 105
こんな学生が欲しい	大22 島田新市 106

柑芦会の活動紹介

本部所属の委員会の状況	
寄付講義	大23 西本正人 108
支部活性化支援委員会活動報告	
	大20 辻 均 110

出合いのひろば(会員談話室)

随想

傘寿雑感	大13 中村昌宏 112
もっと赤ちゃんが 生まれる社会に	短17 塩谷幸子 113
中国人研修生たちの事	大17 味野耕二 114
続けたかった 夫婦の末永い「趣味」	大24 内山一夫 116
NHK短歌に入選して	大25 河本 要 118
学生時代の思い出と近況	大25 鈴木晋一 119
和歌山市市会議員として	大29 赤松良寛 120
思い出	大33 福原満夫 121
今回は「日本一」を目指して	大34 草場 寛 123

俳句

芦火と俳句と写真	大3 安本 純 124
	大25 河本 要 126

短歌

	大6 川渕湧三 126
--	-------------

川柳

	大13 佐竹明吟 127
--	--------------

柑芦会

柑芦会定時理事会	事務局 128
決算・予算の概要	事務局 134
役員名簿	事務局 135
支部一覧表	事務局 136

後援会

決算・予算の概要	事務局 138
役員名簿	事務局 139

訃報

.....	140
-------	-----

広告索引	事務局 143
------	---------

あとがき	大17 穂永千秋 147
------	--------------



柑芦会の現状と課題

柑芦会 会長 大18 北村 修一

昨年初めから国内でも感染拡大が始まった新型コロナウイルス禍はまだまだ終息が見通せない状況ですが、会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、そのコロナ禍の影響を受けて、柑芦会の諸活動も中止や延期など様々な制約を受けてはおりますが、その一方ではウィズ・コロナへの対策も進みつつあります。例えば、これまでは対面式を前提として年1回しか開催していなかった「会長副会長会議」もZoomを活用したオンライン方式の採用により隔月の開催ができるようになり、諸課題の解決のための検討時間が大幅に増えるという副次効果も生まれています。同様に、従来は必ずしも毎年開催できていなかった「支部長会議」もオンラインで年2回開催できるようになり、各支部間および各支部と本部のコミュニケーションの頻度も増えてきています。

またこのオンライン方式の活用によって、大阪支部や本部が主催する伊東学長やマグレビ前学部長、足立副学長の講演会を全国の支部の皆さんも一緒に楽しんでいただけるようになりましたし、各支部での会議や各委員会の活動においても活用が進みつつあります。

そういう中でも嬉しいできごとは、しばらく休眠状態であった広島支部が活動を再開さ

れる見通しとなったことです。年内には3年ぶりに支部総会が開催される見通しとなった背景には、多くの先輩や後輩たちのために支部長・副支部長の重責を引き受けていただくことになった三吉規央さん(大45期)と山元経穂さん(大49期)、並びに支部活性化支援委員会の辻均委員長(大20期)らのご尽力があります。

一方、和歌山大学においては来年からの第4期中期計画に向けて様々な取り組みが準備されており、また経済学部においても来年には和歌山高商の創立から満100周年の節目を迎えます。

柑芦会としてもこの慶事にあたって、学部側からのご要請に応える形で大学院進学者のうち特に優秀な学生に対する「奨学金制度」を導入することを決めました。その他にも各種の記念事業を計画中ですので、皆様へも順次お知らせしてまいります。

さらには我が柑芦会もその4年後には満100周年を迎えることになるわけですので、それらに向けた体制強化策や仕組みの見直しも進めていかねばなりません。

皆様におかれましては、引き続き柑芦会に対する温かいご理解とご支援をいただきますよう、心からお願い申し上げます。



コロナ禍と第4期中期計画

和歌山大学 学長 伊東 千尋

柑芦会の皆様には、日頃より母校和歌山大学の教育・研究へのご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。70周年記念事業の一つとして進めてまいりました松下会館の活用につきましては、皆様に多大なるご支援をいただき心より御礼申し上げます。このご支援をもとに着手する松下会館の改修につきましてはプランもほぼ固まりましたので、年度内に着手し、来年度の完成を目指します。再生される松下会館は、リカレント教育の場としての活用を中心として、和歌山市内に設置された他大学との連携や、地域とのパートナーシップを発展させる場として利用してまいります。

昨年初頭に顕在化した新型コロナウイルス感染症は、首都圏を中心として今現在においても感染拡大が続いており、大学を含む社会システムに大きな影響を与えています。昨年は感染拡大抑制の立場から、入学式を中止いたしました。今年度は緊急事態宣言の間隙を縫って、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、本年度入学者向けと昨年度入学者向けの二つの入学式を挙行いたしました。昨年度入学者向け入学式につきましては、どの程度の出席があるのか定かではありませんでしたが、実施してみると、感染防止対策により通常の半数とした座席がほぼ埋まるほどの盛況ぶりでした。改めて昨年度の入学式中止の影響を実感いたしました。幸いにして、近畿圏での感染は下火になり、4月25日に発出された非常事態宣言は6月20日をもって解除されました。これを受けて、本学では基本的に対面授業を再開いたしました。これにより、閑散としていた大学に再び元気な学生が戻ってまいりました。この活気ある大学の状態がこれからも続くこ

とを願っております。

さて、大学の状況についてですが、現在、第4期中期計画の策定を進めております。第4期の中期計画では、これまでと仕組みが大きく変わり、文部科学省から提示される中期目標大綱の中から大学が目標を選び、その目標を達成する計画を中期計画として策定することになりました。国からの目標大綱の提示の背景には、社会が求める大学の姿の変化があります。国立大学としての本来機能、すなわち研究により学問と高等教育を発展させるとともに、高等教育を国内に遍く展開すること、これに加え、地域の活性化や社会のイノベーションコアとしての役割が「拡張された機能」として与えられています。本学もこの要請に答えていかねばなりません。その一方で、大学の運営経費の過半を占める運営費交付金は、論文数や学位授与率などの成果指標により大きく変動し、従前と同等の運営経費を確保するにも、多くの改革や改善を進める必要があります。さらに、大学における教育研究を特色化する経費の獲得にも知恵を絞る必要があります。厳しい環境ではありますが、和歌山大学は社会と連携して価値の共有・共創を進め、特色ある教育と研究を堅持するとともに、リカレント教育を進め社会人と学生がともに学ぶ場を創り上げることなど、これまでの教育研究成果をさらに発展させ、課題に果敢に挑む、活気溢れる大学となるべく、第4期の準備を進めてまいります。引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、柑芦会の更なるご発展と会員皆様のますますのご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。



経済学部の現状と今後

和歌山大学 経済学部長 芦田 昌也

柑芦会のみなさまには、平素より経済学部の教育・研究活動および運営にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。2021年4月から経済学部長に就任いたしました。あっという間に3か月が過ぎましたが、至らぬ点ばかりでご迷惑をおかけしておりますこと、ご容赦ください。

2021年度は、新型コロナウイルスの影響が残る中でも、無事に入学式を執り行うことができました。経済学部には編入学者を含め314名、経済学研究科には44名の入学者を迎えました。和歌山大学としては2020年度から2学期4クォーター制を導入し、経済学部・経済学研究科は、2021年度から同制度に移行しております。4月から6月半ばまでの第1クォーターの当初は、新型コロナウイルス感染防止対策を施しながら、対面授業を中心として授業を開始いたしました。しかし、大阪府に対する緊急事態宣言の発出日以降、第1クォーターの残りの期間は、すべての授業を遠隔講義へと切り替えました。6月半ばからの第2クォーターは、緊急事態宣言の解除後から対面授業を再開し、本原稿の執筆時点に至っております。

ご存じの通り、各国立大学は、6年間の中期目標・中期計画を掲げ、教育・研究、その他の活動を行っております。経済学部・経済学研究科は第3期中期目標・中期計画期間（2016年度～2021年度）において改組を行い、経済学部は2016年度からそれまでの3学

科体制から1学科体制になりました。経済学研究科は2021年度からこれまでの3専攻から1専攻になりました。

2021年度は、第3期の中期目標・中期計画期間の最終年度にあたり、すでに2022年度からの第4期中期目標・中期計画の設定・策定が始められています。これにしたがって、次の6年間の経済学部・経済学研究科の方向性が少しずつ見えてくるものと思われま

す。近年は、ビッグデータという言葉でも知られるように、社会の様々な活動について、時間を追って多様な形態の大量のデータが取得されるようになってきました。そのようなデータを加工・集約し、その結果に基づいて判断する機会が増えてきているように思います。経済学部のこれからの卒業生が社会で活躍する頃には、この傾向が一層強まっているかもしれません。在学生には、客観的なデータを正確に取得するための技能や、取得したデータを加工・集約する技能、さらには、そうして得られる結果を冷静に客観的に解釈し、適切な判断を下す能力を身につけてほしいと考えております。

柑芦会のみなさまには、このコロナ禍の不自由な環境の中にあって学び続けようとする学生に、引き続きあたたかいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、柑芦会のさらなるご発展と、みなさまのご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。

特集 「コロナ禍下における現状と今後」



柑芦第52号を編集するにあたり、ここ2年間猛威をふるい続ける新型コロナウイルス感染症の日常生活に及ぼす影響について「特集」を組むことといたしました。

和歌山大学でも、感染症の拡大とともに、学生の登学中止、課外活動の禁止を伴う大学閉鎖に近い対応がとられ、その後急増が落ち着いたことから、授業再開に踏み切った訳ですが、従来通りの対面授業からリモート中心の授業へと授業スタイルを変えざるを得ないようになり

ました。その時間帯についても、学生たちのアルバイトも制約される中、リアルタイムでの双方向のリモート授業だけでなく、そうした時間を使えるオンデマンド型の授業も試行されました。先生方からは、オンデマンドでの一方通行の授業の場合は、学生の反応がわかりにくいという指摘もあり、学生や先生方がどのように新しい授業スタイルの中で学んでいるのかを伺うことといたしました。授業スタイル、課外活動の制限される中で、この問題に正面から向き合った意見を頂きましたこと、感謝申し上げます。

また同様に、実社会で活躍されている柑芦会の会員の方々にも、このような社会生活のスタイルが制約を受ける中、どのようにこの時代を受け入れ、将来こうした感染症との共存を図ろうとしているかについてご意見を承りたく、柑芦会各支部の支部長にお願いをして、年齢や生活環境から広く皆様方のご意見を募った訳です。その結果多くの方々から様々なご意見を伺うことができました。編集委員を代表して会員の皆様方に厚く御礼を申し上げるとともに、いただいたご意見を以下ご紹介いたします。

柑芦編集委員会

固定概念を無くし挑戦する

経済学部4年 柿本 晃希

コロナがあったから、日商簿記1級の合格、サークル活動や授業、バイトの両立が実現できた。このように言っては、不謹慎かもしれない。しかし、私はこう言わざるを得ない。昨年、私は日商簿記1級への挑戦とタイやインドネシアへの国際協力を行う「Wakayama ASEAN Project (WAP)」で代表を務めた。正直、この両立は簡単ではないし、無謀である。これに加え、日常の授業や下宿生活、バイトをすることは本当に難しかった。しかし、コロナ禍だったから、全てとまでは言えないが、両立を果たすことができた。この経験を軸に、「我々は今後どう対応していくべきか」述べていきたい。

まず「固定概念を無くす」これを強く言いたい。この1年は経験のないことに挑戦せざるを得なかった。WAPの活動では、対面の活動に規制がかかったがすぐにZoomを活用した会議に切り替えた。導入こそ苦労したが、これが非常に合理的で時間や場所の制限に捉われず、効率的に会議に取り組めたと思う。また、毎年実施している現地活動の代わりにタイの学生とオンライン交流会の開催を実現し、新たな可能性を発見できた。授業は自分のペースで無理のない範囲で受講することができ、それが検定対策の勉強との両立に繋がった。マルチに挑戦した結果、失敗も数多く経験したが、自己のマネジメント能力はこの1年で飛躍的に成長できたと確信している。加えて、下宿生活から実家暮らしに戻った。授業も遠隔で受けることができ、家

賃という固定費を支払う必要がないからである。実家からも授業を受けられるメリットを感じ、金銭的な負担も削減できた。これらの取り組みを振り返ると、固定概念を自分で打ち壊していたように思う。

この挑戦的な1年は今後に繋がる。社会もニューノーマルに移り変わり、今までできなかったことができるようになった。例えば、ビジネスモデルも転換している。環境に応じて、消費者のニーズも変化しているからだ。デリバリーやテイクアウト、サブスクの需要が伸びた。現在は「VUCAワールド」、ビジネスを取り巻く環境が不安定で不確実、かつ曖昧で混沌としており、将来の予測が困難な状況であるとされている。コロナの有無に関わらず、私たちは変わらなければならないのかもしれない。そんな中、深刻な問題となったコロナは新たな可能性を考えるきっかけになった。歴史を辿ってみても未曾有の事態に見舞われ、その度に人類は適応し進歩を続けてきた。それがニューノーマルからノーマルになってきたように思う。

コロナ後の展望は誰にも見えない。だからこそ、物事を悲観視するのではなく、前向きに捉え、創造性や革新性を持ち、複雑な世の中を理解する必要がある。そして「今まで取り組んだことがないからやれない」という固定概念ではなく、失敗を恐れず、チャレンジする。そしてできるようになる、順応していくことが大事だと考える。以上が、今後の対応についての私の学び、そして意見である。



我々は今後どう対応すればよいか

経済学部4年 岩崎 聖

新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)が流行して1年半以上が過ぎ、コロナの影響で大学生活が一変した。生活に制約が続く中、自分の価値を高めるために必要な能力は、成長を続けることであると考え。成長するためには、計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Action)を繰り返すPDCAサイクルを適切に行うことで自分の進む道が明確になる。

これを「大学生活」と「卒業後」の2つの視点に分けて記す。

■ 大学生活

昨年は波乱の1年となった。講義がすべてオンラインになり、大学に通学する機会はなくなった。しかし私にとっては好都合であったことも確かである。通学時間などを税理士試験などの勉強に当てられたからだ。この余裕ができた時間で自分の目標を明らかにし、行動できていた。目標は、達成すべき日付を付記し期限を設ける。そうすると今、自分が何をすべきかを逆算して行動できる。大学3年生の間に簿記検定1級、税理士試験の簿記論・財務諸表論に合格することを目標に掲げた。そこから1ヵ月の行動計画、一週間の行動計画を立て、それをこなすことで上記の検定及び資格を手にすることができた。その中でも、上手く計画通りに進まないこともあった。その改善策として計画を立てる際に予定で埋め尽くすのではなく、8割くらいの目標にして余裕を持たすべきであることを学んだ。達成できる目標を積み重ねていくことで自信や結果に繋がる。

さらに大学4年生では、税理士試験の法人税法・消費税法などの資格取得を目指し、日々計画を立てて実行している。制約が多い中でも計画・実行することで能力が上がると考える。これは今後の社会で必要になる。

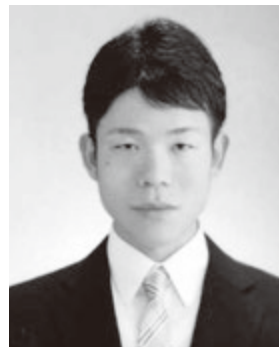
■ 卒業後

卒業後は税理士として働き、コロナで直接

的に影響を受けた日本の中小企業が、コロナ後も引き続き事業を行うためにサポートをする。税理士という職業は、会計・税務の専門家であり、企業の経営にとっては不可欠な要素である。その点を理解している経営者は少ない。そのため、経営者の良きパートナーとして職務に励みたい。さらに税理士の知識だけでは解決できない、マーケティングや経営の知識を得るために学び続けたいと思う。

卒業後についても、自分の目標を明らかにして日々前進すること、勉強することを止めず、成長することが今後の私たちにとって必要な能力になると考える。

今後どのような社会状況になるか読めない中でも、社会は変化していく。その環境に順応し力を発揮するためには、何歳になっても学び続けることが大切である。他者と比較するのではなく、過去の自分と比較して成長できるようにする。また過去の自分と変化がなければ、現状維持ではなく、自分の能力が低下していることを意味する。そのようにならないために、成長を止めないことが重要である。



コロナ禍での大学生活

経済学研究科1年 矢野 詩織

■自己紹介

皆様こんにちは、大学院1年生の矢野詩織と申します。2020年3月に和歌山大学を大学史上初めての早期卒業生となり、大学院に進学しました。早期卒業とは、3年間で4年分のカリキュラムをこなし、大学を1年早く卒業するシステムです。私は税理士を志望しており、税理士試験の科目免除があること、体系的に租税法の勉強がしたかったこと、そして一年でも早く実務経験を積みたいという希望から、早期卒業（※注：下記）を利用して大学院修了を目指すことにしました。

■大学生活について

ちょうどコロナが流行しだした2019年4月から、早期卒業候補となり、それからは授業、卒業論文の制作、院の入学試験と税理士試験の勉強に追われてきました。

大学での授業は従来の対面方式が取りやめとなり、音声入力されたパワーポイントを見るオンラインでの授業は、雑談の時間がなく、密度が濃いものが多かったです。パワーポイントを何回も見返す必要があったり、講義への出席点がないため課題が多かったりと、負担が大きかったです。また、授業に必要な資料を探すにしても、大学図書館が使えないため大きな書店を巡ったり、他の図書館に通ったりと、苦労しました。

税理士としての実務経験を積むために行った就職活動においても、対面ではなくオンラインでの説明会・面接を実施する企業が大半でした。オンライン主流での就職活動は昨年度から始まったばかりで、情報も少なく、社風の分かりづらさや熱意の伝えづらさなどの難点もありました。しかし、移動時間、宿泊費や交通費を必要としないため、より多くの企業について知るチャンスが得られるなどの利点を活かし、自身のキャリアと真摯に向き合う良い機会となりました。

卒業式では、努力の成果もあり成績優秀者の表彰式に加えていただきました。写真はその式の様子です。団体写真は皆さんの許可を取るのが大変なので掲載できませんが、マスク着用の上で友人たちとも距離を取らないといけない状況だったので、コロナ前の卒業式と比べると、少し寂しかったです。

■現在

執筆をしている今（2021年7月）、大学での少人数制の授業は対面となっていますが、今後どうなっていくかは未定です。政府によるワクチンの普及という明るい兆しもありますが、デルタ株の流行なども懸念されます。そのため、今後コロナ収束の鍵を握るのは、ワクチンの効果と変異株への対応であると考えます。2022～2023年にかけては少しでも行動制限が解除されることを期待しています。

ニュー・ノーマルに沿った生活は不便な点多々ありますが、あと少し、もう少しだけ頑張っていきたいと思います！

※注「早期卒業」とは

3年次終了までに全124単位を取得し「学位」を取得した上で大学院へ進学すること。この場合は「学部卒業+修士修了」という扱いとなる。



正解のない問いに対して協働して解を出していくこと

観光学部4年 戸高 英里子

地方の過疎化、少子高齢化、循環型社会、環境問題、個人解決型社会…。

現代社会が直面している課題は本当に多くあります。そのような世の中で、大学生の私の本気で取り組んでいる活動があります。

それは、「むすび屋弥右エ門 茅葺きプロジェクト」です。

人と人との繋がり“結（ゆい）”をモットーに、和歌山県かつらぎ町志賀地区に残る24軒のトタン被せの茅葺きの民家に着目し、茅葺きの魅力を活かして若者の地域への移住を促します。その第一歩として、地域の魅力を発信する「茅葺きのおむすび屋」をクラウドファンディングで作るというプロジェクトです。

これは、2017年に和歌山大学の「わかやま未来学副専攻」というプログラムで立ち上がりました。関西空港から車で1時間圏内の高野山の麓に位置する志賀地区。日本の多くの地域と同様に、志賀地区も人口減少、少子高齢化の一途をたどっています。学生活動を応援し、温かく迎え入れてくださる志賀地区をこれからも存続させたい—そのための鍵が、トタン被せの茅葺き民家だと私たちは考えています。

どうして私たちがそこまで茅葺きにこだわるのでしょうか。理由は、茅葺きは一人ではできず、多くの人の協力があって初めて成り立つものだからです。情報が目まぐるしく飛び交い、スマートフォン一つあれば、誰かと協力しなくても、簡単に解決できてしまうような個人解決型社会が広がるこの時代だからこ

そ、そして、プロジェクト発足時には想定し得なかったことですが、新型コロナウイルス感染拡大によって「人と人の密接な関係が少なくなる」という現代だからこそ、私たちは茅葺きを持つ“結”の可能性を信じているのです。

私はこのプロジェクトに参加して3年目になりますが、これまで本当に多くの方と出会い、ご縁を結んできました。孫のように私たちを受け入れてくださる志賀地区の皆さん、茅刈りや茅葺きを一から教えてくださった茅葺職人さん、茅刈りをさせてくださっている生石高原の皆さん、取り組みを取材して下さった記者の方、卒業しても手伝ってくださる先輩方、プロジェクトメンバー外の協力してくれる和大学生など、ここにはまだまだ書ききれないほど沢山の方々に応援していただき、協力し合いながら進めています。

「社会人になりたくない」と周りの友人達は口にしますが、私はこのプロジェクトを通して、学生の本気を応援し、それをバックアップしてくださる大人の背中を3年間見てきました。だからこそ、このプロジェクトを通して出会った、正解のない問いに対して協働して解を出してくださる方々のように、これからの世の中に新しい価値や考え方を提案し、負の連鎖を断ち切ることを『提供していく』立場として社会に出ることが楽しみでなりません。

コロナ後は、ものすごいスピードで情勢が変化していくと思いますが、私は、「人と人が協力し合う」という人間の営みの根本を忘れないければ、未来は明るいと信じています。



教育学部生としてコロナ後にあるべき姿

教育学部2年 仙波 拓

素直にコロナ禍前の生活ができるようになってほしい。私は単純にそう願っている。現在も世界で猛烈な勢いをふるっている新型コロナウイルス。この新型コロナは教育学部生である私たちの大学生活にとっても大きな影響を与えた。

入学早々に始まったパソコン越しでの遠隔授業。将来子どもたちに勉強を教えることを目標として大学に入学した私たちにとって、子どもの様子を全く見るができな一年間の遠隔授業はとてつらいものであった。「今自分は何を学んでいるのだろう。」「何のために大学に入学したのだろう。」そういった不安にも駆られた。「せめて子どもの様子が直接見ることができる教育実習でも…」その期待も新型コロナウイルスによってあっけなく踏みにじられた。私たちの中には教員になるか迷っている者もいる。その者にとっては将来どうすればよいのかといった気持ちにもなったはずだ。

新型コロナウイルス後の展望は今も開けてはいない。しかし私たちには期間があり、展望が開けるまで待っているわけにはいかない。ではその厳しい状況の中、私たちはどうあるべきなのか。

私はこれについて二点挙げる。一点目は、教育実習が再開できた際の準備を常にしておくことである。厳格な体調管理・体温チェックの下、少しずつではあるが教育実習ができる状況に変わってきている。昨年できなかった分、一回一回のその時間を大切にすることが必要である。そのため可能な範囲内ではあるが、生徒の様子をしっかりと観察し、積極的に子どもと関わることを求められる。また、その際にもなりたい教員像というものを常に持つておかなければならない。二点目

は、コロナ後の教育は今までの教育とは同じではないことに対応する必要があるということである。一番考えやすいのは授業のオンライン化である。授業のオンライン化に伴い、高校までの対面で人の熱意や空気感を感じることが当たり前学びの世界から、どこか機械的で取り繕いができる学びの世界になった。コロナ後の世界でもいつでも対応できるようにオンラインの世界がさらに加速されていくと予測されるが、果たして人間が人間を育てる教育現場で、取り繕いができるような現場が主となっていくものなのか。嫌な事は言葉も人もオフに出来る世界で教育というのは成り立つのか。そう言った不安があるが、私たちはそれに柔軟に対応しなければならない。自らがオンライン授業を体験した経験を活かし、より良い授業作りを考える必要がある。

私たちには新型コロナウイルスの時代に大学生活を過ごし、イレギュラーが多い時期を乗り切ったという自負がある。コロナ後の展望が見えない中でも、その先を見据えた対応が私たちにはできるはずだ。だが一番は、しっかりと人と人が繋がる世界がコロナ後の世界に待っていることを私は願っている。



コロナ後の世界

システム工学研究科博士前期課程2年 梅木 智明・酒井 貴弘

インタビューアー（以下I）

今日は修士2年生のお二人にお越しいただきました。新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）に翻弄された学生生活を送って来られたわけですが、いろいろと本音をお聞かせください。よろしくをお願いします。

梅木智明（以下U）さん、酒井貴弘（以下S）さん、よろしくをお願いします。

I：お二人の卒業間際からコロナが蔓延し出しましたので、学部では対面授業、大学院ではオンライン授業と両方を体験されました。それぞれのよかった点をあげてください。

S：適度な緊張感があるという点では対面授業ですね。わからない点についてもすぐに友達や先生に尋ねることもできたというのは対面授業ならではのですね。

U：私もS君と同じ意見です。毎回、講義を受けた後は達成感というか、充実感がありました。オンラインのよかったところは、時間が自由に使えたということですね。もちろん、自由な分、自分自身の管理能力が試されているようでしたが。必要に応じて何度も授業教材を見返すことができたのも大きなメリットです。

S：そうそう。対面授業のときは見返すことができないし、頼りになるのは板書した自分のノートだけ。授業と同じ資料で復習できたというのはオンライン授業の最大の利点。

I：コロナが終息したら、対面授業に戻りそうですが、これに関してはどう思いますか。

U：以前と同じような対面授業というのではなく、オンライン授業を経験したことを活かした対面授業がいいと思います。

I：というと？

U：オンラインと対面のハイブリッドの授業があってもいいと思います。対面でリアルタ

イムに議論できるメリットは何事にも変え難いので。ハイブリッドにすれば受講人数の制限も緩和されるかもしれません。

S：対面授業に戻っても講義で使用したコンテンツ（スライドなど）を公開するようにするのもいいと思います。オンラインのときは公開していたので、対面授業だからといって非公開にすることもないと思います。復習に役立てることができます。

I：授業の話はこれぐらいにして、研究活動についても聞かせてください。コロナに翻弄されっぱなしだったのではないのでしょうか。

U：研究ってひとりで黙々とやるものではなく、研究室でみんなでわいわい言いながら（実際にはそんなにわいわい言わないんですけど）進めるものなので、コロナで研究室に行けなかったときはつらかったですね。研究室のメンバーや先生に気軽に相談することも、研究室にある先輩の論文や多くの専門書を見ることもできませんでしたから。私が4年生のときは、先輩が私の顔を見て何か困っているやなと察してくださり、そこから相談や議論が始まるという感じで研究が進み、ずいぶん助かりました。大学院生になって後輩に同じことをしようにも、登校禁止だったので、それができないのも妙なストレスでした。

S：たしかにそれは言える。でもオンラインの学会に参加するのは楽でした。移動がないのでルートの下調べや荷造りとは無縁でした。大きな会場ではスライドが見づらい（特に画像データなど）が多かったのですが、オンラインの場合は目の前のPCの画面にスライドが表示されるので非常に見やすかったです。会場を移動するのも対面の場合は登壇者が交代する際に邪魔にならないように静かに移動していたのですが、オンラインの場合

はそんな配慮もいらないので、さくさく移動できました。

U：そうやね。午前中に授業があっても、午後からの学会には参加できるといった対面では考えられないスケジュールも可能でしたし。でも、質疑応答の時間に手を挙げて聞くほどの内容ではないけど、休憩時間にちょっと聞いてみたいなのということができなかったのは学会のメリットを台無しにしている気がします。

I：お二人の話を伺っていると、コロナ後の学会はハイブリッド（現地参加もオンライン参加もOK）という感じですね。

U&S：そうあるべきですね。和歌山からはどこに行くにもサクッと行けないので（笑）。

I：最後にコロナ後の世界について何かあれば。

S：コロナがなかったことにするのではなく、せっかくと言っては変ですが、得られた教訓を忘れない社会になってほしいなと思います。感染症対策とか他人を思いやることとか、エッセンシャルワーカーに感謝する気持ちも忘れずに持ち続けていきたいものです。

U：時間や空間を共有することの大切さを認識することができました。そこで得られる刺激やコミュニケーションを大切にする社会になって欲しいなと思います。

I：うまくまとめていただきましたね。今日はお忙しいところをありがとうございました。

U&S：ありがとうございました。

Always available as your home
and company lawyer.

司法書士法人 さくら国際
行政書士法人

SAKURA INTERNATIONAL LEGAL PARTNERS



司法書士 櫻井 恵子
行政書士

入管業務

各種
許認可

会社設立

相続

成年後見

民事信託

TEL.06-6245-3649 地下鉄本町駅より
徒歩1分

URL:<https://www.sakura-kokusai.com/>

コロナ後における女性と政策

経済学部 教授 金川 めぐみ

「自殺者11年ぶり増、経済苦・孤立背景か、昨年確定値2万1000人、コロナ禍、女性・20代目立つ。」これは2021年3月17日の日本経済新聞朝刊の見出しである。大学関係者として20代の自殺率の上昇も見逃すことができない事項であるが、今回は見出しにある「女性」の切り口を基に、コロナ禍の福祉政策を確認し意見を述べていきたい。

2020年4月9日、国連のグテーレス事務総長は、コロナの感染拡大を巡り、回復に向けた努力の中核に、女性と少女を置くよう、呼びかけを行った。さらに2020年11月19日、内閣府の「コロナ禍の女性への影響と課題に関する研究会」から「緊急提言」が出されている。コロナ禍において、相次いで女性に対する提言が行われていることが目立つ。

なぜなのか。それはこのコロナ禍の中において、女性が「対策の死角」に置かれているためである。すなわち、コロナ禍において様々な状況で被害を受ける対象であると認識されながらも、その対策が不十分な状況に女性が置かれていることに他ならない。

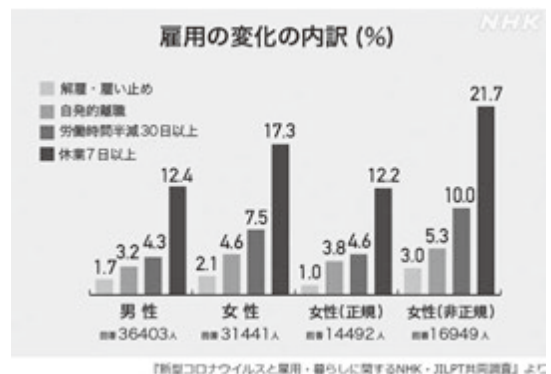
例えばDV（ドメスティック・バイオレンス）の場合、平時には逃げ場所がかりうじてあった場合でも、コロナ禍の外出自粛で逃げ場所もなくなり被害が拡大したと言われる（「家にいて」DV、虐待防ぐ手だても」朝日新聞朝刊2020年4月22日）。小中学校の休校中、「ステイホーム」において、仕事を調整しつつ子どもたちが家にいる間の増える家事負担や子どもの勉強を見守ったのも、家庭内でケアを担う女性たちだった（「ステイホーム 担い手たちの悲鳴」朝日新聞朝刊2020年5月14日）。

だがこの間、政府のコロナ対策で補償が検討されたのは企業等の有償労働だけで、家庭

内の無償労働は議論にすらなっていない。社会学者の落合恵美子氏は、このような状況を指し「保育・教育・介護は社会のインフラ。それらを含む家事は人の命を支え守るものだが、政府の支援はなく、夫さえ認識していない」（「光当たらぬ「無償労働」社会は危機感を」朝日新聞朝刊2020年5月14日）と指摘する。

なおNHKと労働政策研究・研修機構の共同調査では、コロナ禍において雇用に変化が起きた人の割合は、非正規女性が最も多く33.1%であった。さらに調査によると、解雇や雇い止めとなった女性の割合は男性の1.2倍、非正規雇用の女性に限れば1.8倍に上る（NHK HP「【データで見る】新型コロナ 働く女性への影響は」2020年12月7日）。非正規雇用女性を中心に、コロナ禍での有償労働における女性への影響はこの間しばしば指摘されるようになった。だがそれと共に無償労働の女性の負担をどのように考えるか、これを今後どのように分かち合えるか、これをコロナ後への展望への提起としたい。

GenerationとGender、2つのGに配慮をしない社会には未来はない。私たちはコロナ後におけるこのような状況からどのような展望を抱くか、それが肝心である。



経済重視の姿勢への懸念

経済学部 准教授 高見 直樹

今回の原稿の依頼文には、「コロナ後の展望が開けない中、『我々は今後どう対応すればよいか』ということをそれぞれの立場で自由に」意見を出すように、さらには「アフターコロナではなく、『with コロナ』を新しい常態として今後どう関わって行こうとしているか」を述べるようにと記されていた。

依頼を受けた2021年5月10日は、私の住む大阪府ではコロナの感染者数が都道府県別で最も多く、重症者数は重症病床数を上回る危機的状況であった。5月12日の朝日新聞では、ライターの高崎今日子さんが「大阪で新型コロナウイルスにより40～50人の方が亡くなっているというニュースの後で、既定路線のような口調で東京オリパラのニュースを読みあげるNHKアナ。なんか戦時中みたいになっていませんか。「サンデーモーニング」(TBS系)で、倉持仁医師が『ここ1週間で、大阪の死者数(100万人あたり)はアメリカやイギリスを上回った。インドと同じぐらい悲惨な状況だ』と訴えているのに」と記されていた。

私はこのような状況下で、「我々は今後どう対応すればよいか」と考えた際、「命よりも大切なものはない。感染リスクを減らすために全力を尽くす」としか言えない。

依頼文には、「withコロナを新しい常態として」と記されていたが、私はそもそも「withコロナ」という言葉に違和感がある。なぜならそこには、コロナの感染拡大を全力で抑え込むという考えが除外されていると感じるからだ。

大阪のTV番組では政治家やタレントが「with コロナ」とよく口にしているような印象を受ける。私には、彼らの言う「with コロナ」の裏には「経済優先」という強いメッセージ、さらには「経済を優先させるためには、ある程度の人数が感染するのは仕方がない」という思いがあるように感じる。

大阪では市民病院が廃止され、看護専門学校が閉校されることになり、コロナ禍でも大阪都構想の2回目の住民投票が実施され、感染拡大の懸念があるなかで緊急事態宣言の前倒し解除の要請がなされ、「命」・「医療」・「安全」よりも、「経済」・「儲ける」・「コスト削減」を重視する風潮を強く感じる。東京五輪の開催やGo Toキャンペーン等にも同様の風潮を感じる。

経済的側面を過度に重視する現在の風潮には、自己の利益を最大化する姿勢が見受けられる。今後は、他者の利益(他者の命)についても尊重する姿勢が重要だと考える。

具体的には、来年度までは、対面の集まり(イベント・記念行事・会議など)を減らし、他者への感染拡大のリスクを減らす必要があるだろう。また、コロナ禍で拡大した貧困問題の改善にも目を向ける必要があると考える。なお、強い権限のあるリーダーが、他者の利益(他者の命、他者の気持ち)に配慮しようとはせずに暴走するケースもあるため、誰もが対等に対話のできる仕組みを設けていくことが必要だと考える。

もうひとつの「AI」——新しい人材育成手法

経済学部 准教授 厨子 直之

世界的なパンデミックであるCOVID-19が現在もなお収束の兆しが見えない中、多くの人々が感染症流行の長期化に対する不安と日常生活が戻らない憤りが錯綜する複雑な心理状態で日々生活していると思います。しかし、こうした危機的状況だからこそ、変化を恐れず前向きに行動していく強さとしなやかさが不可欠です。

私の専門とする人材マネジメントの分野において、近年、理論的にも実践的にも注目されている人材育成の手法の1つに、「アプリシエイティブ・インクワイアリー」(Appreciative Inquiry)があります。2単語の頭文字をとってAIと略され、講義や研修で「人工知能のAIとは異なります」と話し始めることがお決まりのパターンとなっています。AIは大学受験で苦手科目を潰すのではなく、得意科目をさらに伸ばしていく学習アプローチに例えられます。

AIは、「発見」(Discovery)、「理想」(Dream)、「設計」(Design)、「実行」(Deploy)という4つのD(4Dサイクル)を、主に個人ワークとグループワークを展開しながら実施されます。紙幅の都合上、それぞれの内容について詳しく述べられませんが、「個人や組織の本当の強みや価値(ポジティブ・コア)を見つけ」(発見)、「ポジティブ・コアに基づいて、最も活力に満ちた未来の姿を描き」(理想)、「理想段階で設定した『ありたい姿』を実現するための行動計画を決め」(設計)、「行動計画を実際に試してみる(実行)」というのがAIの一連のステップです。

先日、南紀熊野サテライトの「コロナ後の世界に暮らす」という講義において、4学部の学部生と社会人受講生に対して、「コロナ禍であっても、仕事もしくはプライベートで上手くできたこと」



をテーマに、発見、理想、設計の3つの段階についてワークを行っていただきました。受講生の事例の中で比較的多かったコロナ禍での課題は、対人接触の機会が大幅に減少し、孤独感にどう立ち向かうかです。ワークを通じて、行動力という強みを活かして、マウンテンバイクに乗って地元で行ったことのない自然の景色を見に行くことで、和歌山の地域の魅力を再発見する良い機会となり、一人でも自分で考えて行動し、どのような状況でも変わらないように強く生きることの重要性を認識した受講生がいました。

先行き不透明な環境下でも生き抜くには、前向きさが重要になることは間違いありません。しかし、頭では分かっている、いざ実行に移すとすると難しく躊躇しがちです。今後、教育現場や企業などあらゆる組織において、ポジティブな心的エネルギーを引き出す工夫について入念に検討することが必要です。ましてや、withコロナが喧伝される中、なお一層、そうしたスタンスが求められるといえます。

コロナ後への展望～与論島で持続可能な観光を実践する

観光学部長 尾久土 正己

この原稿を書こうとしているとき、柳田國男が書いた文章に目が留まった。「いわゆる名所旧跡の人だかりは閉口だ・・・」(「海に沿って行く」1925年)コロナ前に内外の観光地で問題になっていたオーバーツーリズムの観光公害が100年前にも困った問題として書かれていたのだ。

コロナ前の観光を振り返ると、世界中で国境を越えて流入する観光客(インバウンド)の急増によって、観光収入が世界のGDPの1割を占めるまでになっていたが、多くの観光地で環境や社会文化がダメージを受け、地域住民から観光に対する否定的な声が高まっていた。我が国では、2020年には4000万人、2030年には6000万人のインバウンドを目標においていたので、数を増やしながらいかに観光客を分散させるかが大きな課題になっていた。しかし、想定外のコロナ禍によって、インバウンド客は世界の観光地から姿を消し、成長を信じて投資してきた観光産業は大きな痛手を負っている。

このような中、和歌山大学観光学部は2019年9月に鹿児島県与論町(与論島)と観光振興に向けた相互連携協定を締結していた。高度成長時代に青春を過ごされた方には馴染みの島であるが、沖縄が返還されるまでは日本の最南端の島として人気を博し、若者を中心に年間20万人もの観光客が訪れて、都会並の混雑になっていた。その後、沖縄が返還され、さらに海外旅行が安価になると与論島は若者から忘れ去られ、観光客は1/3まで落ち込んでいた。島内には当

時のホテルや民宿の廃屋が数多く残っており、当時の夢の跡を見ることができる。

観光学部では、複数の教員が与論島の観光プロジェクトに関わっているが、宇宙を専門とする私はゼミ生

と一緒に、星空を活用した持続可能な観光を開発している。まず、星空を観光の生業として利用するためには、星空を有料でガイドできる人材を島内に養成しないとイケない。そこで、ゼミ生の教育も兼ねて、島内で天文知識に関する講座を複数回開講し、これまでに数十人の星空ガイドを養成している。すでに、彼らのうちの数人は1回3000円程度の星空ツアーを催行しており、島を代表する観光メニューになっている。

先に述べたように観光の経済面だけが成長すると、環境や社会文化がダメージを受ける。星空で言えば、街灯や建物などの人工の光によって星空が見えにくくなったり(光害)、西洋中心の天文知識によって島に伝わる星の文化が消えてしまう。そこで、私たちは、星空に優しい街灯への改良を行ったり、地域の高齢者を訪ねて星の伝承を記録している。このことで、星空を目的とした観光客が来島することによって、美しい星空は保全され、島独自の星の文化も語り継がれることになる。与論島では、この先、100年も200年も持続する星空観光の仕組みが完成しようとしている。



学生支援は「有事」も「平時」も基本は同じ

教育学部 教授(学生委員長) 内田 みどり

昨年来、大学の授業は遠隔授業と対面授業を行ったり来たりしている。マス・メディアはキャンパスに通えない学生の嘆きばかりフォーカスするが、長距離長時間通学が面倒になり挫折しかかっていた学生や、人づきあいに苦手意識を持っている学生にとっては、遠隔授業は態勢を立て直し、学習意欲を取り戻すチャンスとなったことは意外に知られていない。一方で、オンデマンド型講義のファイルをためてしまい、いざ取り掛かろうとしたときには物理的に時間が足りず、たくさんの単位を取りこぼした学生もいる。一見、正反対の経験のように見えるが、両者に共通するのは「自己管理能力」の問題だ。早起きして通学すること。自分でスケジュールを立てて課題に取り組み、期日までに提出すること。学力以前に、こうした一見「あたりまえ」の(だが、できない)力を身に着ける最後のチャンスが大学生活だ。コロナ前であれコロナ後であれ、教員は「自己管理能力に難あり」の学生をサポートせねばなるまい(と、偉そうにのたまっている筆者も行動経済学が指摘するところの「引き延ばし」の誘惑に勝てず、ただいま締切1日前。行動経済学の権威ダン・エリアリー『予想どおりに不合理的』の知見はぜひ学生指導に生かしたいところ)。

とはいえ、大学での学びは授業に限られるものではない。食事をともにしながらの学友との議論や、クラブ活動、連れ立っての遊行などは

大学生生活の輝かしい思い出だ。友人は一生の財産だが、大学は高校までと違い、地元が違う友人と出会うことで自分にとっての「あたりまえ」を相対化する場所として特別の意味を持つ。友人作りのきっかけになるのが語学クラスやクラブ活動だが、現在の2年生は1年生のほとんどを遠隔授業で過ごし、クラブ活動もほとんどできていない。せめて授業内でグループワークを活用し、学生同士が語り合う場を設けよう。アクティブ・ラーニングを推奨する監督官庁の意にもかなう。その結果仲良しグループができ、試験対策で「三人寄れば文殊の知恵」をめざしたはずなのに、全員が間違いに気づかぬまま赤点をとる結果になっても(これは試験のたびに発生する現象だ)、当方は責任を負いかねるが(友情にひびが入らないことを祈る)。

そして学生の学習意欲を刺激し予習復習を助けるツールとして、遠隔授業支援ツールをコロナ後の対面授業でも十全に活用したいところだ。個人的にはまだ十全に活用しているとは言えないが、巷では遠隔授業ツールのほうが大人数授業のグループワークはしやすいという声も聞くが、ジャスト還暦の当方、パワーポイント作成とアップロードが精一杯。精進いたします、と言いたいところだが、最近授業準備等で休日返上が続くのでちょっと体力に自信がゴザイマセン(いわんや知力においてをや)。

ポストコロナの展望

システム工学部 教授(教務委員長) 吉野 孝

2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症の流行により、和歌山大学も様々な影響を受けました。まず、全面遠隔で講義を受講できるようにするため、前期の講義を一月近く繰り下げることになりました。その間、教員は遠隔オンライン講義やオンデマンド講義(以下、遠隔講義)の準備に追われました。実際に遠隔講義が始まると、ネットワークの帯域や学生の自宅のネットワーク状況などの問題が発生しました。また、遠隔による期末試験実施方法の検討なども必要でした。緊急事態宣言が出たら遠隔講義、緊急事態宣言が終結したら対面講義と、講義方法の変更を繰り返しました。

新型コロナウイルス感染症は、社会におけるコミュニケーションのあり方に大きな変化をもたらしました。今や、オンラインコミュニケーションがコミュニケーション手段の新たなスタンダードになりつつあります。私は、25年前に遠隔講義のシステムを研究開発していましたが、当時、遠隔講義が世の中に普及する気配はありませんでした。しかし新型コロナウイルス感染症の流行は、情報通信技術における30年くらいの変化を一気に引き起こしたように思います。

講義の遠隔化を経て、いくつか気がついた点があります。まず、遠隔講義には対面講義にはないメリットが多数あることが分かりました。

遠隔講義に関する学生のアンケート結果を見ると、「なんども動画を見直すことが出来て理解が深まった」等の回答が多く見られ、これまでほとんど普及していなかった遠隔講義が、意外と受け入れられていました。特に通学に時間がかかる場合、学生は遠隔講義を魅力的に感じるようでした。また、遠隔講義のために新たに作られた理解確認のためのレポートや小テストなども、学生が予習や復習などの時間外学習をするきっかけになっていました。



新型コロナウイルス感染症の流行が収束した後、コミュニケーション手段はどのように変わっていくのでしょうか?対面コミュニケーションにも大きなメリットがありますが、人は、一度味わった映像音声コミュニケーションの便利さを容易に手放すことはないと思います。ポストコロナでは、対面コミュニケーションと遠隔コミュニケーションがそれぞれのメリットに応じて、使い分けられていくのだと感じています。今後大学は、遠隔講義と対面講義を適切に使い分け、学生と教員にとって、よりよい修学が出来る環境に変化していくのではないのでしょうか。



日本初受賞 SFWSC 2021

The San Francisco World Spirits Competition

国際的な品評会「SFWSC2021」にてリキュール世界一の称号である最高栄誉賞「ベスト インショウ」を日本初受賞。



【The CHOYA CRAFT FRUIT】

希望小売価格 1,320 円(消費税込)

The
CHOYA
世界一へ。

チヨ－ヤ梅酒株式会社

代表取締役社長

金銅 重弘(大27)

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。お酒は楽しく適量を。

妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。 チヨ－ヤ梅酒株式会社 www.choya.co.jp

コロナ禍におけるリフレッシュ

シス工21期 志垣 沙都子(東京支部)

昨年の春、大阪から上京して間もなく初の緊急事態宣言を経験しました。右も左もわからない場所で、一人で乗り越えなければならなかった心細さや不安を、今でも鮮明に覚えています。あれから一年以上が経過し、度重なる緊急事態宣言等の発令により、当時のような「特別感」はなくなってしまいましたが、今でも友人との会合や、遠出の外出は憚られます。

近頃は、このような自粛を強いられた結果、鬱病に罹患する若者が増えているそうです。私自身も、平日はリモートワークをし、休日も家の中で過ごす日々が続いていた時期には、気分が沈むことが多かったです。その頃に、自粛は必要ではあるけれど、ストレスを抱え過ぎないように、リフレッシュすることも大事だと考えるようになりました。

コロナ禍以前には、リフレッシュについて意識することはありませんでした。しかし現在は、息抜きしたくなった時には、「家でのリフレッシュ」と「外でのリフレッシュ」を分けて実践するようにしています。「家でのリフレッシュ」では、タブレット端末を使ったお絵描きをします。幼少期からイラストを描くことが趣味で、よく紙に動物を描いていました。今はオリジナルの動物を、デジタルで描くことに夢中になっています。また、

ユニークなイラストを描いて友人に共有し、笑ってもらうことも楽しみのひとつです。

「ずっと絵を描いていたい!」と思うくらい絵を描くことは好きですが、何日も家の中にいると息が詰まってしまうため、「外でのリフレッシュ」も必要です。とはいえ、人混みは避けたいので、出かけたくなくなった時には、自然公園に行くことが多いです。

ついこの間は、多摩川沿いの公園へピクニックに行ってきました。その公園には、犬の散歩で来られる方が多く、見るだけで癒されます。また、私が訪れた日には、めずらしく本格的なシャボン玉を飛ばしている方がいました。専用の道具を使用して、30センチ以上あるシャボン玉をたくさん飛ばしていました。その方が飛ばしたシャボン玉を、子供や犬が追いかける様子は、まるでコロナが蔓延する以前の生活に戻ったようでした。早くコロナが収束し、自由に遊べる日々に戻ってほしいと切実に思いました。

近頃は、ワクチンの開発が進んでおり、コロナ収束に向けて舵を切っています。完全に終息するのはまだ先の話かもしれませんが、コロナ収束後に存分に楽しむためにも、今はリフレッシュをきちんとし、心身ともに健康に過ごそうと思います。



コロナ禍の日常生活

大61 坂井 真奈(旧姓:富田)(東海支部)

新型コロナウイルス感染症により、不安な状況が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。1日でも早く安心して外に出られる日が再び訪れることを願ってやみません。同窓会活動においても様々な制限を強いられ、皆様と直接お会いすることも難しい状況が続いておりますが、また元気にお会いできることを楽しみにしております。

今回、寄稿のご依頼を承り、何を書こうか悩みましたが、コロナ禍で主だった活動もできていないため、コロナによる活動や生活の変化、近況報告なども含めてお伝えさせていただければと存じます。

まず最初にプライベートについてですが、昨年11月に入籍し現在は名古屋市市内にて主人と2人で暮らしています。コロナ禍での入籍となったため、親族への挨拶も訪問を控え電話やオンラインにて実施するなど異例づくしとなりました。新婚旅行の予定も未だに目処が立たずといった状況ではありますが、楽しく毎日を過ごしております。共働きで2人とも帰宅時間が遅いため、家事などはお互いに協力し合って行うようにしています。実家暮らしが長かったため、働きながら家事も完璧にこなしていた両親の偉大さを身に染みて感じている今日この頃です。

次に、仕事については大学卒業後6年半勤めた銀行を退職し、現在は保険会社にて勤務しています。フレックスで銀行よりも時間の自由度はありますが、土日や夜遅くに仕事が入ることもあり、今までとは違った大変さも感じています。勤務はテレワークも可能なため、自身でスケジュールを立て出社かテレワークかを選択しながら活動しています。入

社当時は研修などの度に横浜や東京へ行くことができるのを楽しみにしていたのですが、残念ながら現在は全てオンラインにて実施しています。(写真は本社のマッカーサー記念室にて同期と撮影したものです。右側から数えて4人目が私です。)仕事内容はお客様への訪問活動がメインのため、コロナにより活動手法は大きく変化しました。最近では、オンライン面談など非対面での活動を併用しながら、日々の活動を行なっています。高齢のお客様も多いため、コロナ感染防止には人一倍気を付けるよう心掛けています。職場でのワクチン接種の日程が決まったので、副反応等の不安はありますが、ワクチン接種日が今から待ち遠しいです。この文面が掲載される頃には、ワクチン接種も終えているため、今よりも希望の持てる未来が開けていることを信じています。

最後にコロナ後の展望としては、コロナ前のように皆様と直接お会いして笑って過ごせる普通の毎日が来ることを願っています。趣味の旅行やLIVEなど今まで我慢していた分やりたいことがたくさんあります。まだしばらくは、辛抱の日々が続きますがコロナ後に期待を膨らませながら充実した日々を過ごしていきたいです。



コロナ後の社会

大56 内海 大輔(東海支部)

私は、名古屋を中心に動画制作の仕事をしている。主な仕事は、企業のCM、プロモーション動画のディレクターやプロデューサー。クライアントから直接依頼を受けることもあるし、代理店や仲介する企業から紹介もあり、割合は半々くらいだ。

新型コロナウイルスが日本でも流行し始めた2020年3月、4月頃、仕事がほぼゼロになった期間がある。決まっていた数本の制作もキャンセルになった。

この頃から各企業も、リモートワークの推進、飲み会の自粛など、変化を求められていた。この様子を見ていて、動画の需要が増えるのではないかと行動に移したら、これが見事にタイミングよく仕事を増やすきっかけになった。新商品やサービスのプロモーション動画、リクルートのための自社紹介動画などが多い。対面での営業活動やイベントなどで大々的にPRも出来ないの、営業ツールとしての動画も増えた。

動画を作りたいと思っている企業は、コロナ禍でも前を向き、変化に対応して、新しい価値を見つけて進んでいる。逆に目先の利益を狙った動画は、少なくとも私の受けている仕事からなくなった。作り手として、コロナ以前より「このクライアントの成長のために頑張ろう」という気持ちも大きくなる。

この仕事を通して、生き残る企業と淘汰される企業が、緊急事態宣言などの影響で経営の厳しい飲食店などを除いて、分かりやすくなって来たと感じている。

芸能界の働き方も少し変わって来た。東京に行ったからといって仕事が取れる時代ではない。逆にいえば、地域に根ざして頑張っていて、呼ばれば東京に行くというスタイルも増えている。

私がこの先目指しているのは、この地域で活躍するタレント、モデルなどの業界と、企業を繋いで行くことで、お互いにとって相乗効果が生まれるようになること。それを作れるのが、この動画の仕事だと思っている。地域で有名になるタレントがたくさん出て欲しい。

コロナ禍で、逆に元気で前向きな企業が、目に見えて分かりやすくなったことで、もともとやりたいと思っていたことが、シンプルに叶えやすくなるのではないだろうか。

マスコミ関係とも組んで、飲食店応援企画、イベントなども考えている。

海外旅行にも、当分は簡単に行くことができない。こんな時代だからこそ、地域に根ざしたことができると思う。この地域の前向きな繋がりを大事にしていきたい。



建設・補償コンサルタント

株式会社 岡本設計

〒640-8256 和歌山市土佐町 2-61-9
TEL (073) 426-3151 FAX (073) 426-3155

コロナで変わろう！

大47 濱口 大伸(三重支部)

新型コロナウイルスの感染拡大により、これまで当たり前であった事が当たり前で無くなり、自由に交流できないことが人としていかに不自由であるかを実感する昨今、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？

大学47期経済学部ビジネスマネジメント学科卒、濱口です。私は現在、生まれ故郷の三重県桑名市にてカイロプラクティック院を営んでいます。そして休日は小学5年と2年の子どもと一緒に野球、サッカーのスポ少活動を楽しむ父親です。

人と関わり接する事が主な仕事とも言える私の仕事が、コロナ禍において受ける影響ですが、来院クライアント様の密集を避ける為に、予約枠の間隔を開ける事が必要となる。人の移動を促す事に繋がる広域からの来院よりも、ご近所様からの来院を重視した運営へと少しずつシフトしました。これにより、一日に受け入れられる方の数は減らすことになりましたが、時短営業、広告費削減へと繋がりました。

その結果、何よりも家族との時間が増えるといったワークライフバランスに大きな変化が出ました。15年来の当たり前を見直すきっかけになったということです。

人との交流が減ることは、皆さんの健康にも影響し始めている様に感じます。

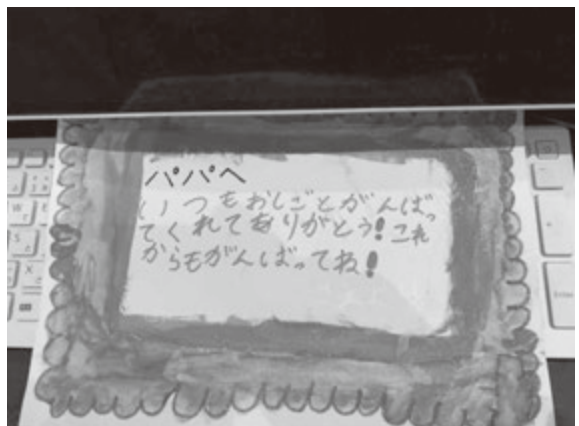
◎見られることが少なく、籠もる生活から来る→姿勢の悪さ。

◎マスク生活で深い呼吸が出来ていない事から来る→ストレス、筋肉の硬さ。など気づかないうちに少しずつ進んでいきますので、深呼吸やストレッチを心掛けてくださいね。内面は姿勢にも出ます。

スポ少活動を頑張るオヤジの楽しみ、飲み会にもやはり大きな影響があるのではないのでしょうか？原稿を書いている6月現在、全くそういった会合もなく、「早く飲み会やりたいね」が、合い言葉の様になっている状況です。これもまた、日頃からのコミュニケーションが不足するといった側面がある一方で、人と人とのつながりの大切さを改めて実感する機会ともなっているのではと感じます。

やはり人間は、仕事だけ、気の合う人だけといった狭い関わりだけではなく、幅広い人間関係により磨かれる感性があるように思います。いつくになっても集い、誘われるようなオープンマインドなオヤジでありたいです。コロナ禍というマイナスな言葉の響きに言い訳せず、状況に応じて過ごし方、あり方もしなやかにシフトするチャンスと捉え、学び外へと心を開いて、前に進む事が大事だと感じます。

コロナウイルスの感染拡大が収まり、自由に交流ができる時期になりましたら、同窓会などまたお互いに成長した姿で集まりたいですね！



コロナ禍での子どもたちの生活

大47 夫馬 聡子(大阪支部)

2021年1月より大阪支部、事務長補佐を務めさせていただくことになりました、47期生の夫馬聡子と申します。どうぞよろしくお願いたします。

コロナという言葉は初めて聞いたころ上の娘は小学校6年生で、卒業式、卒業旅行や謝恩会を控え浮かれていました。休校措置が取られ卒業旅行も謝恩会ももちろん中止、できないことを数えては「よりによってなぜ今年なんだろう。」「運が悪い。」と恨み言を言っていました。しかし、この頃はまだいつか前の生活に戻れる時が来ると信じていました。

緊急事態宣言が発出されて、入学式もなく担任の先生の顔も知らないまま自宅で過ごす毎日。子どもたちは友達にも会えず、遊びにも行けず学校から与えられた課題をこなすだけでした。でも数日たつと、できることを見つけて工夫して楽しむようになっていきます。時間だけはたっぷりあるので、お菓子を作ってみたり、運動したり、ハンドクラップというのもやりました。あれこれとやりたいことはどんどん出てきて精一杯遊び

ました。不安な毎日を過ごしている中で、子どもたちの笑顔に何度救われたことでしょうか。

学校が再開されて、制約がある中ではありますが、友達と会えるようになった子どもたちは本当にうれしそうです。マスクにも慣れ、コロナとの共生が当たり前になった今、もう以前の生活に戻ることはないのだと感じています。学校の先生が導いてくださるもとの、子どもたちはできることを見つけて進んでいるのです。

コロナ禍でももちろん失ったものもたくさんありますが、得たものもあると思います。今までだったら、きっと当たり前で過ごしていた何気ない日常が、いかに恵まれていることなのか改めて感じることができました。子どもたちにもこの状況を乗り越える力があるんだということを感じました。

体が一番大切なのでコロナに感染しないように細心の注意は払いながらですが、気持ちだけはコロナに侵されず前に進んでいけたらと思っています。

天然紀三井寺温泉

龍の湯

和洋102室、収容人員400名
無料送迎バス5台有り
合宿・各種競技等のご宿泊 格安料金御利用下さい。
■ご宿泊はお客様のご希望にあわせて和室・洋室をご用意できます。

ガーデンホテル
紀三井寺

はやし

〒641-0012
和歌山市紀三井寺673 国道42号線沿紀三井寺入口

お問合せ・ご予約

TEL.073-444-1004
FAX.073-446-2321

コロナ禍における現状と今後

大46 宮下 剛(京滋支部)

経済の冷え込みがおさまらない現実とともに朝晩の冷え込みもなかなかおさまらず、毎朝「寒ぶっ」て言いながら目覚めている滋賀県在住の私ですが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私はIHIの子会社で、主に蒸気ボイラを製造販売メンテナンスする会社に勤めています。ご要望がございましたらぜひお声がけいただけますようお願いいたします。なんてことを言いつつ、会社でもコロナ禍への対応をいろいろと考え行動していますが、ここで発表することではないので、プライベートなことを書かせていただきます。

趣味といえば、ただただ美味しいものを食べながら美味しいお酒をのむことです。堂々と外に飲みに行きにくい現状ですので、ありがちな家飲みを楽しんでおります。せめてプライベートくらいは楽しんでおります。おかげさまでお腹まわりは特に立派に成長中です。で、やっと本題ですが、私は兵庫県出身で和歌山や大阪、広島でも過ごしたことがあります。滋賀県は比較のお手頃な価格でも美味しい牛肉が手に入りやすい印象を受けます。そこで、最近購入しました低温調理器で作りなかなかうまくできたローストビーフについて書きたいと思います。

材料

- ・牛赤身ブロック 500g、塩コショウ 適量
- ・タレ 醤油 50g、みりん 50g、赤ワイン(料理用でOK) 50g、お酢 30g、砂糖 大さじ2



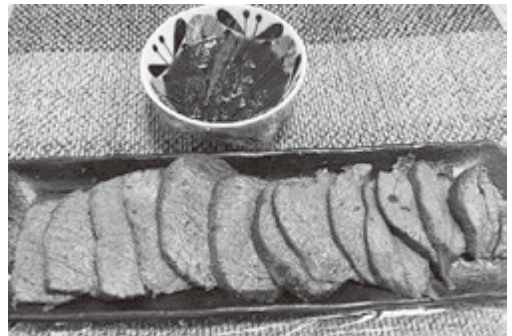
レシピ

- 1) タレの材料を用意しジップロックに入れておく
- 2) 牛肉に塩コショウをしっかり振り、全面を各30秒ずつフライパンで強火で焼く
- 3) タレが入ったジップロックに焼いた牛肉を入れる。閉じるときにはできるだけ空気を抜く
- 4) お肉とタレが入ったジップロックを冷蔵庫に10分から半日くらい入れてお肉にタレを染み込ませる
- 5) ・タレはフライパンに入れて火にかけて濃縮させる
・お肉はジップロックに入れ、できるだけジップロックの口の近くにお肉を置いてストローなどでジップロックの中の空気を抜く
- 6) 60℃の温度のお湯で1時間30分程度加熱(ここで低温調理器を使用します)

タレはローストビーフにお好みでかけてください。あまってもいろいろと利用できるように思います。

※注意

- ・様々な微生物が増殖、毒素生成する温度は5~55℃であるためこの温度帯は避ける
- ・低温調理時は、お肉(タンパク質)が固くなる63~70℃を避ける



コロナ禍下における現状と今後

大46 菊池 静(東北支部)

コロナなかりせば、昨年は復興五輪、今年3月に震災から10年の節目と、東北地方に注目が集まるトピックスがあったところでしたが、コロナ禍で大きく変わってしまいました。

自然災害の場合は、発災時から人命救助→避難→仮復旧→復旧・復興と段階を踏んで着実に前を向くこともできるのですが、今回は発災が1年以上続くという、これまでにない形の災いとなり、重苦しい状況が続いています。

しかし、ワクチン接種が進みつつあり、ようやく出口が見えてきつつあります。ただ、出口に立った時、元に戻るというのは幻想なのではという思いがあります。

例えば、これまでの「熱が出たくらいで休めない」という価値観は、「早めに休んで体調を整える」という考え方に代わりました。テレワークの推進で、オフィスの解約が進んでいるという現状もあります。

飲み会をしなくてもコミュニケーションが取れることを知れば、あえて飲み会を行うためには、それ相応の理由が必要です。オンライン会議により、経費や時間を大きく節約することができるということを知った今、元のように1か所に集まる理由が必要になります。

その流れで注目されているのが「ワーケーション」という考え方です。

実は、和歌山県は「ワーケーション」先進地域

で、特に白浜町はモデル的な存在となっています。ワーケーションはビジネスと観光の融合ですから、まさに和歌山大学が先頭に立って政策提言ができる分野と言えそうです。

また、これまでは、大学の立地が京阪神地区ではないことから、学生を集めるには不利な状況でしたが、オンライン授業という方法により、距離の壁を取り払う可能性が見えています。学習時間と能力と金銭的な余裕があれば、岩手県に居ても和歌山大学の授業を受けることが可能という状況です。

つまり、和歌山大学がこれまで「爪を隠して」いる状態であれば、研究者は研究結果を地域に還元できる環境にあり、全国各地から学生を集めやすくなるなど、経済学部100周年を迎えつつあるこの時期に絶好機が訪れていると言えます。

コロナ禍が終息後、この2年間の鬱屈を晴らすべく、旅行ブームが来るのではという期待をしています。その際は、今年新規の世界文化遺産登録でも注目される東北の地を是非とも訪れてください。



広島支部におけるコロナ禍下における現状と今後

大45 三吉 規央(広島支部・支部長)

通称コロナことCOVID-19が話題になり出してから、7月時点で1年半以上も経ったでしょうか。未だにコロナ禍は広島県でも続いております。それは私自身がマスクの着用を、外出時に通勤電車の中で、職場でも、買い物先においても常に要請されていることで証明できます。

広島支部は、活動再開を期して最近の6月27日に会合を開いたばかりです。コロナ禍下であろうとなかろうと支部は休眠していたのですから、コロナ禍下の前と後を比較しても違いはありません。そう言えば、コロナの影響を受けてこの会合の開催場所については、飲食を避けるために飲食店ではなく貸し部屋を会合場所を選び、予定時間一杯みっちり会合を行いました。

会合は多くの会員が参加しやすいよう、福山市は午前、広島市は午後に分けて行いました。福山市内の会合場所は、4月の予約後に6月20日まで緊急事態宣言によって閉鎖しておりましたので、日取りは結果的に上手くいきました。

そして会合では広島市在住の私を支部長に、竹原市在住の山元経穂氏(49期)を副

支部長に選任し支部の体裁を整えました。更に、せっかく会員に支部再開の意欲があるうちに支部総会も開催した方がよいので、令和3年のうちに広島市内で支部総会を開くことになりました。コロナ禍下という逆風の中ではありますが、広島支部は再び活動を始めたと言えます。

それまでの広島支部は平成30年1月に福山市で交流会を、11月に広島市で最後の支部総会を行ってからは、会費は徴収せず支部の残金と柑芦会本部からの補助金をつかって、会誌の送付を前支部長の山本正博氏(11期)に継続いただいております。令和2年10月の郵送数は59件でした。

とりあえずコロナ禍下であろうがなかろうが、活動再開を始めたばかりの広島支部では支部総会の参加者を増やすことが重要であり、会員同士が直接会って自己紹介と近況を伝え合う支部総会を開催する予定です。

COVID-19については、皆様それぞれに意見や考え方がありましようから議論にはしないようにしています。私の個人的な考え方は、やっぱり直接お会いしてからお話しあげたいと考えています。

鵜島会計事務所 鵜島社会保険労務士事務所				
税 1 行 税 社 中	理 P 理 理 業	技 書 務 務 断	士 主 士 士 士	鵜島信二(院34) 鵜島幸夫(大53)
級 F 政 会 小	保 險 業	勞 務 断		
〒641-0021 和歌山市和歌浦東3丁目2-78 山下ビル102号室 TEL(073)448-2668 FAX(073)448-2669				

コロナ後の展望

大43 和田 直樹(香川支部)

43期経営学部を卒業しました和田直樹です。私は現在、銀行勤務を経て家業の和田プロパン(株)を経営しております。

まず、コロナの業績への影響につきましては、扱う商品が生活関連の消耗品でありますので、家庭用の需要は伸び、飲食店などを含みます業務用途は大幅に落ち込みました。結果トータルでは微減といったところです。

お取引先によっては休業を余儀なくされ、厳しい時期を過ごすことになりましたので、いろいろな形で支援させていただく事になりました。できるだけ一過性に終わらず、継続的にお役に立つような応援方法を柔軟に考えるようになりました事は、今後商売をしていく上で良い経験になったと思います。

誤解を恐れず申し上げますと、コロナ禍は今後のビジネスに於いては大きな良い変化を引き起こす契機となり得ると、前向きに捉える事も必要ではないかと思っております。

- ・リモートの活用による仕事の効率化
 - ・電子マネーなどキャッシュレス決済の推進
 - ・IOT機器活用で非接触での情報収集や省力化
 - ・テレワークなど在宅での勤務
- などは、非常時であるお陰でお客様や取引先

企業様の理解を得ることができました。コロナ前の状況でこういう方法へシフトして行きたいと考えていてもなかなか実現しなかったように思います。

今後の人口の推移と高齢化から、どの企業も労働力不足から仕事の効率化と時短は共通の課題でした。

このタイミングで、図らずも何年分もの変化を迷うことなく決断し推し進めてくれる原動力となりました。

後戻りすることなく、新しく生み出されたスタイルをコンセンサスとしてこれから継続していくことが様々な問題を解決することにつながると信じております。

ただ、今はまだこれからのフレームが出来上がったばかりです。

ブラッシュアップし効果的に活用して成果を上げていくためのスキルを身につけていくことが、今後の課題であると思います



齋藤直樹 税理士事務所

〒559-0007 大阪市住之江区粉浜西2丁目18-4
粉浜グリーンハイツ306号

TEL 06-6678-0233 FAX 06-6675-5728

税理士 齋藤 直樹 (大21回)

コロナ禍とくらし

大43 由井 幸枝(大阪支部)

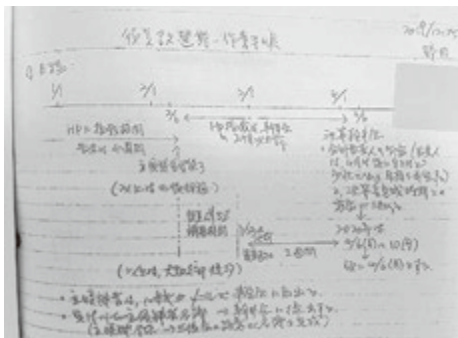
2021年1月より大阪支部事務長になりました。今年の6月にご逝去された前任の野田さん(17期)からは、引継の際には厳しくも温かいお言葉をいただき、野田さん手作りの引継書は今となっては支部事務運営のバイブルのような存在です。心よりご冥福をお祈りいたします。現在は同僚の夫馬さん(47期・子どもが同級生で偶然知り合いました)、本部の浦さん(17期)にも相談しながら、野田さんが残してくださった引継書を見ながら日々の業務を進めております。

さて、私が引継いだ時はコロナ禍2年目で、止まってしまった経済講演会や人生塾の新たな運営方法を模索されておられた時期でもありました。Zoomを使った経済講演会を着任早々の2月に企画したのですが、柑芦会初めてのオンライン講演会に80名を超える参加希望があり、緊急事態宣言下でも会員の皆様の交流の場を作ることができた事は嬉しかったです。その時に力になってくださったのが柑芦会のフェイスブックを通じて繋がった全国各地の先輩方でした。フェイスブックは出身校などから検索して知り合いになることができるのですが、一度もリアルにお会いしたことがない先輩方とオンラインで初顔合わせをし、操作方法などを教えてもらい、経済講演会当日も遠隔でサポートをして頂きました。この行事の成功の裏には、このような先

輩・後輩の支え合いがありました。この場をお借りしてお世話になった皆様にお礼を申し上げたく、コロナ後はリアルにお会いして、卒業期も所属支部も違いますが、オンライン実行委員会の同窓会を開催できたらと願っております。

いつとは言えませんが、いずれ必ずコロナ後の時代がやって来るでしょう。そうであっても、社会がコロナ以前の時代に戻ることはないと思います。家庭用電話が必要とされない時代、メールアドレス無料の時代であっても、メールアドレス利用者は4年前の3分の1以下に減少しているとのデータを見ました。大阪支部でもメールアドレス登録者数は年々減少傾向にあり、今後の課題でもあります。フェイスブックですら減少傾向であり、現在右肩上がりのコミュニケーションツールのLINE やインスタグラム等も数年先には分からない時代。すでにZoom講演会やZoom会議は日常の一部になりつつあり、目新しさはなくなりました。

時代の流れを見てみると、コロナ後であってもリモートやSNS 内で顔を合わせない意思疎通の場が増えていくことは确实だと思います。だからこそ、言葉やコミュニケーションの重要性が今後一層増していくのだと思っております。大阪支部は谷町4丁目に事務所があります。全国の卒業生の皆様がお近くに来られた際に、お立ち寄りいただけるような場となれば嬉しいです。



オンラインの活用とコミュニケーション

大41 三和田 浩次(神戸支部)

2020年初頭から世界的な流行になった新型コロナウイルスの感染症。人類のコミュニケーションを根本から揺るがす事態となり、私たち柑芦会も新しい交流方法の模索を余儀なくされることになりました。

神戸支部では、2020年の夏頃よりオンライン会議システムを使った交流方法を模索し進めてきました。この場をお借りして、昨年からの取り組みをご紹介します。

【「Zoom」との出会い】

2020年4月頃から本業で「Zoom」に代表される会議システムを使い始め、5月には東京に本部がある趣味のグループの会合にも使い始めました。自分で会合を主催する側に立った事から、経験を積ませてもらいました。

柑芦会にもこのメリットを活かせられればと思い、2020年7月17日の神戸支部定例幹事会では一部Zoomを使用、現地10名・リモート4名で開催致しました。続けて、同年10月10日の支部総会に代わるものとして臨時幹事会を前日9日に開催しました。現地10名・リモート13名の参加で、ホスト役の自分はバタバタしていましたが、最後は「和歌山大学物語」の動画も流すことが出来、無事終了する事が出来ました。事前にZoom体験会を7回開催し、未体験の方も使い方に慣れてもらってから開催に臨んだ事も良かったと思います。

今年2021年1月の新年会は緊急事態宣言が兵庫県に出されて開催中止になりましたが、

現地の様子をオンライン参加で見ることができるよう準備をしておりました。

【オンライン開催のメリット】

今年に入ってから、柑芦会本部や各支部でオンラインでの会合が頻繁に行われているようで、今後もこの流れになると思われます。

もちろん、リアルでの集まりがベストである事には疑いありませんが、それに加えてオンラインで会合を開催するメリットは大きいと感じます。

- ・遠方からの参加のしやすさ。移動時間が最小限になる為、経費・時間が短縮可能。
 - ・こまめに交流会を開催することで、現役世代の会員をはじめ参加の機会が増える。
- 留意したい事項としては、
- ・スマホ参加の方を考慮すれば、会議資料は事前配布がベスト。画面共有に重きを置かない。動画共有はまだ一考の余地あり。
 - ・リアルとオンラインのハイブリッドはリアルでの通信環境、音声の調整が必須。
 - ・ホストが出来る人を多く作っておく。講演会や公式な会議では1人でのホストは厳しい。当方は2台パソコン＋スマホで対応したことがありました。

いずれにしても、会員間の交流をより活性化させるツールとして、オンライン会議システムは大いに活用してよいと考えます。未体験の方も、是非ともチャレンジしてみてください。



コロナ禍における現状と今後

大39 山本 進三(和歌山支部)

2019年秋に中国の武漢より発生した新型コロナウイルスは瞬く間に世界を席卷し、2年経った現在でも治まることなく感染者は増え続け、また何度も変異を繰り返して、より感染しやすく、より重症化しやすくなりながら世界中で猛威を振るっております。

同じようなパンデミックは約100年前の1918年の第1次世界大戦の終盤で、新型インフルエンザ(H1N1亜型)通称“スペイン風邪”が猛威を振るい、全世界で5億人以上が感染し、推定で約1億人の死者を出したと言われています。当時の世界の人口は18～19億であったことから、全世界の約27%、3人に一人が感染したことになります。

しかしこの“スペイン風邪”は約2年で終息を迎え、世界経済に長期にわたる経済的打撃を与えることなく終息することができました。一説によると、当時は現在ほど医学が発達していなかったために、速いスピードで感染が行き渡り、多くの感染者・死者が出たものの、集団免疫もいち早く獲得することができたため早期に終息することができたのではないかとされています。

それに比べ現在の新型コロナウイルスは2年が経とうとしている現在でも治まる兆しすらありません。医学が発達し感染予防が徹底されればされるほど、感染者の命を助け、感染の拡大を抑えることができますが、反して集団免疫の獲得には時間がかかります。その分、世界経済への影響も長期化させることになりました。

コロナ禍を終了させる切り札となるのがワクチンですが、現在世界中で摂取されているワクチンは今まで利用されたことのないメッセンジャーRNA型のワクチンです。メッセンジャーRNAワクチンとは新型コロナウイルスのRNA(設計図)を体に入れ込み、体の中で新型コロナウイルスを蘇生させて免疫細胞に覚えさせるという仕組みですが、このワクチンがどこまで変異

ウイルスに対抗できるのか、またワクチン自体に本当に副作用がないのか、予断を許さない状況が今後も続くと考えられます。

インドの変異ウイルス(デルタ株)によって感染者が再び増加傾向にある現在、幸いなことに重症者患者の数はさほど増加していないのが現状です。ワクチンの集団免疫が効いてきているのでしょうか、この傾向を今後も維持することができれば、近い将来、新型コロナはただの“はやりの風邪”となってしまおうでしょう。そうなったとき初めて世界経済の活動が本格的に再開され、かつてない早さで経済回復が進むことでしょう。

しかし、もしワクチンによる集団免疫が変異株に対抗できなかつたとき、製薬会社は変異株に対抗した新たなワクチンを作って集団免疫を獲得しようとするでしょう。ところが最悪の場合、再び集団免疫の効かない変異株が登場し、新型ワクチンと変異株とのイタチごっこがしばらくの間、続くことになるかもしれません。

最終的に世界は集団免疫を獲得し、新型コロナウイルスは遅かれ早かれ「普通の風邪」となってしまふことは確かだと思いますが、問題は「普通の風邪」になるまでの期間が短いか長いかということです。長い場合は、飲食や旅行業に限らず、衣料関係や娯楽等のサービス業など、B to Cを基本とした多種多様な事業が大きな損害を被って廃業・倒産が相次ぎ、コロナが去った後になっても経済全体が縮小したまま元に戻らないかもしれません。

その様なことにならないよう願うばかりですが、今回のパンデミックは世界的なSDGsの流れと相まって、20世紀型の大量生産・大量消費という時代の終焉を感じずにはいられません。新型コロナウイルスは新たな時代への登竜門、私たちが神から与えられた、越えなければならない試練なのかもしれませんね。

コロナ後の展望について -デジタル化によってもたらされるもの-

大37 谷口 充(神戸支部)

昨年、春先より猛威を振るい、現在もなおインド型のような変異型ウイルスが様々な社会活動や経済活動に影響を及ぼしています。そういう中、本当にこれから先、コロナ後という世界がやってくるのか、きっとこれから先、コロナウイルスが存在する前提の中で経済活動を遂行していく必要があると、つまり「withコロナ時代」を如何に生きるかという表現がもっとも適切ではないかと思えます。

まずはビジネススタイル上の変化。この1年を通じて止む得ず、リモートワークスタイルの定着、非接触形式での交流が進みました。私も含めてリアルコミュニケーションの重要性は再認識しましたが、多少のリアルへの回帰はあるものの、その流れは変わらないものと思えます。特に都市部での通勤事情の過酷さの解消という個人側ニーズ、都市部の高いオフィス賃料の負担軽減、効率的ワークスタイルの確立という企業側ニーズがマッチし、その流れは止まることはないでしょう。企業は多くのビジネスプロセスをデジタル化し、いつでも何処でも成果を出せる働き方を提案し、従業員はデータに基づいたオペレーションと意思決定、リモートを活用したスピード感ある働き方が求められるようになると思えます。

そこでこれからの変化で大切なことは、ビジネスのプロセスが一気通貫でデジタル化されてくると、これまでは各現場でのそれぞれの改善活動は、ややもすれば部分最適活動に

なるため、改善が改悪になるかもしれず、今後はビジネスの上流から下流までプロセスを俯瞰的にみる能力を今以上に磨く努力が必要になると思います。

次にライフスタイル上の変化。特にこれから社会観を作っていく人たち、これから新しい社会づくりに参画しようとする人たち、私の中では15歳～35歳くらいまでの人、って感じですが、今回のコロナ禍で明らかに人と人の距離感(物理的にも、心理的にも)、ノーマルな距離感が無意識に変わった気がします。会食を共にするみたいなことは元通りとなるかもしれませんが、握手やハグといった類のものはどうでしょう？他人との深い交わりの中で自分を磨くというより、個の中で、自立した中で自分を磨き、世にオープンにしていくというライフスタイルが今以上に強くなるような気がします。そういう意味ではより個性的な人材が生まれやすくなるのかもかもしれませんね。

この投稿が出る頃に東京オリパラがどのような状況になっているか、本当であれば誰が金メダル有力か、そういう話題で盛り上がるのでしょうか、今は選手や大会関係者と地元民が何事もないことを祈るばかりです。

高野町での聖火の絆のリレーが色あせたものとならないように。



コロナ禍における現状と今後

大35 門屋 孝博(愛媛支部・支部長)

2020年1月頃から、新型コロナウイルスが世界に拡がりはじめ、日本国内にもあつという間に拡がってしまいました。私たちにとっては、これほど感染力の強いウイルスが拡がるのは初めての経験であり、その対処法も手探り状態で、当初は、その対策となりうるマスクや消毒液などが品薄で、不安な日々を過ごしていました。

新型コロナウイルスが拡がりはじめてから、約1年半が過ぎた現在においては、政府や各都道府県などの自治体や各業界団体が中心となって、種々の感染症対策をはじめ、昨今では、対策の切り札とも言われているワクチン接種が始まったのは、ご承知のことと思います。

このような中で、愛媛県においては、2021年3月に発生した県庁所在地である松山市の「繁華街クラスター」が暗い影を落とし、この影響が約3か月続き、政府の施策に加えて、愛媛県独自の厳しい、そして我慢を強いられる感染症対策を実施しなければならない状況に追い込まれました。テレビや新聞など各報道機関から発信される内容を確認する限りでは、愛媛県の行政リーダーである愛媛県知事が講じた施策は、迅速か

つ厳しい内容となっており、愛媛県内においては他の都道府県と比較しても、新型コロナウイルスの拡がりを最小限に食い止めているように思います。

柑芦会愛媛支部としての活動は、ほとんどできていませんが、私たちの基盤である経済界においては、「アナログ」から「IT活用」への転換が加速化されたことにより、「在宅勤務」が実施され、また出張の是非が問われ、会議の在り方や他者とのソーシャルディスタンスなど、これまでの生活、方法が一変しました。愛媛県内独自の特徴ある感染症対策は、見当たりませんが、各業界が創意工夫しながら、なんとか活気ある街を取り戻そうと日々尽力しています。

新型コロナウイルスの拡がりは、人々のライフスタイルを見つめ直す機会になったとよく言われていますが、悪しき慣習は見直し、良い慣習は早く取り戻すことが望まれます。

収束の暁には、老若男女、世代を超えて、そして、経済界の力を結集して、真の人間らしい生活ができる環境づくりが実現することを切に願っています。



FMSのパートナー

株式会社 白山機工

代表取締役会長 穂 田 外志雄(大19回)

取 締 役 白 石 晴 久(大19回)

本社工場 石川県白山市旭丘4丁目10番地 〒924-0004
TEL.076-275-6631(代) FAX.076-276-8371

コロナ禍下における現状と今後

大32 北口 正人(大阪支部)

私は在阪の電鉄会社に入社したが、1990年に上司とともにニューヨークのジャズクラブ「ブルーノート」を日本に持ち込む作業をおこない、日本でジャズクラブ3店舗の経営をおこなった。2006年にブルーノートとの契約を返納し、米国の音楽ブランド「ビルボード」を日本に再上陸させるなど、エンタメ・音楽ライブの新規事業を他のスタッフとともに30年間構築してきた。鉄道の本業とは縁遠い事業創造であったが、悔いは全くなく、支えてくれた方々には心から感謝している。

2019年には国内の音楽ライブ市場の規模が過去10年間で約4倍の4200億円に成長したこともあり、当社のビルボード事業は、10周年で「桑田さん」の公演が実現した“ビルボードライブ”や、甲子園球場で「安全地帯」のコンサートが成功した“ビルボードクラシックス”、“ビルボードチャート”も、日本の音楽業界の成功の標準となるなどで大きな利益をあげた。また、ビルボード事業とは別に、インバウンド向けのエンタメ新規事業開始の承認を親会社の役員会で得るなど、我々が30年かかって作ってきた株式会社阪神コンテンツリンクは順風満帆であった。

しかし、2020年2月末、突然発生したコロナ禍は成長したエンタメ市場を直撃、当社も2020年4～6月は事業の90%がストップし大きなダメージを受けた。社員の動揺を抑えるために、私は社長としてスタッフやサポートしてくれている企業に対して

- ①当社は潰れない
 - ②雇用や下請けの契約は100%守る
 - ③2つの震災や「リーマン・ショック」を乗り越えた実績に鑑み、皆で力を合わせれば絶対にコロナ禍は乗り越えられる
 - ④コロナ禍でも利益が出せるデジタル事業を早急に構築しよう
- と訴えた。

加えて自社のビルボードライブ事業だけでなく、仲間のライブレストランを守るため「日本ライブレストラン協会」を、海外アーティスト招へい会社が集まり早期に外タレ公演を実現するために「インターナショナル・プロモーターズ・アライアンス・ジャパン」を皆と設立し、制限の緩和や補助金獲得の交渉を政府と行っている。

最後にライブ業界の2020年の市場規模は、従来の20～25%と言われ存続の危機に瀕している。加えてコロナ禍はまだ数年は続くと予想し、業界を守るための政府との更なる交渉・陳情と大きな企業が小さな企業を助ける業界の再編成が必要ではないかと感じている。また、アフターコロナを見据え、我々ライブ業界は5Gなどを利用しその価値をあげる努力や、中国を含むストリーミングのグローバル化に追いつくことで国内アーティストの海外進出をライブでサポートしないといけない。「エンタメは不要不急ではない」、これは多くの音楽ファンの言葉である。このファンの言葉がある限り、エンタメ業界の発展は続くと確信している。

NO コロナハラスメント!

大31 梶 正司(香川支部)

令和3年4月1日、いつもどおり目が覚めました。私は、昔から早起きで毎朝4時に起きて犬の散歩に出かけるのが日課です。しかし、いつもと違った感覚がありました。なんだか肩が軽いというのか、昨日までと違った不思議な感覚です。「そうか、俺、もう校長じゃないんだ。」これが肩の荷が下りるといことなのかと感じました。前日、教育長から退職辞令の交付を受け、3年間の高松商業高校校長としての務めと38年に亘る教員生活を終えたのです。校長という仕事は、変化に柔軟に対応する力と時に大きな決断力が必要なのですが、特に最後の一年は、新型コロナウイルスで例年と違った判断と緊張の連続でした。

令和2年1月、中国武漢で原因不明の肺炎が流行しているというニュースや2月に入って横浜に停泊中のクルーズ船での新型コロナウイルスの感染拡大の報道を聞いてもまだ自分のこととして捉えることができませんでした。事態が一変したのは2月27日夕方、当時の総理大臣安倍首相が全国一斉の臨時休校の要請をするニュースが流れてからでした。

翌日には、急遽3学期終業式を校内放送で行い、続く3月3日には入場者を制限した形で卒業式を挙行了しました。その後、4月に入り一旦は学校が再開しましたが、また入学式の数日後からは休校が始まり、結局休校期間は約3ヶ月に及ぶことになったのです。

毎日、千人の生徒・教職員が生活する学校は、

三密が発生しやすい環境にあり、いつ感染者が出てもおかしくありません。そんな中、私が1年間言い続けたことは「いつか必ず、本校から感染者が出る。その感染者を守り抜く学校でありたい。感染した人を排除することは絶対間違っている。回復を心から願い、そして完治したときは拍手で出迎えよう。」ということでした。

新型コロナウイルスの怖いところは、私たちの体だけでなく、心の弱さを狙って攻撃するところです。誰にでも感染に対する恐怖心はありますが、その恐怖心から感染した人に対する攻撃に変わるコロナハラスメントが色々なところで起きています。ただでさえ病に苦しんでいる人をばい菌呼ばわりし、クラスターが発生した学校や職場に対する攻撃的なインターネットの書き込みなどは決して許されないことです。自らのすべてを犠牲にしてウイルスと闘う医療関係者などへの誹謗中傷が間違っているということは少し考えれば誰にでも分かることです。今、私たちが取るべき態度は、困難に立ち向かったとき、誰かを批判するのではなく、誰かのために力を発揮しようとする事だと思います。

コロナ対策では、人と人との距離を空けて行動することを求めています。それが心の距離まで隔て、人々の分断に繋がってはいけません。人としての優しさや繋がりを維持できるのか、私たちがコロナウイルスに試されているのです。



コロナを機に始めた3つの事

大28 別役 久雄(岡山支部)

新型コロナウイルス第二波を警戒しなければならぬ中、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私は第一波による外出自粛を機に新しく3つの事を始めました。それは

- 1) NHKラジオ外国語講座を聴く
- 2) 宝石・アンティークジュエリーに関する知識を得る
- 3) 世界史を学ぶ

です。以下、それぞれについて簡単にお話ししたいと思います。

最初に1)についてですが、4月から英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語を聴き始めました。

英語以外はすべて入門編です。面白かったのでこれら以外の言語も聴けばよかったのと思っていたところ、「入門編の7月～9月は4月～6月の再放送になる」との事だったので、7月からはイタリア語、ドイツ語、ロシア語、ハンガール語、ポルトガル語も聴き始めました。

英語とフランス語以外はこれまでに学んだことのない言語ですが、フランス語やスペイン語、イタリア語など文法や単語の似たヨーロッパ大陸の言葉、これらに比べてシンプルな文法の英語、そして近隣であるにもかかわらず日中と全く異なるハンガール文字など興味深く楽しんでいきます。また、ヨーロッパ大陸の言語でも、ほぼローマ字読みで通じるスペイン語に対し、息を鼻から抜いたり、咽を鳴らしたりしなければならないフランス語、非常にリズムカルなイタリア語とその違いを感じるのも面白く思っています。

とりあえず上半期の講義が終わる9月まで受講し、興味が続けば下半期の初級編も聴くつもりです。目標は小学校低学年の子供が話す日本語と同じレベルまで話せるようになることです。

次に2)についてですが、ダイヤモンドと3大宝石(ルビー、サファイア、エメラルド)に関する本を読み始めました。以前から資産保全の一つとして宝石に興味はあったのですが、その一方で値段が高く‘ほったくられる’だけではないかという気持ちもあり腰が引けていました。しかし宝石に関する話を聴く機会があり、それを機に色々調べてみるとなかなか面白いものだということが判ったことから、更に深く学びたいという気持ちになったのです。

ダイヤモンドを例にとると、評価基準として4C(カラット、カット、カラー、クラリティー)があり、価格については卸ベースですが、‘ラパポート’と呼ばれる目安になる数字があります。そして希少性があり大きな石ほど価格は高くなります。例えば‘ラパポート’で見ることが出来る最高のグレードである、2カラット、ラウンドブリリアントカット、Dカラー、IFの場合、これを書いている8月8日現在で、630万円くらいです。小売りベースでは800万～1,000万円以上するのではないのでしょうか。ちなみに2カラットというのはわずか0.4gに過ぎません。最近価格が急上昇している「金」でも1kg程の重さになることを考えると、安住の地を持たなかったユダヤ人がダイヤモンドを身に付けて移り住んだというのも、その資産性、携帯性を考えると納得できますね。日本を追われることはないと思いますが、資産の一つとして宝石を持つことも考えてみたいと思っています。

最後に3)についてですが、高校時代の教科書であった「山川世界史」を入手して読み始めました。と言ってもこの本は教科書と全く同じ内容と言うわけではなく「ふたたび世界史を学ぶ読者向けに書き直され」ています。高校生時代

苦手科目であった世界史ですが、現在の政治や経済、文化や芸術を理解するには世界史の知識が必要だと思いあらためて学ぶことにしました。心のどこかに苦手意識は残っていましたが、始めてみると面白く、時間を忘れて読み耽っています。十数年の人生経験しかない高校時代に受験勉強のために読むのと、これまで生きてきた60余年の間に起きた出来事の「何故」を歴史と結び付けて読むのでは全く異なるからでしょう。しかし、本書は教科書をベースにしていることから、必要最低限のことしか書かれていないので、それを補うため、最近「チャート式新世界史」と「最新世界史図説タペストリー」を購入し、併せて読んでいます。

ところで2)でお話したように、宝石に興味を持ったことで、世界史を読んでいても、これまでであれば気にも留めなかったようなことに目

が行くようになりました。例えば、ルネッサンス時代に描かれた‘エリザベス一世’の肖像画です。宝石に興味がない時であれば「絶対主義最盛期に君臨した独身の女王」はこのような人物だったと思うだけで終わっていたでしょう。しかし、今では‘エリザベス一世’が身に付けているダイヤモンドにルビー、真珠、そしてオパールなど豪華な宝石がちりばめられた髪飾り、ネックレス、ペンダントなどを見ると、男性のものであったジュエリーが女性の手に移った時代を表していること、また男性中心社会の中であって彼女の権威を示す手段となっていたことを感じるのです。

以上、コロナを機に始めたことについて書いてみましたが、皆さんは何か始められたことはありますか。それでは、コロナに負けないで、前向き、元気に過ごしましょう！



人に、地球にやさしい、もの創り

シマセイキは、ファッション業界において、人に地球にやさしいもの創りを提唱します。

Sustainability @ SHIMA SEIKI

www.shimaseiki.co.jp/sustainability/







株式会社島精機製作所
本社 和歌山市坂田85番地
TEL 073-471-0511(代)

同期会ができればなあ

大27 小野田 修一(神戸支部)

■コロナで不自由な生活になり1年半が過ぎたが、まだまだ先は不透明である。

当方は健康管理にできるだけ注意を払い、苦手なマスク生活を我慢し、人出の多い場所を避け続けることでなんとか無事に過ごしている。家族も同様の生活をしてきているおかげだろう。

電車やバスに乗る機会が激減したが、その分歩くことは増え、思わぬ景色の発見にささやかな喜びを感じる。Zoom会議が増え、普段会えない遠方の知人とPC経由だが会えるようになったのも思わぬプラス効果か。

そして、今年65歳になるのでワクチン接種の案内がきた。ワクチン接種には元々積極的ではなかったが、周りが受けているのを聞き、申し込むことにした。少しは安心するかもしれないが、まだまだ不自由解消とはならないだろう。

■コロナ後に望むのは、やはり人との自由な交流である。懇親会が全くなくなったせいで声を出す機会が減り、声帯筋肉が弱っている気がする。

密になる居酒屋でワイワイ言いながらストレス発散する時間はいつ戻るのだろうか。

コロナ前に大学同期で時々集まりをしていたが、皆で楽しく飲んでいる時、いつも話題になるのが連絡先不明の前田真一君のことである。明るく元気な彼は、豊岡高校出身で私と同じ兵庫県人であり、親しくさせていただいた。学業優秀で、テスト前に彼のノートのお世話になった同期も多かろう。小野ゼミを経て、卒業後は京都銀行で頑張っていたことはわかっているのだが、どなたか連絡先をご存じないだろうか。

■金融機関など転勤の多い職場は、転居毎に同窓会本部へ連絡しないかぎり、すぐに郵便物が宛先不明になる。そうなると個人情報保護の壁により、本人の連絡先を探すのは容易ではない。コロナを通して、いつ何が起こるかわからない時代を痛感し、人と気楽に会える時に、27期同期会をなんとか実施したいと思う。卒業後40年以上会っていない前田君も参加してくれることを祈っている。



学生時代の1コマ 前列中央が前田君

コロナ禍の日本語学校、留学生の今

大26 小路 一義(大阪支部)

コロナは今日本の色々な分野に大きな影響を及ぼしています。特にインバウンドに依存している業界、例えば航空業界やホテル、旅行業界などがありますが、あまりマスコミには出てきませんが、私が属している日本語学校の世界にも大きな影響を及ぼしています。私の周りで起こっていることを少しご紹介したいと思います。

昨年のコロナ対策としての緊急事態宣言、そして外国からの入国制限で、2020年に入国を予定していた留学生が入国できず、2021年度も入国はストップされており、2021年4月時点での在籍者は、2020年の約半分、例年と比較すると約1/3と大幅に減少しています。

この学生数の大幅な減少は日本語学校の世界にさまざまな影響を及ぼしています。まずこの業界で一番弱い立場にある「日本語教師」に大きな影響を及ぼしています。日本語教師は留学生の数に応じて増減できるよう非常勤講師が多いのですが、留学生の減少に伴い、担当する授業がなくなり、収入が激減しています。例えば私も2019年度は週24コマ(1コマ45分換算)の授業を受けもっていたのが、2020年度は徐々に減少していき、年度末には4コマに、2021年度にはとうとう0コマとなってしまいました。多くの教師が同じような状況になり、夢を持って日本語学校に入ってきた新人の先生が別の業界に移るということが起こっています。また、日本語学校自体も生き残りをかけ、入国できない学生のためにオンラインで授業を行い、学生を引き止めようとしていますが、このままでは閉鎖される学校もでてくると予想されます。そして、日本語学校の学生の減少は、卒業生の受け皿であ

る大学や専門学校への入学者の減少となり、これら学校の経済基盤を大きく揺るがすことに繋がります。特にここ2年間、入国した学生が大幅減ということは、2022年4月入学生的大幅減となり、少子高齢化の中、定員割れを留学生で補っていた多くの大学、専門学校に大きな影響を及ぼすことでしょう。また、この留学生の大幅な減少は、日本の国内企業にも大きな影響を与えてくると思われます。

もちろん、実際、今学校にいる留学生もコロナの大きな影響を受けています。生活費をバイト代で確保している留学生にとって、飲食店が休業や時間短縮で働ける店が少なくなっている上、母国に帰国したくても帰国できず、困窮している学生が多数います。また、この入国制限は、母国で日本語学校への入学を希望している多くの学生にも大きな影響を与えています。例えば、仕事や進学をやめて日本語学校への手続きを済ませたが、1年以上入国できず待機している学生も27,000名に達しており、このままでは日本語や日本自体への興味を失うことも予想されます。



コロナ禍収束後の楽しみ

大25 川北 雅朗(三重支部)

ワクチン接種が進み、コロナ禍の収束(できれば、終息が望ましい)が見えてきたら、まずは実行したいことがある。それは学生時代に『間借り』していたお宅をお訪ねすることである。われわれの学生時代は、今のような学生向けのアパートがあるわけではなく、小生のように民家の一室を間借りするというようなケースがほとんどであったように思う。小生の場合は、離れの一室をお借りしていたので、出入口はご家族の方々と共通であった。それでも朝夕の挨拶くらいで、何か干渉されるようなことはなかった。

そのお宅はご主人様が数年前に他界され、奥様お1人がお住まいしている。おそらく70代後半のお年であろう。小生がお世話になっていた頃は、ご夫婦と小学校に入学する前のご長男、それに幼少期のご次男の4人家族であったが、2人のお子様はそれぞれに独立されてご実家を離れておられるようである。

卒業後は年賀状のやり取りだけで、そのなかでご主人様のご不幸も知った。ここ数年の年賀状では、当方が『ぜひ和歌山を訪りたい』と記せ

ば、先方も『ぜひご夫婦お揃いでお越しください』とある。

そんなやり取りの中で起こった今回のコロナ禍である。しばらくは和歌山行きは無理であろうと思っていた矢先のある日、和歌山周辺を地震が襲った。思わず、その奥様宅へ電話した。卒業以来、年賀状のやり取りくらいで、何十年ぶりかの小生からの突然の電話にさぞかし驚かれたことであつたろう。しかし、地震を心配しての電話をもらったことがわかり、たいへんなお喜びであった。電話でのお声は小生がお世話になっていた頃と変わらずであった。その電話のなかでもコロナ禍が収束したら、ぜひ和歌山を訪れたいと申し出し、先方も心待ちにしているとお応えであった。そんなことで、小生にとりコロナ禍収束後の一番の楽しみとなった。

いまでは、和歌山の旅行ガイドブックやインターネットで和歌山の観光情報を入手したり、テレビで高野山や白浜の番組をしていたら録画に残したりと、1日も早いコロナ禍収束を待ち望んでいる。



2019年8月に、三重県の鈴鹿サーキットで行われたソーラーカーレースの様相。サーキットコースを快走する和歌山大学ソーラーカーと、そのコックピットの様子。

大学教員デジタル対応記

大25 垣見 祐二(東海支部長、柑芦会副会長)

長らく関わった実業の世界を引退した頃、和歌山大学の客員教員のお話があり、教壇に立つことになった。その1年後、コロナ禍に見舞われ、いやがおうも無く、講義でのデジタル資料の作成やインターネット活用等、デジタル対応をせざるをえなくなった。

大学でエネルギー市場の講義を始めたのは、2018年の秋からである。それまでも時々、社会人を相手に講演をする機会があったが、必要なパワーポイント(パワポ)資料は、部下に作成を頼んで済ましていた。大学での講義のために、講義内容を考えることはもちろん、まず、教材すべてを自分一人で整えねばならず、パワポ入門書を片手に悪戦苦闘。何とか初年度は形だけでも整えた。

さて、翌年の2019年は、講義内容とパワポ資料をブラッシュアップすれば済むと高を括っていたのだが、コロナ禍がそうはさせてくれなかった。大学での従来型の対面授業が不可となり、オンライン型への転換が求められたのである。前年の2018年の講義では、パワポ資料を映しながら、雑談も含めての従来型講義で、作成するパワポ資料も比較的シンプルなものでも十分だったが、オンライン授業となるとそうはいかない。結局、事前にパワポによるオンデマンド教材を作成・配布し、講義当日は、ネット上で教材のポイント説明と質疑応答を行う、オンデマンドとオンラインのハイ

ブリッド方式での授業をすることになった。

オンデマンド講義用には緻密な教材作成が求められる。各パワポ資料には、解説のための音声入力も必要になる。作成にかかる手間は、ざっと3倍、いや、もっとかかったように思う。講義内容を構成し直し、音声入力のやり方を一から調べ、ようやく教材を完成。また、あわててオンライン講義用に自宅のネット環境を整備し、ネット授業の進め方の工夫等にも取り組むことになった。

今年の講義でも、オンデマンド教材による学習と対面によるディスカッション中心の授業のハイブリッド方式を継続中である。コロナ禍を契機に、大学の授業も大きく変化しつつある。将来は、大講義室での一方通行的な講義はオンデマンド方式に変わり、いつでもどこでも学生が受講できるようになるだろう。そして、大学での授業の主力は、少人数によるディスカッション主体のものへと進化していくと思う。

コロナ禍により、大学の講義のためにデジタル対応が課せられたことで、個人的にはデジタルスキルが少し身についたのは、不幸中の幸いだったといえるだろう。



我々は今後どう対応すればよいか

大25 毛利 恵行(姫路支部長)

新型コロナが世間に蔓延しだしてから早1年半が経とうとしています。皆さんこれが為に、旅行やイベントとかの楽しい企画を軒並み中止あるいは順延せざるを得なかったことと思います。私も65歳を超え、これから第二の人生を楽しもうとしているところに思わぬ事態が発生しました。

新型コロナの影響が世間で騒がれる前から、私たち夫婦は北海道の流氷を見に行こうとツアーに参加を申し込んでおり、キャンセルすることなく参加しました。折しも北海道では雪まつりが開催されており、新聞・テレビでは雪まつりでのコロナ感染を危惧するニュースが流されておりましたので、ツアー参加者は一様に黙って観光していました。

この頃は新型コロナの正体がまだはっきりと掴めておらず、政府の呼びかけにも日本国民は素直に従っていました。しかし、政府は「不要不急の外出は自粛するように」と言いながらも「経済は回して行かなければならない」と“GO TOトラベル”を国民に呼びかけました。

「ジツとして居なければならないのか?」「動いてもいいのか?」どちらも一面、正しい。政府の言

うことを聞いておれば精神的に参ってしまう。ここは自分が正しいと思った価値判断により行動しようと思いました。

- ①「他人に迷惑をかけない」
- ②「コロナに罹らない、コロナを移さない」
- ③「経済を回す」

“GO TO”のおかげで、永らく行けなかった国内旅行にはは料金に割高感のある屋久島にも半額で行くことが出来ました。当時、観光客も少なく屋久島の自然を存分に堪能できました。

また、学生時代、学生には高額すぎて宿泊することさえ想起しなかった白浜の温泉にも半額で泊ることが出来ました。ただ、宿泊しない観光するだけの白浜と宿泊した白浜では、「白浜ってこんな所なんだ」と感動が違いました。タクシーの運転手さんが「観光客に来てもらわなければ、私たちは生活できません。」と言われていたことに政府の自粛要請による被害者の生の声を聴きました。

それ以来、精神的な健康を保つため、陽性者数の少ない地域へ月一回のペースで温泉地に泊り、消費活動に貢献しております。

超合金とスプレーノズルの製造販売

EVERLOY

株式会社 共立合金製作所
KYORITSU GOKIN CO., LTD.

取締役会長 松本 康三 (大11回)

<https://www.everloy.co.jp/>

本社・工場 / 〒663-8211 西宮市今津山中町12番16号
TEL(0798)26-3606代 FAX(0798)26-0544

ノズル事業部柏原工場 / 〒669-3315 兵庫県丹波市柏原町大新屋95-2
TEL(0795)72-3374代 FAX(0795)72-3376

超硬事業部柏原工場 / 〒669-3315 兵庫県丹波市柏原町大新屋100-1
TEL(0795)73-0026代 FAX(0795)72-2643

支店・営業所 / 西宮・大阪・東京・九州・倉敷・名古屋
関係会社 / 株式会社 九州エパーロイ

シニア世代もデジタル化に挑戦

大20 伊藤 僚一(東海支部)

はじめに

我々はいわゆる団塊&シニア世代で、近年早期退職や定年退職などで大量に現役から退いたあと、第2の人生のスタートを切っております。私も長年勤めた会社を6年前にリタイアし、趣味やボランティア活動、孫世話などの関わりで日々過ごしております。

デジタル化の流れが加速

そんな中でコロナ禍に見舞われました。私の場合、柑芦会活動含めイベントの中止が相次ぎ、外への参加機会が大幅に減りましたが、生活の中心部分には思いのほか変化はなく、感染防止に最大の注意を払えさえすれば、それほど不安なく過ごせておりました。

一番影響を受けたと思われるのは、加速したデジタル化の流れです。

コロナ禍でデジタル化の遅れが認識され一気に促進モードに。テレワークの普及も著しく、私もZoomで初めてリモート会議なるものを体験しましたが、その利便性を認識できました。先輩・友人とはLINEアプリで連絡をとり合い、中にはビデオ通話で長話するなど以前とまったく様が変わり。シニア世代には私も含めてその流れが速すぎて戸惑っている方も多数おられるのではないかと思います。人口知能「AI」や高速通信規格「5G」などのデジタル変革はコロナ後の世界を変えるのは間違いなく、否応なく関わりを持たざるを得ない時代になったと実感しております。



東海支部 秋のゴルフ会 2020年11月12日森林公園

自動運転やMaaSの普及

私も車の運転免許証を返納する時が来ます。しかし、「AI」や「5G」の技術進歩で自動運転技術が確立し、操作が簡単で安全に移動することができるようになれば、先延ばしできるかもしれません。



さらに、新しい交通サービスMaaSにも注目しております。2019年の柑芦会三重支部総会で和歌山大学経済学部の辻本勝久教授から、伊勢志摩地区でのMaaSの取り組みについて講演いただいたのがきっかけです。

MaaS（マース＝Mobility as a Service）とは、鉄道・バス・タクシー・レンタカーなどの交通手段をまとめて、より便利な移動を実現する仕組みです。欧州フィンランドが先駆けで、スマホで交通手段を横断した経路検索ができ、目的地までの予約と支払いがアプリ一つで完結できるシステムです。背景は国民の環境意識の高さや交通事故の多さが普及にはずみをつけたということです。日本でも同様の条件がそろっています。今後、各地で実証がすすんでこれが実現できれば、車を保有せずともシニア世代の今後の暮らし方や余暇の楽しみ方に変化が起きます。

これからは

これからはシニア層含めデジタル化の利便性を誰もが享受できる社会の実現が望まれます。それには自らデジタル技術を使いこなせるよう教育制度を利用し知識を得ることが必要でしょう。併せて、初期操作がシンプルで誰でも簡単に組み立てられるような技術の進歩にも期待したいです。

シニア世代も、余生をより充実させるためにデジタル化社会に対応できるよう積極的に挑戦することが求められます。

以上

コロナと将棋界

大19 石川 和彦(九州支部長)

まず、コロナ禍とは何であったのかと検証する意味で次の図書を読んでみた。

フランスの文化人類学者であるエマニュエル・トッド氏の「パンデミック以後」朝日新書。

グローバル化の進展が自国産業の維持を不要にするという類いの話は幻想でしかない。お金の流れをいくらグローバル化しても、いざという時に私たちの生活は守れないことがはっきりした。これまで効率的で正しいとされてきた新自由主義的な経済政策で、人間の生命は守れないし、生活に必要なものを生み出す自国産業は維持する必要があるとして、製造業を守る大切さなどを説いていた。特に日本に対して少子高齢化という人口動態上の危機から抜け出していないと提言された。この問題の深刻さに見合う取り組みが未だ十分に進んでいないと痛感した。

さて、次に本論の将棋界の話に移りたい。藤井聡太というスーパースターの出現で活況を呈している将棋界だが、この2年間コロナの影響を当然受けた。

まず、全国各地で開催されるタイトル戦の前夜祭や現地大盤解説会が中止に追い込まれることが多くなり、一部大盤解説会がネットでの配信となった。また、アマの世界では各種全国大会も中止が相次ぎそれに伴い地方予選も中止とな

り、特に上昇思考の強いアマ強豪などが当面の目標をなくすこととなった。

今年に入ってから、一部大会は工夫をこらしながら復活の気配がある。私の好きな詰将棋の世界では「詰将棋解答選手権」「詰将棋全国大会」が中止となったが、これらはマニアックな大会でもあり、もともと詰将棋は一人で遊べるゲームみたいなものですから、それほど決定的なダメージは受けなかったものの、これらイベントは私が一部管理運営をしているので複雑な思いもあります。

さて、コロナでよかったと思うことが一つあります。

それは、YouTubeで複数のプロ棋士がユーチューバーとして自分の将棋を配信し始めてくれたことです。今までこんなに身近にプロ棋士の将棋を、リアルタイムで見ることがなかったからです。新たな将棋ファンの増加にもつながり、コロナ終焉後も継続してほしいことでもあります。その他オンライン将棋大会も行われるなど、急速にSNSの活用が促進された感じですね。

本格的なコロナ後を迎えたら、タイトル戦が行われる各地を観光を兼ねて前夜祭や現地解説会へ再び行けることを楽しみにしています。

コロナ禍下における現状と今後

大15 真下 義則(岡山支部長)

①特集「コロナ禍下における現状と今後」

流行りのリモート方式では空疎感が漂うばかりであり、face to face方式を採れない現状では妙案を思いつきません。

「何かやらねば」と頑なに考える必要はないと思います。

事態が鎮静化するまで一呼吸、二呼吸置いて様子見を決め込んだらどうでしょうか。

②「出会いの広場(会員談話室)」の原稿

昨年9月「岡山和大会ペンクラブ」を立ち上げ、初回は9名の投稿がありました。元々一堂に会してワイワイガヤガヤ読後感を語り合うつもりでしたが、コロナ禍で参集できずEメールで原稿を配信しただけで、消化不良のまま終わったのは残念でした。

そこで、ペンクラブに集まった原稿の中から筆者の同意を得て、数点寄稿したいと考えています。

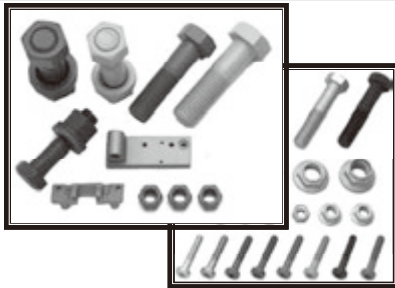
以上です。



高島工業株式会社

金属表面処理

METAL SURFACE TREATMENT



自動車や鉄道等の
乗り物の部品や
明石海峡大橋等の
建築物の部品にも
使用されています

取締役会長 高島 政康 (大学14回)
代表取締役社長 高島 政人 (大学41回)

本社工場：〒578-0914 東大阪市箕輪2丁目4番21号 TEL.072-963-6611(代) FAX.072-963-6615
八尾工場：〒581-0814 八尾市楠根町5丁目20番地 TEL.072-999-7800(代) FAX.072-998-0041

<http://www.takashimakk.com>

次の世代へ(コロナ後への展望)

大11 宮本 正(九州支部)

情報通信革命を期に、一大変革期に入っているが、対応遅れと観る私見をメインに。

世襲制や、支配階級の統治時代、異常値を除くと“ほぼ25年”で代替わり=権限移譲が行われている。前の世代が築いた世界を、次の世代が生き、その世代が形成した世界を、後の世代が生きる連鎖。戦争を目論む世代と、実際に戦地で闘う世代が、一世代ズレると同様。私が目指した世界を、子供達が生きた。今は、孫たちへの助言の立場、本論も同じ視点から。

1990年代からインターネットが普及し、世界貿易も拡大加速、物流の世界も様変わり。ビジネスは、簡単に国境を越えた。タックスヘブンや低課税競争は、やっと世界標準課税になりつつあるが、現実対応型が主流の世界では、技術革新が起こす混乱の度は拡大するだろう。科学技術の発展は、ダイナマイトが第一次大戦;原爆が二次大戦となり、今や地球の裏から無人機攻撃で特定人物を殺害する。個別最適解から、多様性排除・画一化を伴い全体最適解を目指して来た世界も、成立与件の崩壊から発する孤立化規模は反比例する。自由闊達!は、散逸系になり“自己責任!”にも成った。“俺のルールでやらせろ!”と、“経済力”か“権威=強権”さえあれば、マズローの欲求最終段階“自己実現”が可能な世界にも変じた。

インターネット=SNSは、個人が世界に直結しているとの錯覚を呼ぶ。結果、世界規模で“仲良しクラブ”が生まれて中では氣勢が上がるが、相手の文化理解・認容まで要る“相互理解”は徐々に欠ける。

“貴方の世話に成っていない!好き勝手にさせる”は更に増え選挙投票率も5割を切り、一元化は困難に。

そこへ、コロナ登場。ワクチン忌避の変形種も続々。広域化の弱点が一挙に露呈。福島原発事故で、発電場所との繋がりや、科学技術の“負の側面”も体得したはずだが、アンダーコントロール!で消えて行く(政治的混乱期にはスローガンが有効で常識だが、目指す国家像は出ずの俣)。近時、ノーベル経済学賞・行動経済学が説く如く、「どか貧」になるまで、土壇場で大敗するまで“方向転換”が出来ない人間。

なかんずく、平成の30年でGDP世界シェアが9%から4%へ凋落した我が日本。主因がITと金融への転換遅れにあると識者に指摘されて久しい。

翻って、今回のテーマ。人が自ら現場で五感を総動員し知覚することで可能な組織運営&革新を、超えていないか? SDGs;環境問題も、神の見えざる手...の限界を超え、更に混乱するだろう。やるべきは、やれるのは“足許”への視座転換と実行動。全体最適解以前に、独自性(≠独善)を持つ個別最適解。

原点に戻り、家族;町内会;海外も含め対面する友人を相互支援で同じ土俵に立つことを希求。50年棲む団地では“ここを皆でノアの方舟にしよう!”が合言葉、1,600万円で集会所も建築&維持。

実事求是;格物致知;知行合一を目指す日々へ。

コロナ禍下における現状と今後について

大9 魚野 宰弘(徳島支部)

コロナ発生後1年半が経過した現在においても、全世界で未だに猛威を奮っている現状を考えるにあたっては、先ず発生時からの経緯を振り返り、対応の不備がどこにあったかを踏まえた上で、今後どうすべきかを考える必要がある。

さて2020年1月に中国武漢において原因不明の肺炎患者が相次いで確認され、この新型コロナは世界中へと感染拡大されることとなった。当時の日本の対応はどうであったか、特に水際対策は万全であったか甚だ疑問である。即ち中国の一部地域からの入国時の入管検査のみに留まっており、国際空港における全面検査をせず、変異ウィルスのイギリス株やインド株についても、発生時からかなり日をおいて、その関連地のみを入国禁止をしたが、既に世界的に感染しており、全面入国禁止または14日間の隔離を実施すべきであった。また国内においては、昨年4月に米国大使館が「日本政府は検査を広範囲にしないと決定しており、感染率を正確に把握できない」として在日米国人に帰国を勧告している。PCR検査の対応が後手後手にまわるだけでなく、検査数が圧倒的に少なく、現に数多くの検査拒否が行われ、感染を未然に防ぐどころか無症状の感染者による感染拡大を助長してしまった。また世界各国に比して感染者数が少ないというが、そもそも検査数が少ないのであり、更に初期の段階で科学的根拠がない状況で全国小中高の一斉休校に踏み切ったのも、安倍政権の政治的パフォーマンスによる独断専行であった。コロナ下での

1兆7千億円ものGOTOキャンペーンにより、人流が拡大し感染拡散に繋がったり、緊急事態宣言発出の遅れ、早過ぎる解除がなされるなど、菅政権においても同じ過ちを何回も繰り返している。最もバカげた無駄遣いがアベノマスクである。あれだけ多額の支出が医療現場への支援であれば、どれだけ有効に働いたか計り知れない。さてワクチンについてだが、我が国は技術大国と言われてきた筈だが、政府の当初予算が2千億円と余りにも少なく、企業独自で巨額な開発資金など調達することは不可能であり、その結果他国からの輸入に頼らざるを得なくなったのは政治の怠慢である。しかもワクチン接種についても大規模接種会場を設けたものの、当初は高齢者で接種券持参者のみとした結果、予定数の2割程度しか実施できず、また職域接種の申請を受け付けたものの要望が多すぎて対応し切れず、突如申請停止にするといったチグハグな混乱ぶりで、企業や国民は戸惑うばかりである。これらのことからしても、政府の対応は常に付け焼刃的であり、危機感の欠如、有事に際しても平時の対応に終始してきたことが、感染拡大をもたらしただことは否めない。今後については、これまでの政府の対応を見る限り、劇的に良い方向に変化することは望めず、国民の一人一人の自制によって感染予防に努めるしかないのである。この執筆は7月初旬であり、本稿が発行される秋にはどんな状況になっているかは全く予測がつかない。願わくばコロナ感染の収束の見通しがついていることを望むのみである。

コロナ禍における新しい潮流 —加速する「田園回帰」—

食農総合研究教育センター副センター長
教授 大48 岸上 光克



はじめに

2020年から始まったコロナ禍は、社会経済に甚大な影響を及ぼし、私たちの暮らしに様々な影響を及ぼしているが、一方で新たな潮流も生み出している。今回は、本

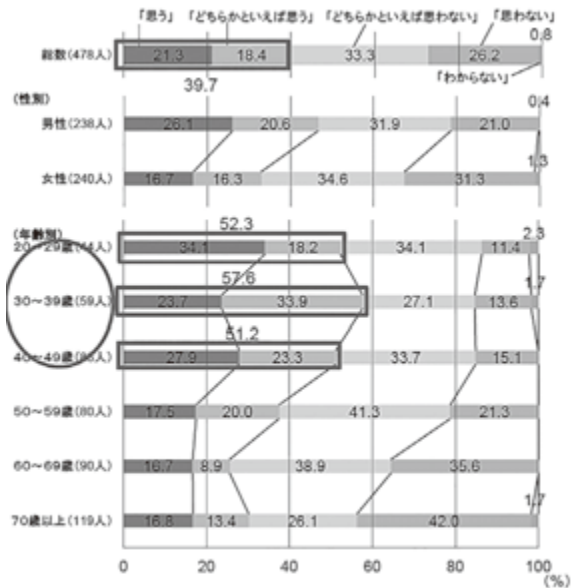
センターの研究教育分野である「田舎（農村）」における新たな潮流について紹介する。最も注目される点は、人口動態の変化である。ご承知の通り、これまで人口の東京一極集中が続いていたが、リモートワークの普及など、東京の人口は転出超過基調に転じている。これを一過性の現象にとどめるのか、地方や農村の活性化にとって大きな契機とするのか、注視する必要がある。

2020年に策定された「食料・農業・農村基本計画」(5年ごとの計画)では、コロナ禍の前から都市に住む若者を中心に、農村への関心を高め新たな生活を求めて農村に移住来訪する「田園回帰」の動きがみられるとしている。コロナ禍を契機として、この動きが一層加速する可能性がある。

若年層を中心とする「田園回帰」

田園回帰は、このままでは869の自治体が消滅しかねないという「地方消滅」への反論として、2014～15年頃に注目され始め、政府は2015年の食料・農業・農村白書で田園回帰という言葉を初めて使っている。この背景には、図1にみられるように、若者を中心とした地方や農村への関心の高さがある。都市に住む人の4割が「地方に移住し

図1 都市住民の地方への移住の意向



(出典)内閣府「人口、経済社会等の日本の将来像に関する世論調査」(平成26年10月)を基に作成。
(注)右グラフの色は、赤:雇用関連、青:生活関連、黄:その他の項目。

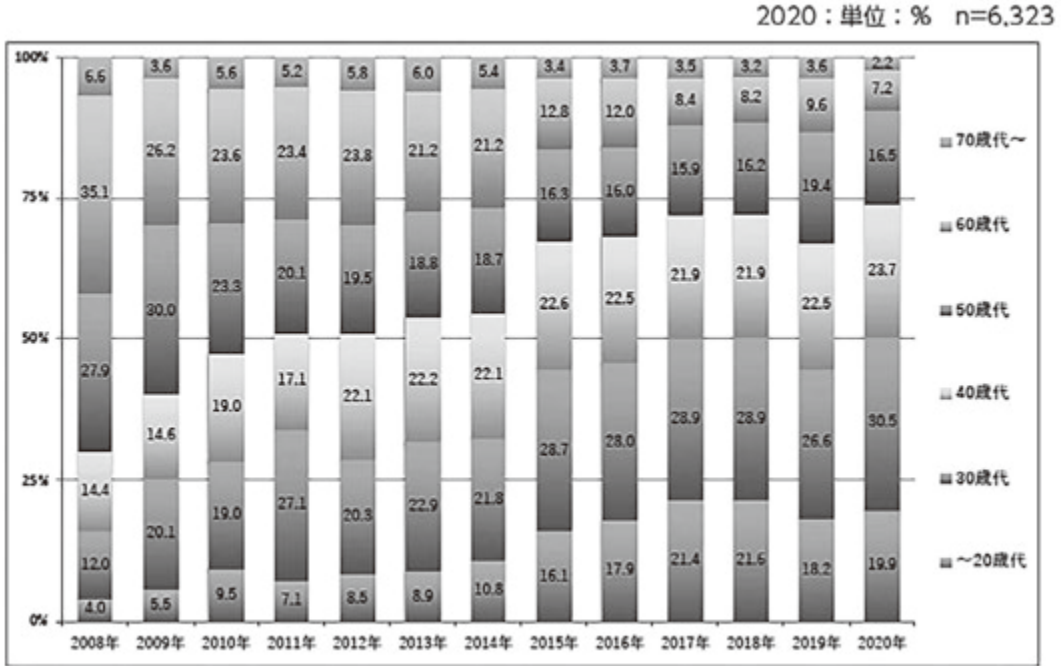
資料:平成29年12月過疎問題懇談会資料

てもよいと思う」又は「どちらかといえば思う」と考えており、年齢別にみると、20～40歳代でそれぞれ半数を超えている。また、図2で地方移住を支援する認定NPO法人「ふるさと回帰支援センター」の年代別利用者の推移をみても、やはり若者の割合が多くなっている。

ただし、地方へ移住をする上での条件として、半数の者が、「教育、医療・福祉などの利便性が高いこと」、「居住に必要な家屋や土地が安く得られること」といった生活関連の充実をあげる者が多いことから、地方はこのような環境整備を進めている。

次に、国土交通省の各種資料を確認すると、三大都市圏(東京・大阪・名古屋)から流入超過となっている市町村の分布データ(2012～17年の8

図2 センター利用者の年代別推移



資料：ふるさと回帰支援センターニュースリリース(2021年3月4日)

回にわたる住民基本台帳人口移動報告をもとに作成)をみると、東京一極集中が進んでいる状況下で、1回でも流入超過している地域でも健闘しているが、中には何度も流入超過となっている市町村が86もある。この点は、大きく注目すべきことである。全般的にみれば西高東低型の傾向がみられ、これは西日本から過疎化等の進展が進み、その反作用が先に出て、様々な取り組みが積み重なり、田園回帰に至っているためとみられる。

「孫ターン」などにみる移住者の特徴

総務省など各種実態調査などから、移住者の主な特徴をまとめると、以下の通りである。

第1に、移住者は20～30歳代が中心となっていることである。「団塊の世代」が多いと予測されていたが、「団塊の世代の男性が会社を辞めて田舎に帰ろうと思っても、妻がすでに地域コミュニティに根を張っており、反対されるということ」も多く、中には、男性だけが移住し、妻子がいる都市部に残る

「逆単身赴任」もある。

第2に、移住者における女性の割合が上昇していることである。従来の移住者は単身男性が中心であったが、近年では20～40代の夫婦移住や単身女性が増加している。

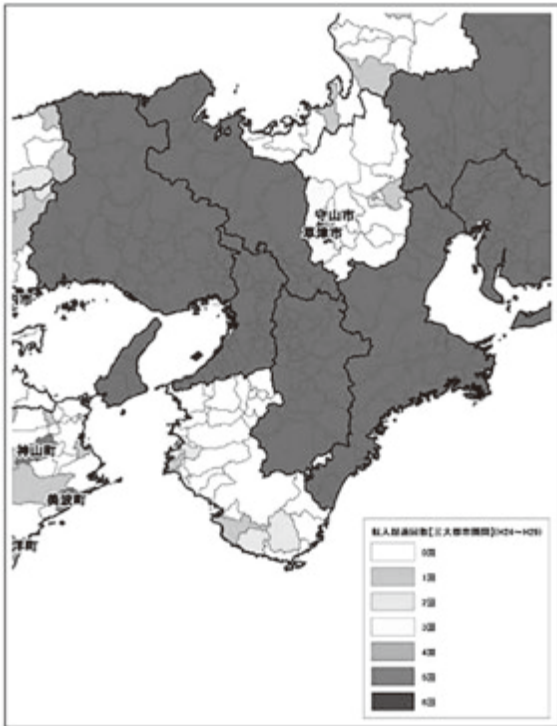
第3に、「Iターン」が増えた地域では「Uターン」が増える傾向もみられることである。Iターン組が地域で生活するモデルを示すことで、Uターン組が刺激を受け、出身地域に戻る事例もみられる。

さらに最も特徴的なことは、「孫ターン」と呼ばれる現象である。明治大学の小田切徳美氏は「これは通常の「Iターン」ではあるが、見ず知らずの人間が田舎に移住するわけではないので、あえて区別している。NHKの朝ドラの「あまちゃん」のアキは典型的な孫ターンの例だった。地域に住む祖母、そこを飛び出して東京に来た母、東京生まれ、東京育ちだが漁村で暮らそうとする孫という三世を描き出している。移住者の1～2割がこのような孫ターンだと考えられる。」と指摘している。

和歌山県における動向

詳細な資料は、国土交通省のホームページをご覧ください。図3は近畿における三大都市圏からの転入超過回数をみたものである。和歌山県でみれば、比較的小規模な自治体である由良町、広川町、日高町、美浜町、白浜町、すさみ町、古座川町の7町が流入超過している。

図3 三大都市圏からの転入超過回数(近畿)



資料:国土交通省
(<https://www.mlit.go.jp/common/001264363.pdf>)

和歌山県では、2006年に「田舎暮らし支援事業」を開始し、行政と地域住民による官民連携の移住施策の体制づくりが行われてきた。事業が開始された2006年から2018年の移住相談、現地案内、移住者の実績は図4の通りである。2018年における県内の移住者の累計は1852人となっており、世帯主の年齢からみた世代別の移住割合は、40歳未満が45.0%、50歳未満では62.0%となっている。当初想定していたセカンドライフに移住を希望する中高年の割合も一定あるものの、全国的な田園回

帰の傾向とも合致するが、子育て世代を中心とした若年層の移住割合が多くを占めている。

移住の障壁(「田舎の閉鎖性」、「空き家がない」、「仕事がない」)の変化

①「閉鎖的」の変化

これについては、地域住民と移住者双方に意識の変化がみられる。前述した小田切氏の調査では「例えば、都市の若者の中には閉鎖的なむらを「温かいむら」と表現する者も生まれている。今まで非正規雇用で「派遣さん」としか呼ばれなかったが、むらに来て初めて名前を呼ばれたという若者もいた。また農山漁村のほとんどの人が農林業以外の他産業経験者となり、その地域を一度も出たことがないということもない。このような双方の意識の変化によって、閉鎖的だったむらも徐々に開かれ始めている。」との指摘がある。

②「空き家問題」の変化

これまで「空き家は絶対流動化しない」と言われてきた。しかし、近年では、空き家所有者の悩みを解決するため、自治体も政策を打ち出すことで空き家の流動化がみられる地域もある。

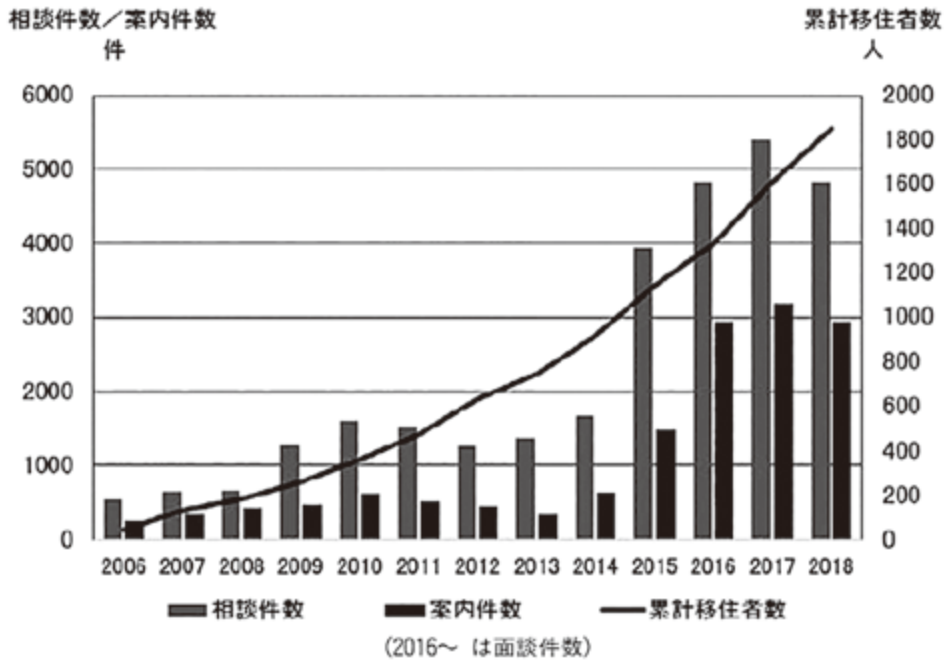
③「仕事がない」の変化

田舎は「仕事がない(だから人が来ない)」とよく言われる。しかし、移住した若者をみると、「多業化」(具体的には月あたり5万円の仕事を夫婦単位で5つ集めて暮らすという生活)、仕事を作る「起業化」、他にも、農山漁村で廃れてしまった仕事を第三者が継ぐという「継業化」や、サテライト・オフィスのような「移業化」という多様な現状が確認される。

確かに、仕事はあるにこしたことはないが、近年では「自ら仕事を創る」もしくは「自ら仕事を持ってくる」という事例が多くみられる。

実は、和歌山県はこれらの変化に迅速かつ柔軟に対応しており、前述の田舎暮らし支援事業を筆頭に、和歌山県空家等対策推進協議会の結成、わかやま移住者継業支援事業の展開などは、全国的

図4 和歌山県における移住支援の取組実績



資料: 阪井加寿子「和歌山県における移住・定住施策」『和歌山県農業展開史Ⅱ』2020年3月

には評価を得ている。今後もこれらの取り組みを継続させる必要がある。

「都市と田舎」でなく「田舎と田舎」の格差発現

現在では、田園回帰の傾向をきちんと取り込めている(移住者呼び込むための積極的な取り組みができていない)田舎と、そうでない田舎がある。これまでは、東京圏一極集中が進む一方で、田園回帰も同時進行していた。この両者はトレード・オフの関係にあると考えられていたため、矛盾しているようにも見える。この背景には何があるのか。それは、従来の格差は「都市と田舎の格差」であったが、現在では「田舎と田舎の格差」が拡大しているため、東京圏一極集中と田園回帰傾向がトレード・オフの現象ではなく、併存関係になっているのである。

「田舎と田舎の格差」をどのように考えるのかは別の機会で議論することとするが、コロナ禍における新しい潮流として、加速する「田園回帰」に注目することは重要である。これまで、景気動

向との関係で一時的な「田園回帰」のような動きは確認されているが(例えば、景気が悪くなれば、農業就業者や田舎への移住者が増える)、今回の動きを一時的なものにするのではなく、継続した動きとすることはポストコロナの新しい田舎(農村)のあり方を考えるうえで大きな転機となるのではないだろうか。

参考・引用文献

- ・国土交通省「国土の長期展望専門委員会」会議資料
- ・国土交通省「国土計画における過疎地域・集落問題等の位置づけ」平成29年12月13日
- ・農林水産省「新しい農村政策の在り方に関する検討会」会議資料
- ・小田切徳美「田園回帰と地域づくり－持続可能な都市農村共生社会を目指して－」一般社団法人平和政策研究所ホームページ
- ・阪井加寿子「和歌山県における移住・定住施策」『和歌山県農業展開史Ⅱ』2020年3月

和歌山高等商業学校(現・和歌山大学経済学部)

創立100周年について

100周年記念事業実行委員会委員長
(経済学部長) 芦田昌也

経済学部の教育・研究活動に対しまして、柑芦会の皆さまにおかれましては平素から温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

既にご高承のとおり、経済学部は大正11(1922)年10月に設立され翌年4月に開校された和歌山高等商業学校をその前身とする伝統校であり、来年には栄えある創立100周年を迎えることとなります。

現在、次ページにお示ししております「経済学部創立100周年記念事業(仮称)」について(素案)のように、勝手ながら、柑芦会の皆さまのお力添えによる記念事業の実施を計画させていただいております。

柑芦会におかれましては、先行して「柑芦会EC奨学金制度」についてご検討くださり、その新設をご決定いただいたことに心から感謝申し上げます。また今後、「経済学部100年史(仮称)」の編纂にあたり、資料のご提供

をお願いしたり、ご在学当時やご卒業後のお話をお伺いしたりすることがあろうと存じます。その際にはご協力賜りますようお願い申し上げます。

「経済学部100年史(仮称)」につきましては、既に本学部におきまして編纂に取り組んでいるところでございます。刊行のあかつきには、ぜひご購入をご検討いただければと存じます。

なお、「記念祝賀式典」につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行状況等により、内容や開催方法などのお知らせに時間を要する場合や、急な変更等が生じる場合がございますが、式典の実施・開催にあたり、格別のご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、柑芦会のさらなるご発展と、皆さまのご健勝・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

総合リサイクルで環境保全に取り組みます 大成金属株式会社

製鋼原料
ギロチン・プレス加工
産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物中間処理業

代表取締役 伊藤弘之(大25)

本社 名古屋市南区忠次1丁目8番15号
電話 052(691)2956番代 FAX 052(691)2960番
半田工場 知多郡武豊町字石川95-1
電話 0569(72)5886番代 FAX 0569(72)5890番
U R L <http://taiseikinzoku.co.jp/>

「経済学部創立100周年記念事業(仮称)」
について(素案)：

・経済学部と柑芦会で構成しております「実行委員会」により検討されている、8月1日時点での素案です。

①「和歌山大学経済学部創立100周年記念
祝賀式典」の開催・・・学部と柑芦会の共催

(1) 記念シンポジウム・・・各界の著名な
卒業生、学部長、柑芦会長など

・時期(案)：2022年10月15
日(土)「和歌山大学ホームカミング
デー」のあと

(2) 祝賀パーティ・・・シンポジウムの終
了後に、学内または学外で開催

・コロナ禍が現在よりも収まっている
ことが前提
・「会費制」を予定

②「和歌山大学経済学部100年史」(仮称)
の発刊

・全400ページ程度を予定
・柑芦会員などご希望者に有償頒布を予
定

③「柑芦会EC奨学金制度」の新設

・大学院への内部進学者のうち、成績優秀

者を対象とする「給付型」の奨学金

・給付人数は、3ユニットの最優秀者1名
→ 各学年3名(2学年で年平均6名)
・給付額は年間授業料の半額相当(27万
円/年・人)・・・柑芦会から提供

④「経済理論」の「100周年記念号」の発刊
(経済学部担当)

⑤「柑芦」誌の「100周年特集号」の発刊
(柑芦会担当)

【ご参考】

◆「経済学部創立90周年・祝賀記念式典」

・・・学部と柑芦会の共催で実施した
・開催日：2012(H24)年10月13日
・参加者：160名

・会 場：和歌山大学教育学部基礎教育棟

(1) 記念講演「和歌山高商建学の精神」
(講師：山本健慈学長)

(2) 祝賀パーティ(会費制、@5,000円)
※柑芦会負担額：約60万円

(3) 感謝状贈呈

大学関係・・・名誉教授以外の8名

柑芦会関係・・・10年間の柑芦会役員・
支部長/幹事長経験者・支部からの推薦者

年表「和歌山高商 100年のあゆみ」

(和歌山高等商業学校～和歌山大学経済学部)

【和歌山高商時代】

◆世界の動き

- 1922年 ソビエト連邦成立
- 1933年 日本が国際連盟脱退
- 1944年 ブレトンウッズ協定締結
- 1945年 第2次世界大戦終結

和暦	西暦	月	日	和歌山大学
大正11	1922	10	21	勅令第41号で文部省直轄学校官制に和歌山高等商業学校を記入、この日を創立日とする
		12	9	京大岡本一郎書記官、当校初代校長就任
大正12	1923	3	29～30	第1回入学試験
		4	23	第1回入学式、入学者165名
大正15	1926	3	11	第1回卒業式、卒業生142名、同窓会を結成し「柑芦会」と名付ける
昭和 4	1929	10	1	御大典記念募集校歌、第1席は井垣久次氏(3年生)の「秋津島根」に決まる
昭和 5	1930	5	28	校歌「秋津島根」の曲譜完成
昭和 7	1932	3	29	岡本一郎校長、山口高商校長に。大阪商大学生主事(兼)教授・花田大五郎氏、当校校長に
昭和 8	1933	10	21	開校10周年記念式 岡本初代校長胸像除幕式 「和歌山高商10周年史」刊行
昭和12	1937	10	21	創立15周年記念式
昭和18	1943	5	9	開校20周年記念式
		10	21	第21回創立記念式
昭和19	1944	3/28～5/1		勅令第165号で和歌山高等商業学校は和歌山経済専門学校と改称。また勅令第105号で和歌山工専を追加、花田氏は和歌山経専、工専両校長に
昭和20	1945	9	20	経専第1回・高商第21回卒業式、卒業生202名
		9	25	米軍、二里ヶ浜に上陸。米兵200名、運動場で露営。校庭、戦車駐留場に
昭和21	1946	3		経専、4月から存続決定。工専、生徒募集停止
		9	20	経専入学式202名
昭和22	1947	3	7	工専第1回卒業式、卒業生137名
昭和23	1948	3	7	工専第2回卒業式、卒業生208名

【経済学部(高松キャンパス)時代】

◆世界の動き

1949年 北大西洋条約調印、NATO発足
 1949年 湯川秀樹、ノーベル物理学賞受賞
 1965年 名神高速道路全通
 1966年 戦後最大の交通ゼネスト
 1985年 G5、プラザ合意

和暦	西暦	月	日	和歌山大学
昭和24	1949	5	31	法律第150号、国立学校設置法で和歌山大学設置(経済学部、学芸学部の2学部)。 横浜経専・糸魚川祐三郎校長、和歌山大学長に
		7	8	第1回入学式。入学者、経済学部180名、学芸学部139名
		10		経済研究所を設置
昭和26	1951	3	3	経専(最終)卒業式、卒業者99名
昭和29	1954	3	31	経済短期大学部併設
昭和34	1959	11	1~2	柑芦会35周年記念総会、和大創立10周年記念式典、「和大10年の歩み」刊行
				経済計算研究室(経済計測研究所の母体)を設置
昭和35	1960	6	16	「財団法人和歌山大学経済学部後援会」設立認可
昭和36	1961	3	3	松下会館開館記念式典
昭和38	1963			経済計測研究所の設置。経済学部後援会の寄付により、MADIC-IIA(松下通信工業社製)電子計算装置を設置
昭和40	1965	4	1	経済学部産業工学科設置
昭和41	1966	4	5	経済学部大学院(修士課程、経済学専攻)設置
		4	11	学芸学部を教育学部へ改称
昭和47	1972	11	8	経済学部創立(和高商創立)50周年記念式典
昭和49	1974	10	26	経済短期大学部創立20周年記念式
昭和60	1985	9		教育学部、栄谷キャンパスに移転

【経済学部(栄谷キャンパス)時代】

◆世界の動き

- 1987年 国鉄民営化によりJR発足、世界人口50億人突破
- 1995年 世界貿易機関(WTO)発足
- 2001年 米・同時多発テロ事件発生
- 2011年 東日本大震災発生
- 2012年 世界人口70億人を突破
- 2016年 マイナンバーカード制度運用開始
- 2019年 消費税10%へ引き上げ
- 2020年 新型コロナウイルス、世界中で流行
- 2021年 東京オリンピック・パラリンピック開催

和暦	西暦	月	日	和歌山大学
昭和62	1987	9		経済学部、栄谷キャンパスに移転
		10	3	経済学部創立(和高商創立)65周年記念式典・新学舎完成記念祝賀会
昭和63	1988	11	19	和歌山大学同窓会発足
平成 4	1992	10	1	経済学部・経済短期大学部を改組(経営学科をビジネスマネジメント学科へ改称、社会システム設計学科および夜間主コース設置)
		10	3	経済学部創立(和高商創立)70周年記念式典
平成 5	1993	6	1	経済学部学科新設、改組記念式典
平成 6	1994	4	1	経済研究科、教育研究コース設置。留学生相談室設置。工学系学部増設準備室の設置
		4	1	研修専念制度が始まる
		10	20	国際交流会館竣工(西高松地区)。経済短期大学部閉学記念誌「41年の歩み」刊行
平成 7	1995	10	1	5学科から成る新学部「システム工学部」創設認可
平成 8	1996	4	1	経済学部市場環境学科設置
		4	1	システム工学部3学科(情報通信システム・光メカトロニクス・環境システム)の学生受入れ
		9	1	和歌山地域経済研究機構設立
		10	1	経済短期大学部廃止
平成 9	1997	3	27	(株)三和総合研究所と連携、大学院制度実施
		11	6	三大学(和歌山大学・和歌山県立医科大学・高野山大学)による大学間交流協定調印
平成10	1998	3	25	福利施設「ふれあい会館」(食堂)竣工
		10	17	経済学部発祥の地記念碑建立(西高松地区)
平成11	1999	1	15	和大地域広報誌「アヴニール」創刊
		4	1	地域共同研究センター設置。大学院に経済学研究科・市場環境学専攻設置
				学生懸賞論文制度が始まる
平成12	2000	2	19	経済学部創立50周年記念講演開催
		3	11	同上「シンポジウム」開催
平成13	2001	2	14	研究ユニット制度が始まる
		6	1	地域共同研究センター竣工記念シンポジウム開催
平成14	2002	4		大学院システム工学研究科・博士課程システム工学専攻を設置
		10	13	経済学部創立(和高商創立)80周年記念式典
				国際学会研究発表奨励金制度が始まる
平成16	2004	4		国立大学法人化。国際教育研究センターを設置。

和暦	西暦	月	日	和歌山大学
平成17	2005	4		紀南サテライト部を設置(平成19年10月サテライト部に包括)
平成18	2006	4		岸和田サテライトを設置(平成19年10月サテライト部に包括)
平成19	2007	4		経済学部にて観光学科を設置(平成20年度から募集開始)
				地域連携オフィスを設置
平成20	2008	4		観光学部(観光経営学科・地域再生学科)を設置
平成21	2009			海外客員研究員奨学金制度が始まる
平成22	2010	4		防災研究教育センターを設置。宇宙教育研究所を設置
		7		産学連携・社会連携活動を総括する運営支援組織として「地域創造支援機構」を設置
		11	20	第1回ホームカミングデー開催
平成23	2011	4		大学院観光学研究科、修士課程観光学専攻を設置
平成24	2012	2		MADIC-IIAが情報処理技術遺産に認定(認証式は2013年3月6日)
		4	1	「教養の森」センターを設置
		4	1	南海電鉄「和歌山大学前駅」開業
		10	13	経済学部創立(和高商創立)90周年記念式典
		11	1	地域連携オフィスが地域・国際連携オフィスとして再編
平成26	2014	4	1	観光学研究科博士課程を設置
平成27	2015	4	1	GatewaySaloon相芦会を設置
		4	1	システム工学部が改組され、システム工学科の1学科として再編
		10	1	学習支援オフィスを開室
平成28	2016	4	1	経済学部を3学科制から経済学科1学科プログラム制として再編(6プログラムを設置)
		4	1	観光学部が再編され、観光学科の1学科として再編
		4	1	和歌山大学大学院教育学研究科教職開発専攻(教職大学院)を設置
		4	1	クロスカル教育機構を設置
		4	1	エキスパート・コース(EC)内にアグリビジネス・ユニットを開設
		4	1	和歌山地域経済研究機構事務局を和歌山商工会議所から地域・国際連携オフィスへ移転
		4	1	COC+推進室を設置
		4	1	教養改革が実施され、「わかやま学」が全学必修化される
		10	1	経済学部キャリア支援室が設置され就職支援組織を再編
		12	21	アグリビジネスに関するワークショップを開催(ABS推進室および相芦会大阪支部OG実行委員会の共同運営)
平成29	2017	2	11	岸和田サテライト10周年フォーラムを開催
平成30	2018	4	1	経済研究所と経済計測研究所を経済総合研究所に統合
平成31	2019	4	1	地域・国際連携オフィスを研究推進オフィスとして再編
		4		学生用PCがBYODとなる
令和 1	2019	7	1	大学敷地内全面禁煙となる
令和 2	2020	4	1	教養改革が実施され、「わかやま未来学」が全学必修化される
		4	22	新型コロナウイルス感染症対策として遠隔授業が始まる
令和 3	2021	4	1	経済研究科を1専攻(経済学専攻)プログラム制へ再編(8プログラムを設置)
令和 4	2022	10		経済学部創立(和高商創立)100周年



初代校長 岡本一郎氏胸像



「和高商発祥の地」碑



学芸学部(現・教育学部)正門



経済学部正門(高松)



階段教室(第3合併教室)



松下会館(1)



松下会館(2)



栄谷キャンパス全景(1)



栄谷キャンパス全景(2)



栄谷キャンパス全景(3)



栄谷、グラウンド



大学正門(栄谷)



栄谷、階段教室



栄谷、クラブ活動室



椎木先生を偲んで

大45 高橋 利典

椎木和光先生と初めて出会ったのは、平成4年5月初旬でしたでしょうか。

和歌山大学に一浪の末に入学を許され、1ヵ月後剣道部に入部して大好きな剣道が出来ることに喜びを感じながら生活していたところでした。

師範の椎木和光先生は、白の胴着にあご髭がわずかに白髪交じり、背筋のスラッと伸びた出で立ちでした。

かかっていくと、うん、まだまだ機は熟していないわずかな太刀さばきでいなされて息が上がっているところを少しずつ間詰めして、いいところを引き出し、最後に打たせて下さいました。

皆がゼミを次々に決めていく中、少し和光先生の授業「管理会計」を覗いてみると、一年時にはまだ高度な内容。

不安を打ち明けると「続けてついてくれば大丈夫」と声掛けを下さいました。

卒論、修論執筆には、いつも奥様が手料理を作ってください、お酒の進む中議論を進めていき、その中で妙案を論文に収める事の出来るよう指導下さいました。

郷里を離れて学ぶ寂しさを、家庭の一員のように迎えて下さるお二人に癒

してもらっていたのだと今になり感謝の念が湧いてきます。

退官の際、資料を整理されて私のところに修士論文が送られてきました。

卒業後ゼミOB会の集まりで、先生が「お前の論文は、『会計制度の設計は社会的選択にすぎない』という趣旨だったな」とことあるごとに言われました。その度に、ブレている自分に気づかせて下さったと思います。

初めてお会いした先生の剣の構えは、ブレない剣道そのもの。武士道を教育の場で実践指導されていたのだと思います。





前和歌山支部長 久山 稔 (大6期)さんを偲んで

大11 小池 布紗雄 (元・和歌山支部長)

長年柑芦会に御尽力いただいた久山さんが昨年9月27日に亡くられました。84歳でした。久山さんとの出会いは今から34年程前、当時私が勤めていた会計事務所の所長の山中静(高20期)さんが和歌山支部長になり、事務局を手伝うように言われて柑芦会に関わるようになった頃で、まもなく「さよなら高松キャンパス」記念パーティを開催することとなり、皆その準備に忙しくしていた時でした。初めてお会いした時から親しみの持てる好紳士で、当時は紀陽銀行の幹部としてバリバリの現役でしたが、柑芦会活動にも積極的に参加し、銀行の後輩たちからも慕われる兄貴的な存在でした。また柑芦会に熱心に参加する一方、従来の柑芦会活動には否定的で、年に1回支部総会を開き、懇親会を行うだけというやり方では皆同期会でやっていることであり、全学の同窓会も出来ていない今日、柑芦会の役目はもう終わったのではないかというのが持論でした。しかし南村(工1期)さんの後任として乞われて支部長になるや中途半端は嫌いな性格で、支部広報「柑芦わかやま」の年2回発行、大学行事への積極的な協力、学生の地元企業への就職の働きかけ、留学生への支援等々、支部長が率先して支部活動を牽引しました。当初は1期だけということで支部長を引き受けてくれましたが、後任が見つからず、体調が万全でないなか期を重ねてやっていただき、最後は体調不良で活動不能となり、まさに刀折れ、矢尽きるまでという感じで任期途中での退任となりました。それこそ最後の最後まで柑芦会の

ために尽力くださいました。

また、久山さんは色々な事に熱心な人で、銀行を退職されてからは大学院で研究を重ね、その集大成として銀行勤務時代の体験を基にバブル当時の金融業界を表した書籍「平成・和歌山地域金融動乱史」を出版しました。趣味の音楽にも熱心で、地元の合唱団で歌ったり、バンドを組んで自らは主にベースを弾き、福祉施設を慰問に回ったり、支部総会の懇親会でもバンド演奏で会を盛り上げてくれました。最後まで好きな音楽を聴きながら安らかに逝かれたとのこと。

合掌

※当追悼文を書かれた和歌山支部の事務局代行の小池布紗雄氏は2021年7月8日にお亡くなりになりました。哀悼の意を捧げます。(編集委員)





野田真之さん（17期）を偲ぶ

大17 本多 康重（岡山支部幹事長）

盟友野田真之君が逝った。享年75歳。すい臓癌だった。

2021年6月18日昼前。穏やかな顔で静かに永眠されたという。（奥様談）

私が彼から自身の病気のことを聞いたのは同年正月2日。それから僅か半年であった。言葉はなかった。ただ茫然と立ち尽くすばかりであった。

野田君は名門耐久高校を卒業。1965年（昭和40年）和歌山大学経済学部に入學。産業工学科の第一期生。学生時代は柔道部に所属し日々稽古に励んだと聞く。私と同じクラスだったが大学時代に交わることはなかった。また卒業後の勤務先、勤務地も異なり全く交流はなかった。彼と出会ったのは柑芦会大阪支部でのこと。今から13年前となる。当時は本部の事務局長を務めておられ、その後大阪支部の幹事として活躍されていた。同郷、同期ということもあり彼とは急速に接近した。それからの深い付き合いである。

彼をひと言で言うと正義感の熱い一本気な男と言える。柔道一直線の彼だったが学生時代に一度だけデモに参加したことがあったと聞く。松下会館前の学生集会で当時の自治会委員長のアジ演説を聞き、訳も分からずデモの中に身を置いたとのこと。何か胸に突き上

げてくるものがあった、と笑う。彼の正義感がうずいたのかも知れない。

その姿勢は大阪支部の同好会「雑記教室」の同人として月一回の合評会への投稿作品にもよく表れていた。原発問題、安保改正法案、反戦平和など社会性の強いテーマにシャープなコメントを発表し、同人の私たちへ警鐘を鳴らし続けた。また朝日新聞神戸支局襲撃事件で犠牲になった記者の方々の追悼式典には毎年参列し黙とうを捧げていた。無口だが不当や不正は許せないという一本筋が通っていた男であった。

また彼は無類の世話好きだった。17期会の幹事会の中心として全国大会の集いには案内文や会場の手配や会計など黙々と世話を焼いてくれた。困惑している友には手を差し伸べ寄り添っていた。惻隱の情があった。17期生で彼を知らない者はいない。それが長年に亘って大阪支部の事務局長という要職を務められた要因ではないかと私は思っている。誰からも愛され頼られた男だった。

野田君の死は誠に残念であり無念であるが、彼の功績を称え友情を込めて心からご冥福をお祈りしたい。

合掌

大阪支部副支部長 野田真之（大17）氏を偲んで

大 23 西本 正人（大阪支部幹事長）

大阪支部副支部長の野田氏が、2021年6月18日に、すい臓がんのためご逝去されました。享年は75歳でした。

野田氏は、現役の大阪支部副支部長でしたが、昨年12月から体調をくずされてからは、ご自宅で療養されていました。突然の訃報に、支部役員一同は非常に残念であり、大変困惑しております。

7月になって、たまたま野田氏と同期の本多元副支部長が、ご自宅に電話されてお亡くなりになったことがわかった次第で、その後、ご家族からすでに近親者だけでお別れ会を済ませましたと正式な訃報ハガキが届けられました。

野田氏の大阪支部での役員歴を申し上げます。

- ・2016年～2020年3月 事務長として、支部事務所の統括及び予算・決算・庶務
- ・2020年4月～2021年6月 副支部長として貢献されました。
- ・この間、柑芦誌の編集委員としてもご貢献いただきました。
- ・2020年10月から、若き事務長の2人体制を作っていただきました。

大阪支部といたしましては、これまでに野田氏の果たした役割は、非常に大きいものと考えております。ここに改めて、野田氏のご冥福をお祈り申し上げます。



和歌山支部

和歌山支部幹事長 大28 山中 盛義
和歌山支部総会(2021年5月22日)

昨年度に続き新型コロナ禍の影響で、各支部の総会の開催が危ぶまれる中、今年は恒例の懇親会は中止し、講演会及び総会を2021年5月22日「ルミエール華月殿」にてウイルス対策を講じ、来賓に本部理事の西本正人氏、和歌山大学基金室 室長の青木稔氏、衆議院議員の門博文氏(大36)をお迎えし、13名の支部会員及び1名の留学生(招待)で開催いたしました。

まず講演会には南方熊楠記念館前館長の谷脇幹雄氏(院44)を講師に招き「南方熊楠に何を学ぶか」につき講演していただきました。和歌山県が生んだ博物学の巨星である南方熊楠の人生及びその功績につき短い時間でありましたが、簡潔に説明いただきました。より理解を深めるため和歌山県白浜町にある南方熊楠記念館を訪問しなければとの思いが高まりました。

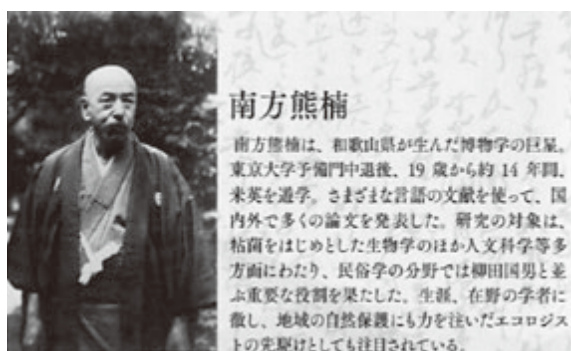
講演会の後、坂本漸支部長より開会のあいさつの後、各議案の審議を行い、全案異議なく承認されました。

その後、本部理事の西本氏より本部北村会長のメッセージ、和歌山大学基金室長の青木氏よ

り伊東学長のメッセージをいただき、門博文代議士より祝辞及び新型コロナウイルス対策を含めた国政報告をいただきました。最後は塩路副支部長の挨拶で終了となりましたが、来年こそは多くの方々に来ていただき、懇親会を含めた楽しい支部総会を開催できるよう切に祈るところです。

支部活動状況の報告

- ①「柑芦わかやま」発行
第42号(2020年10月15日)、
第43号(2021年4月20日)
第43号は5,074名の支部会員全員に送付し、会費収入の増加を目指しました。
- ②和歌山大学(基金室)への支援
(2020年5月28日)
松下会館の再生に向けて50万円の拠出をいたしました。
- ③和歌山大学硬式野球部への支援
(2021年5月27日)
和大硬式野球部の全日本大学野球選手権出場に際し5万円の拠出をいたしました。
- ④門博文後援会の設立総会を開催
(2021年4月3日)
当支部会員である門博文代議士を支援すべく、「和歌山大学OB会門博文後援会」を設立しました。



(出所:南方熊楠記念館パンフレット)

大阪支部

大阪支部事務長 大43 由井 幸枝

2020年度の大阪支部の近況を報告させていただきます。今年度は、飲食を伴う新年会と総会は、幹事会の意向で中止になりましたが、2021年2月27日(土)にオンライン経済講演会を開催することができました。

講師は和歌山大学学長の伊東千尋先生、2時間にわたり『和歌山大学の現況と今後の展望』についてお話を伺いました。オンラインの特性を生かして全国から80名を超えるお申込みがあり開催後のアンケートでは98%の方が大変良かったと回答。講演の感想・印象に残った内容などを一部ご紹介いたします。

(講演後アンケートより)

- ・伊東学長の統率力・指導力が素晴らしく、思いが伝わる講演で自分の視野が広がった。
- ・学長の真摯な姿勢を感じることができ、学長のチャレンジ精神で大学のレベルが上がると感じた。
- ・学長をオンラインで近くに感じられ、熱意・実行力・広報力はすごいと感じた。母校の現状と今後の展望は聞きたい内容だったのでよかった。
- ・伊東学長が和歌山県下と大阪南部を訪問されたことは画期的で感銘を受けた。
- ・地域との連携に力を入れていて応援したいと思った。
- ・国立大学の財務状況や経営方法が特に印象に残り文科省との難交渉のご苦労が分かった。
- ・地方大学の厳しい現況がわかり、課題解決のために活動されている大学に寄付してよかったと感じた。
- ・松下会館の活用が聞けてよかった。
- ・紀伊半島の共創基幹構想の今後も聞きたい。

- ・他の学部の状況も興味ある。観光学部がコロナをどう乗り切るか知りたい。
- ・学生へのビジョン、大学でどのように人間形成をし、どのような学生を社会に輩出するのかが知りたい。
- ・資源のない日本では人材こそ貴重な国の財産、知識教育も大切だがこうした和歌山大学の取組みが将来自ら時代を切り開く人材育成の一助となることを願う。
- ・より多くのOBにも聞いてもらいたいと感じ、課題を共有できればと思う。
- ・学長の大学の在り方や同窓会の在り方への熱意に感銘を受けた。
- ・全学同窓会に向けて取組むべきだと感じた。
- ・全学同窓会を作る上で柑芦会は基盤になれるのではないかと。
- ・コロナ禍でも自宅からZoomで聞けるのは有意義な時間だった。
- ・Zoomで全国にいる柑芦会員が同時に聞けたことがよかった。
- ・Zoomはリアルな講演よりも講演者の表情がよくわかるのがよかった。

続いてコロナ禍で休止していた人生塾をオンラインで2021年7月3日に再開しました。講師は足立基浩副学長が引き受けてくださり、「新型コロナとまちづくり」についてお話いただきました。身近なテーマで、参加者は質疑応答も活発に参加されておられ、先生の巧みな話術であっという間の1時間半でした。次回の人生塾は9月頃を予定しております。聞いてみたいジャンルやお話を伺ってみたい先生など、是非ご意見をお願いします。コロナ禍であっても、実際には会えなくとも、一緒に学び語り合うことは可能です。企画の段階から会員の皆様に関わっていただけるような人生塾を目指していきたいと考えております。

東京支部

東京支部幹事長 大34 草場 寛

小林 淳 新支部長 就任

2021年4月25日のZoomミーティングによる代議員会議において、末廣利明支部長が退任され小林淳氏が新支部長に就任しました。同時に、藤原孝志副支部長が退任され、松村勉氏が新副支部長に就任しました。

2020年は年初からの新型コロナ感染拡大で対面によるコミュニケーションが困難になり、春に開催を検討していた長野地区の会員との交流会の延期、代議員会実施も7月に遅延、9月の支部総会・懇親会も中止せざるをえませんでした。代替イベントとしてオンライン人生塾(講師、東谷慶太氏(教育30期))を実施しました。

2021年に入り支部内でもZoomミーティングが定着して、4月から新体制を迎えることができました。また1月からは東京支部だより(メールマガジン)を一斉送信方式から、本部・大阪支部で採用している「さぶみっと!メール配信」システムを導入し、臨時号の配信、送信時間の短縮、エラー返信されていたメールアドレスの整理ができました。6月には第70回全日本大学野球選手権記念大会に4年ぶりに出場を果たした硬式野球部への応援を行いました。

7月の臨時役員会では9月25日(土)の支部総会実現に向けた活動を開始しました。年会費の納入を郵便振替と自動引き落としに加え、いつでも利用できるコンビニ決済の導入を検討中です。

○事務局の変化

2021年1月より由井事務局長(43期)、夫馬事務局長補佐(47期)の2名体制に移行しました。コロナ禍にも鑑み週3日程度、交代で事務所に在席するようにしております。ご不便をおかけしますが、ご来所の際など事前にメールでの確認をお願いいたします。

大阪支部:osaka@kourokai.org

○メールニュース配信中

大阪支部では月初めにメールニュースを配信しております。登録無料。人生塾や経済講演会、Zoom練習会、総会、新年会のご案内や、大学の近況などをお知らせしております。配信ご希望の方は 大阪支部:osaka@kourokai.orgまでメールを送ってください。

○趣味の会(サークル活動)

詩吟の会、囲碁の会、経済交流会、つれもて会(ウォーキング)、川柳の会などコロナ禍でも工夫して再開しております。事務所には感染予防対策として透明パーテーションを設置しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

岩垣会計事務所

税 理 士 岩 垣 忠 裕 (院35)
中小企業診断士

〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目3番14号
ストークビル南船場10階
TEL (06)6266-9075
FAX (06)6264-5208

神戸支部

神戸支部支部長 大20 平林 義康

オンライン支部総会の試み

新型コロナウイルスが日本に上陸して1年半が経過しました。2020年10月に開催予定であった支部総会は、第1回目の緊急事態宣言が発出されて半年が過ぎていたものの、コロナ感染症が収束しない状況下では従来のような会議形式での開催は困難との判断のもと、WEB会議システム「Zoom」を使ってオンライン総会を開催することになりました。

参加者は23名でしたが、その内13名は各自のパソコン、スマホを使用してリモート参加し、10名は神戸元町の会場でソーシャルディスタンスをとって会議形式での参加となりましたが、会場ではパソコン一台とプロジェクターを使って対応しました。従って、今回の総会は完全なオンラインではなく、いわば、ハイブリッド形式の総会となりました。

なお、この時使用した「Zoom」は会員が個人的に契約されているものをご好意により活用させて頂きました(柑芦会本部ではこののち11月に「Zoom」社と法人契約されました)。

また、参加者のうち神戸支部からは17名の会員(会場10名、リモート7名)が、柑芦会本部から2名、他支部から4名(ともにリモート)が参加されています。

18時30分から開始され19時30分に終了した総会では、2019年度の活動報告・会計報告、2020年度の運営方針(案)・会計予算(案)他が審議されいずれも異議なく承認されました。総会終了後の19時30分から20時までは、2016年度の支部総会・懇親会でご講演頂いた講師・旭堂南海師匠の「和

歌山大学物語」をビデオ上映し和歌山大学経済学部創立の経緯について理解を深めたところです。

初めてのオンライン総会では以下の様な様々な問題点、課題が浮き彫りになりましたが、これらの大半は現在では解決され、ごく普通に実践されているところです。

- ①参加者は出来るだけイヤホンを使用する。特に話すことが予定されている人は出来るだけインカムなどの専用マイクを使用する。
- ②話者以外の方はミュートにする。
- ③資料を共有する場合は、配布用とは別に、大きな文字でオンライン用の資料を作成する。
- ④話者は姿勢を正しくする(足組などはしない)。
- ⑤発言したい人は手を挙げて意思表示し、司会者が指名した後に発言するようにする。
- ⑥発言に同意の場合は大きくうなずく、拍手をする、など、声を出さずに意思表示をする。

神戸支部では、この後数回にわたり「Zoom」勉強会を開催し、会員に「Zoom」に慣れて頂く試みを実施した結果、今では多くの会員が、「Zoom」他でのオンライン講演会等に参加されています。記憶に新しいところでは、伊東学長、マグレビ前経済学部長、足立副学長のオンライン講演会が実施され多くの神戸支部会員が参加されておられます。

また、近いところでは7月24日に「Zoom」を使ってオンラインで定例幹事会を開催する予定です(この寄稿文は7月中旬に作成しています)。また、10月には会議形式での定時支部総会を開催予定ですが、コロナ禍の収束次第ではオンラインでの総会開催も視野に入れております。

コロナ禍が収束してできるだけ早くかつての日常に戻り、勉強会、総会、新年会、懇親会等が従来のような対面式で実施できるようになることを願っておりますが、WEB会議システム

を活用しての会議、講演会、打合せ等は参加者の移動時間の軽減、交通費の削減等が期待できるとともに主催者側からすれば、会場費節減等のメリットもあると思います。また、全国展開している支部間の交流もWEB会議システムを活用することによってより活性化できるのではないかと思います。

「アフターコロナ」という言葉とともに「ウイズコロナ」ということが言われていますが、WEB会議システムを活用しての会議、講演会等は、まさに「ウイズコロナ」の良い実践例ではないかと思っています。



2020年10月・神戸元町の会場



2020年10月・リモート参加者
および資料のオンライン表示



ビルメンテナンス

株式会社 **南北**

南北グループ

インテリア雑貨・家具
フォレストアクタスショップ
レンタルマット・介護用品レンタル
株式会社ケイ・コーポレーション
プロパティ・マネジメント
株式会社南北ピーエム

〒641-0035 和歌山市関戸5丁目7-6 TEL 073-444-3511 FAX 073-444-3411 URL <http://www.namboku.com>

北海道支部

北海道支部長 大19 田中 廣

北海道も特に札幌市内の感染状況が高止まりで、支部総会は2年連続で中止しています。活動と言っても、一部の会員の皆様と電話やメールで挨拶兼ねて雑談をするくらいです。

私は札幌から1時間ほどの安平町という田舎町に住んでいます。人と人とは超ロングディスタンスなので、比較的安心して町内の仲間と戸外活動ができます。

フットパスというのをご存知でしょうか。自然の中を散策する小道のことで、徒歩でフットパスをたどるレクリエーションとしてイギリスで始められたものです。

町内の仲間と数年かけてルートを作り、町に広めてきました。

今年の雪中フットパスをご紹介します。

雪中フットパス(2021.2.27土曜日)

安平町追分にある日本最古の保健保安林を歩きました。

この保安林は明治35年に当時の有志の方たちが、開発から森を守るため保健保安林として後世に残してくれた貴重な森です。現在は全体が鹿公園になっており、鹿苑、スイレン



の池、水芭蕉の沢、バーベキューハウスもあって、夏はキャンプで賑わいます。

今日は移住者クラブの6名で、昨夜降った新雪の上3.6キロを1時間程で歩きました。

天気にも恵まれ、風もなく、枝に積もった雪の花がひらひらと舞い落ちる様に何とも贅沢な時間を過ごせました。

メンバーの山口さんが、木工細工でバードコールを作って持ってきてくれました。短い木の枝にネジが埋め込んであって、ネジを回すと本当の鳥のような鳴き声が出るのです。歩きながら試してみました。今日は多分ですが、シジュウカラ、コゲラ、シマエナガに会えました。

コースの最後は、町並みを見下ろせる小高い所にあるあづまやで休憩、談笑。終了後は近くにあるカフェで軽食を取りながら話に花を咲かせました。

雪上フットパスは気象条件が整えば自然を満喫できるいいものだなと思いました。



三重支部

三重支部幹事長 大31 山際 雅彦

三重支部2020年度総会は、2020年11月21日(土)、津駅隣接の「グリーンパーク津」にて開催されました。新型コロナウイルス感染拡大もふまえ総会の開催を見送ることも検討しましたが、今回は感染対策を講じた上で、講演会や懇親会は行わず総会のみで開催としました。

新型コロナウイルスが感染拡大傾向にあり、本部等のご来賓の方々に参加を自粛いただいたこともあり、総会参加者は支部長他3名の寂しい総会となりました。

来年度は新型コロナウイルスの騒動も治まり、通常の総会が開催できるよう期待したいと思います。

(三重支部主要役員 敬称略)

支部長	井上俊一(大学18回)
副支部長	小谷 剛(大学20回)
副支部長	太田 均(大学22回)
副支部長	水谷正道(大学26回)
相談役	春山健児(大学6回)
相談役	藤澤真純(大学12回)
幹事長	山際雅彦(大学31回)
副幹事長	加藤泰三(大学27回)



田中会計事務所

税理士 田中康麿 (大14)
行政書士
社会保険労務士

〒640-8262 和歌山市湊通丁北2丁目13番地
TKCビル2階
電話 (073) 426-2612 (代表)
FAX (073) 426-4898

時間駐車・不動産賃貸

パークス株式会社

代表取締役 織田宗輔 (大10回)

〒578-0941 東大阪市岩田町3-9-6
TEL/FAX 072-964-6400

広島支部

広島支部長 大45 三吉 規央

広島支部の再建が成りました

広島県は人口が270万人を超え、柑芦会会員も150名以上おります。会員は広島市と福山市にまとまって居住しており、勤務先が広島県内にあるために広島県に居住し会員となっている方々も広島市と福山市に集中しています。

広島支部が会員を集めての支部総会を開催しないこと、つまり休眠した理由は支部の役員を引き継ぐ者が現れなかったからでした。これについては柑芦会本部でも気にされていて、支部活性化支援委員会の辻委員長(20期)から私に支部活動再開に協力するよう依頼があったのです。更に北村会長(18期)も広島においでくださり、広島支部再建に本部が協力するとのお話をいただきましたので、私も支部再建をお引き受けいたしました。そして実際に会長は大変骨を折ってくださったのです。

再建のために会員で会合をもつ必要がありましたので、そこまでの準備作業において支部活性化支援委員会に多くの支援をいただきました。支部再開の呼びかけ文の発送は辻委員長が行ってくださいました。また委員会の皆様にも多くの呼びかけとアドバイスをいただきました。マグレビナビル副学長には広島県在住のマグレビゼミ卒業生への呼びかけをしていただき、福山市内での会合には小田雄大氏(66期)が参加してくれました。この小田氏と竹原市議会副議長職にある山元経穂氏(49期)の参加がオジサンとオジイサンには大変嬉しく、広島支部は再建が成ったのでした。

このような広島支部再建の経緯から、休眠中の支部に対しては柑芦会本部が支部長を指名して据えることが有効と考えられます。落下傘で降ってきた人物に不満があるかもしれませんが、会員が本部と繋がるための支部総会を開催することの利益には代えられません。

会合では北村会長より、最近の入学生の4割が女性だと伺いました。そこで女性が支部活動に参加しやすいように、若者だけの部会を広島支部内に設けることになりました。これからの広島支部の活動に是非ご期待ください。



広島地区

後列左から 宮丸尚之(大25) 花北順夫(大15) 富中幹雄(大19)
前列左から 辻均(大20) 三吉規央(大45) 北村修一(大18)
三宅省三(大12)



福山地区

後列左から 小田雄大(大66) 藤井和之(大13) 橋本克己(大14)
山元経穂(大19) 辻均(大20)
前列左から 新居康男(大11) 三吉規央(大45) 北村修一(大18)

香川支部

香川支部長 大22 島田 新市

香川支部総会は毎年6月に実施していましたが昨年(2020年)6月はコロナ禍で中止せざるを得なくなり、結局今年10月に2020年、2021年分まとめて実施する運びとなりました。

一方、従来大阪で開催されていた柑芦会理事会や支部長会議、また支部活性化支援委員会などがZoomで開催され、香川支部も瀬戸大橋を渡ることなく参加させて頂きました。

パソコンによるWeb会議はこれまで経験した事が無かったのですが、事前に接続テストもして頂き難しいものではないと言う事が分かりました。確かにFACE TO FACEのダイレクトな空気感には及ばない面も多少は感じましたが、時間・コストの大幅削減、参加の容易さ等改めてその利便性の良さに驚かされました。

実は、小生、香川県労働委員会委員をやらせて頂いております。最近ではWeb会議となる場合もありましたが、柑芦会でZoomを経験したおかげで現役組に負けずに自信を持って臨む事も出来ました。柑芦会に感謝です。

今年の総会は10月17日となりましたが、昨年総会を実施できなかったこともあり、会員の参加を促すため、小さな香川支部でも何か工夫できないかと悩んでいたところ、平林神戸支部長、辻活性化支援委員長よりアドバイスをいただき、さらに調整、手配など大変お世話になりました。

おかげで、本部からは費用面でのご支援も頂きながら、旭堂南海師匠による講演や現役学生を招聘しプレゼンして頂くなど、総会に華を添える事が出来ました。

今後とも本部、各支部の知恵もお借りしながら、より多くの会員が集い情報交換の場となるような総会にできればと願っております。

以上

川瀬計理事務所

税理士 川瀬 雅人 (大27)

〒522-0062 彦根市立花町4-21
電話 0749-23-0011
FAX 0749-23-0015

税理士 毛利会計事務所
行政書士

シゲ ユキ
毛利 恵行 (大25)

〒670-0965 姫路市東延末3-39
電話 079-283-1250
FAX 079-283-1240

徳島支部

徳島支部長 大26 多田 昭弘

徳島支部の未来

2020年度の徳島支部の活動は、新型コロナウイルスがどのようなウイルスでどのように感染が広がるのかははっきり分からない中、リスクを取ることはできないという判断をし、総会、慰安旅行など会員が直接顔をあわせる行事は総て中止しました。ワクチン接種が始まった2021年度も、仕事以外の活動を控えざるをえない現役の参加者が比較的多い当支部は、当分の間、すべての行事実施を見合わせることにしました。

コロナ禍下で何となく分かったことは、生活必需品の生産や流通などについては止めることのできないものとして暗黙の位置づけがあり、解釈は曖昧ですが「不要不急」に区分される趣味や旅行などの娯楽については行動を控えることとされたことです。

柑芦会活動は、交流・交際に当てはまりそうですが、「不要不急」なのかと問い続けておりますが、会員が長期間、顔と顔をあわせた活動をしなないことに対して少し不安にかられています。

こうした中であっても和歌山大学卒業生でかつ徳島県で生活している会員は、日本百名山の剣山、シンガーソングライターや小説家として幅広く活躍しているさだまさし氏の小説で映画のロケ地にもなった眉山、日本三大暴れ川の吉野川をランドマークとして、徳島の地にしっかり根ざして人とのネットワークをコツコツと広げていけば、支部の明るい未来が見えてくる気がします。

このネットワークを広げる時の視点として、「地図上で徳島を中心に位置づけて物事を考えてみると違った見え方があることに気が付くことがある」という話を徳島支部主催の講演会で聞いた記憶があります。

一度、「地方」という言葉の呪縛から少しでも解き離れ、中央からの情報を得てから発信するのではなく、徳島で独自に発想し、情報を発信していくことが今、必要ではないかと考えています。



吉野川と眉山の風景



眉山山頂にある万葉歌碑

沖 縄 支 部

沖縄支部長 大28 当真 一男

梅雨の候、本部におかれましては、支部活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で各方面に影響が長期化するなかではありますが、沖縄支部の状況と今後について報告いたします。

不定期的に地元で交流会(食事会やゴルフ)を行っていました。

去年「近々新年会をしましょう」と声を掛け合いましたが、一転新型コロナウイルスの

第一波が襲ってしまいました。

その後は感染三密対策で皆さんと会う事もかなわず、時間だけが経過しました。

ワクチン接種も牛歩のごとく、徐々にではありますが進みつつあり、来年(2023年)からは普通の生活が戻って来るのかと思っています。それまでは各自健康に留意して元気に再会できる日を待ちたいと思っています。

メンバーにも新型コロナウイルスに感染したとの話で、回復に時間を要したとの情報もあり、油断大敵で基本の三密対策をして日々生活を送っていくのが肝要だと思っています。

以上

株式会社 小 泉 組

代表取締役会長 小 泉 陽 (大学5回)

〒657-0035 神戸市灘区友田町3丁目2-10-301号

電 話 (078)811-8021(代)

F A X (078)811-8268

ハートを動かす、商社へ。



HANWA

阪和興業株式会社

日本一の歴史を持つ 我が和歌山大学合気道部

大16 熊谷 研二 (合気道八段)

〈和歌山大学合気道部の歴史〉

和歌山大学合気道部は2022年秋に創部70周年を迎えます。

合気道部は大学8期の大坪貞弥先輩により昭和27年に設立されました。大坪先輩は大変勉強がお好きだったようで足掛け8年間も大学におられ、その間仲間の方々との昔の教育学部があった真砂町岡公園内の市立武徳殿で合気道の稽古を始められたそうです。(たしか私が入部した昭和39年の秋頃に創部10周年の記念ダンスパーティーがあったと記憶しています。)

合気道創始者の植芝盛平は和歌山県田辺市の出身で、当時の和歌山の小野知事とも親しく、和歌山でよく合気道の指導をしておられたそうです。多分大坪先輩もその指導を受けておられたのでしょう。その大坪先輩を中心として全国の大学に先駆けて和歌山大学に合気道部が設立されたのです。同じ年に合気道本部道場師範部長の藤平光一師範が母校慶応大学に合気道部を設立されています。先般全国学生合気道連盟50周年の記念誌が発行され、それによると現在は全国で200校近くある大学合気道部の中でOBの数が1000人を超えているのは和歌山大学合気道部だけだそうです。その歴史からも和歌山大学合気道部は合気道界におけるブランドであることがわかります。また昭和33年には和歌山大学、関西学院大学、関西大学、大阪経済大学の4校の合気道部がいち早く関西学生合気道連盟を立ち上げていることも追記しておきます。

私は、昭和39年和歌山大学入学の16期生です。

実は入学時、合気道などと云うものは聞い

たことも見たこともありませんでした。それなのになぜ合気道部に入部したのかという、「多分新生には合気道の経験者などいないだろうから、このクラブに入れば、他の新生と横一線を始められるので、出遅れと云う事はない」と考えたからです。しかし、いざ入ってみると考えた以上に稽古は厳しく、最初は痛いばかりで全く面白いものではありませんでした。そんな合気道をまさか私が一生を通じて修業するようになるとはその時は思ってもいませんでした。

私が入部した時は和歌山大学合気道部に女子は一人もおらず野郎ばかりでした。それが23期に果敢にも2人の女子が入部してきました。それが始まりでその後ぼつぼつ女子が入部してくれる様になりました。そして毎年コンスタントに5、6人の女子が入部してくるようになったので、思い切って昭和51年に女子合気道部として独立させることにしました。師範稽古や合宿は合同で行いますが、普段の活動は別々にすることにしました。全てを一緒にするとどうしても日常稽古は女子の体力に合わせたものになってしまうし、また好きになる子が重なってしまい部員間の人間関係が悪くなってしまふ等の問題が生じたりするためです。

この策は大成功で、今も非常に仲の良いクラブとして活動を続けています。卒業して結婚したカップルも20組以上ありますし、結婚までいかなかった例もありますが、離婚したカップルはほとんどないと思います。

また、学校卒業後も合気道の稽古を続けているOB・OGも多く、国内外で指導者として活躍している者もたくさんおります。

〈合気道とは〉

合気道というのは先にも述べた様に和歌山県田辺市出身の植芝盛平により創始された武



植芝盛平記念館外観

道です。田辺市では弁慶（弁慶の場合は他にもその出身地と主張している所はあるそうですが）、南方熊楠と共に、植芝盛平が顕彰されています。昨年田辺市役所前の扇ヶ浜に、道場併設の素晴らしい記念館が建設されました。

創始者植芝盛平は1883年(明治16年)田辺の地主の家に生まれ、子供の時から武道が好きで、剣道、槍術、関口流柔術、竹内流柔術などの稽古に夢中だったようです。明治45年29歳の時、仲間と共に北海道の白滝村の開拓村に入ったそうです。ここで植芝盛平は後に合気道の稽古の展開に大きな影響を与えた大東流柔術の指導者である武田惣角と出会い、その技の吸収に全力を尽くしたと云われております。武田惣角は濡れ手ぬぐい一枚で5～6人の男をあっという間に倒すほど強かったといわれております。思い起こせば私が学生だった頃、学校をさぼり、まだご存命中



植芝盛平記念館入口



植芝盛平翁ノ像

であった創始者が住んでおられた合気神社のある茨城県岩間町を訪れ、生活をともにさせて頂いたことがあります。創始者は和歌山が大好きだったので、和歌山大学の学生である私を孫、孫とって可愛がってくださいました。その時一緒に炬燵に入りながら「武田惣角は強かったんですか」とお聞きしましたら、「唯強いだけだ」と言っておられました。このあたりに、創始者の武道が単に強いだけでは満足できなかったとの考えがしのべられます。人殺しの技からさらに昇華させなければとの考えがあったのでしょうか。(植芝盛平1969年86歳にて永眠)

若き植芝盛平が白滝村の開拓に励んでいる時に、故郷田辺から“父危篤すぐ帰れ”との報を受け、急ぎよ和歌山に帰ることとなりました。その途中の東海道線の車中で先生は、偶然にも大本教三代目教祖出口大仁三郎聖師に出会ったと云われております。その時植芝盛平は和歌山に帰らずに、出口大仁三郎について京都府の大本教の総本山のある綾部について

しまい、父親の死に目には会えなかったそうです。その後一旦は和歌山に帰りましたが、再度綾部にもどり、出口大仁三郎と共に暮らし、時には出口大仁三郎と満州遠征などしながらその思想を学んだと云われております。

合気道は基本的に武道であり、人殺しの技であるので、ルールはあるべきではない、と云うのが創始者の考えですから、そこに形や決まりはありません。やってはいけない事も、間違いの技も、よい技も有りません。ルールがないという事は目に見える形がないわけですからつまりどうでもよいのです。合気道の技と云うものはないのです。合気道と云うのは“禊”だと思っています。水が高きから低きに流れるように、自分で自分の身体を自分のものとし、自然と一体化させることに挑戦する事こそが、合気道の本来の修行であると私は思っています。

《臍の哲学》

私が大学で合気道を始めたころは、地元の

指導者に指導を受けておりましたが、2回生の時、小田原の聖氣館道場の合宿で、本部道場の五月女師範に指導を受け、合気道にのめり込む事となりました。

今でもそこで学んだ“臍の哲学”は忘れることができません。臍は生きていくのに、なんの働きもしている訳ではない。しかしなければ自分の中心がどこにあるのか分からない。日本における天皇も同じである。中心が揺らぐと国が乱れる。だから日本は戦争をしてしまったのだ。私は50年余りにわたり合気道の稽古をしてきて、合気道とは中心の鍛錬と、正しい「間」の取得だと悟りました。臍がなければ、臍下丹田に気を集中して心身を捌くことができません。臍がなければ動きの中心が分かりません。その中心と相手の間が違うと、“間抜け”になり“間違い”になってしまいます。

この五月女師範に出会ってからは、合気道部は合宿では五月女師範に指導を受ける様になりました。しかし、思いがけず昭和50年に五月女師範は合気道普及のためアメリカに永住される事となりました。そこで五月女師範のご紹介で、本部道場の師範である佐々木将人師範(天風会中村天風先生の弟子でもあります)に指導を受ける事となりました。その後合気道部は佐々木将人師範に15年間ご指導を受けることとなりますが、そのうちに昭和65年頃から私も指導をお手伝いするようになり、その後20年以上母校合気道部の指導を引き受けてまいりましたがようやく5年前に指導は21期飯尾守平君にバトンタッチいたしました。

《回教徒国での合気道》

私は卒業して建設機械メーカーであるコマツに就職し、1981年から1988年まで、エジプトのカイロとトルコのイスタンブールに駐在したのですが、そこでコマツのブル



天を突く創始者と若き日の筆者

ドーザーの販売をする傍ら、合気道の稽古を続けてきました。合気道を広めようとの気持ちがあった訳ではなく、自分の稽古相手が欲しかったので、現地の人に教えただけなのです。しかしトルコで合気道の本などを出版したりしているうち、いまでは両国での合気道人口は5000人と思われるほどになっています。合気道では試合形式の稽古は行いません。通常の稽古は、居合道のように型の稽古を反復し、身体にその動きを覚えこませる方法で行います。試合があれば勝つために稽古をするわけですから分かり易いのですが、海外では試合なしで武道を教えることは大変難しいのです。型の反復で合気道を教えると、形を覚えれば、それで自分は出来たと思ってしまうのです。型の裏にある目に見えない気の動きを学び、それを身に着けてこそ本物になる



和歌山大学合気道部50周年・女子合気道部25周年

のですが、目に見えないものの重要性を教える事は大変難しいことです。私はこの点について外国で指導をする際には、先般亡くなった柔道の古賀選手のエピソードをよく使わせてもらいました。古賀選手の名は世界中の武道を学ぶ誰もが知っております。また彼の得意技が背負い投げだと云うことも知られております。それにも拘わらず、彼は世界中の柔道家を、背負い投げで投げてオリンピックで金メダルを取ったのです。技を磨くと云う事は目に見える型を学ぶのでなく、目に見えない気と云うものを学び身につけてこそ修業となるのだと、彼の背負い投げを例に引いて教えてきました。先日テレビで古賀選手の追悼番組を見ていて、彼の背負い投げの稽古が、全くの中心の鍛錬と間の稽古の反復であることを知り、「まさにそのとおり！」と思わず膝を叩きました。合気道は日本の書道とか茶道とか華道

と同じように、目に見える所作を繰り返すことにより、目に見えない何か、つまり自然との調和を学びとると云う日本古来の“道”の文化であると私は考えております。

《今私が思うこと》

合気道には植芝盛平が作った技は一つも有りません。植芝盛平が必死になって身に付けた武術の技の中から、彼が出口大仁三郎から教えてもらった思想に基づいて取捨選択した技の鍛錬法が合気道です。出口大仁三郎が、植芝盛平が持っていた武術の技を借りて、自分の思想を世の中に残したものが合気道だともいえるとおもいます。

合気道の目的は相手を倒すことでなく、相手の攻撃力を関節技などで抑え込み奪い、最終的には攻撃意欲を奪う事をその目的としています。

この出口大仁三郎が創始者に伝えた思想の素晴らしさが、日本から地理的にメンタル的に、はるか離れた回教国でも、人々にその修行をしてみようと思わせるのだと考えます。

すなわち、合気道は「技をもっていた植芝盛平」と「日本の道の文化に対する考え方を持っていた出口大仁三郎」が会った所を原点として80ヶ国以上、150万人以上に及ぶ世界の人々が関心を持って修業する現在の合気道に至ったものと思います。

創始者植芝盛平は晩年木剣で天を突き、“これが合気道だ”と言っておられました。当時の私は何故あれが合気道なのだと内心疑問に思っておりましたが、50年も稽古を続けていると、ようやく「合気道とは剣の一振りと呼吸法により、宇宙と一体化する事を求める修行である」と心から感じる事が出来る様になってきました。

現在私は家内の出身地である和歌山の日高川町に1階を50畳の道場にした家を見て、週2回の自分の稽古に励んでおります。そしてもし誰かが一緒に稽古をしようと来てくれたなら、共に稽古を楽しみ、感謝しながら充実した時間を過ごします。この植芝盛平と出口大仁三郎が作り上げたこの合気道と云うものを少しでも深く理解しようと心からの汗を流します。

《最後に》

和歌山大学合気道部・女子合気道部の現役学生たちも、この素晴らしいクラブの伝統を守ると共に、さらに新しい伝統を築けるように日々励んでおります。

今年(2021年)の新入部員は コロナ禍にも拘わらず20人強であるとか。うれしい限りであります。

どうぞこれからも和歌山大学合気道部・女子合気道部を暖かく見守っていただきますようお願いいたします。



筆者 熊谷研二

川柳サークルの 現況について

代表 大18 北村修一

柑芦会の「川柳サークル」は、2020年7月にSNSのフェイスブックを使ったサークルとして発足しました。SNSを使った理由は、折からの新型コロナの蔓延により対面式で集まれないということもありましたが、それ以上に同好の士が全国各地から参加できるという利点があったためです。このサークルが使っているプライベートグループは非公開のサイトですので、サークル会員しか読んだり書き込んだりできないのですが、リクエストをいただいたらすぐに承認させていただけるようにしています。

現在は、東京、名古屋、大阪、奈良、神戸、和歌

山、九州からご参加いただいております、会員の総数は38名ですが、「読むだけ会員」もおられるため毎月の投稿者は8～11名くらいです。毎月の「句会」では、与えられた兼題について詠む「課題吟」2句と、各自が自由に詠む「自由吟」3句を各自が応募し、毎月末には応募作品（無記名）に対して全員が投票（互選）をして最優秀句や優秀句を選んで楽しんでいます。

全員がまだまだ初心者ばかりですから、20年8月からは指導者として、加古川川柳協会理事長、時の川柳社（関西の4結社の一つ）副主幹として広くご活躍中の岡田篤先生に選句と選評をお願いしています。

ボケ防止にも効果的です。この機会にあなたも参加されませんか。初心者歓迎です。興味をお持ちの方は、お気軽に下欄のQRコードからお申し込み、お問い合わせください。



■この1年間の秀句 (岡田 篤選)

かみさんに好きと言われた万愚節
枯葉舞う越路吹雪の歌に乗せ
悲しみと喜び混じる年曆
飲み過ぎを七草粥でいたわりぬ
帰宅してマスクはぎとり深呼吸

鼓均 (辻 均、神戸支部、大20)
博州 (平林義康、神戸支部、大20)
案山子 (川瀬和志、東海支部、大20)
博州 (平林義康、神戸支部、大20)
こじろう (福嶋隆裕、大阪支部、大33)

■この1年間の自信作 (自薦)

トランプ氏ジョーカー引いて退散し
コロナ禍で故郷は遙かVR
枯葉舞う越路吹雪の歌に乗せ
メモ帳のウラ見て涙一周忌
青ですよ歩きスマホの前の人
趣味だけじゃ時間埋まらぬ定年後
初めてのメガネ恥ずかしお年頃
k i n d l e で金を獲るぞとペンを持つ
憚らずどでかいくしゃみ放ちたい
W E B 飲み会酒代だけは節約し
マスク美人見なきやよかつたその素顔

爺メン (中田陽之、大阪支部、大15)
湘南 (西 雅幸、東京支部、大19)
博州 (平林義康、神戸支部、大20)
案山子 (川瀬和志、東海支部、大20)
鼓均 (辻 均、神戸支部、大20)
おそ松 (谷垣内和之、東京支部、大22)
鳥和 (小林 淳、東京支部、大30)
万年青年 (鈴木光信、東海支部、大31)
こじろう (福嶋隆裕、大阪支部、大33)
浩凡 (三和田浩次、神戸支部、大41)
修太郎 (北村修一、大阪支部、大18)

■月間優秀句からの特選句 (北村修一選)

カレンダーこの日のチェック何やった?
じいじいはいつ死ぬのかと孫が聞き
コロナ禍の花見は一方通行で
言えませんが言えませんがと口に出し
不安顔得意に変わる新学期

鼓均 (辻 均、神戸支部、大20)
万年青年 (鈴木光信、東海支部、大31)
おそ松 (谷垣内和之、東京支部、大22)
爺メン (中田陽之、大阪支部、大15)
案山子 (川瀬和志、東海支部、大20)

第11回 香村賞ビジネスプランコンテスト

ビジネスアイデア部門

優秀賞

◇プラン名／位置で重なるお出かけメモアプリ Dropy

準優秀賞・企業賞 紀陽情報システム賞

◇プラン名／お気に入りを持ち出そう! 紙袋のためのクリアカバー

奨励賞

◇プラン名／エキチャク〜「今から帰る」を自動でお知らせ〜

◇プラン名／TENKYUBE(サンキュー+定休日=テンキュービ)

起業実践部門

敢闘賞

◇プラン名／ファンコミュニティ型ゲストハウス

企業賞 紀陽情報システム賞・ラック賞

◇プラン名／稲村の火になろう



優秀賞

[プラン名]

位置で重なる お出かけメモアプリ Dropy

システム工学部4年／山内 響太

〈サービス概要〉

Z世代のお出かけにおける社会行動(デジタル化された行きたい場所リストの作成/共有=ストック)におけるニーズを背景に、位置情報ソーシャルブックマークを提供します。行きたい場所がとにかく簡単に共有できること・お出かけ先がすぐ決まること・お出かけ機会の増大が特徴です。

〈ビジネスモデル〉

未来と位置でターゲットできる唯一の送客ソリューションとして、店舗集客型デジタル広告を実施します。同市場は国内外でも近年大きく成長を

遂げており、また国内外において類似サービスでの上場事例あり。

〈コロナ指向性〉

僕が代表として、大阪大学・京都産業大学・東北大学・近畿大学・Orange Coast College-Business Admissions Major・Santa Monica Collegeらの学生と共にアプリの開発を進めています。また、国内上場企業の創業者など外部の人たちも会社に参画しました。すでに、弊社運用SNSの合計フォロワー数は7万人を超えており、ユーザー獲得の仕組みも準備しています。

〈販路提案〉

最終消費者だけでなく、ノベルティとして使ってもらい銀行や金融教育を行う団体、店頭に置いてもらう小売企業へもアプローチする。その際、新聞

やテレビなどのメディアに取り上げてもらうパブリシティを行い、認知度拡大を狙う。実際に、わかやま新報と毎日新聞社では記事化に成功している。



[プラン名]

お気に入りの持ち出そう! 紙袋のためのクリアカバー

経済学部3年／高橋 菜々子、朝倉 結香子、殷 思懿

〈背景〉

若い女性の間では紙袋をサブバッグとして持つことがブームに。ハイブランドの企業が紙袋風バッグを製造するなど、紙袋は使い捨ての袋ではなくおしゃれアイテムとして広まりつつある。

が変わって二度と手に入らない紙袋はバッグとして使わず大切に保管していることも判明。課題を気にせずバッグとしての使い方を気軽に楽しんで欲しいという思いで生まれた商品である。

〈ユーザーニーズ〉

紙袋をバッグとして使う10代から20代の女性200名にアンケート調査を実施。素材が紙でできているため「雨の日に使えないこと」や「重いものを入れた時に底の強度が心配になる」などの課題を発見した。課題があるため、ハイブランドやデザイン

〈社会的価値〉

同じブランドの紙袋を長く、広いシーンで消費者に使ってもらえるため、企業の宣伝効果がより高まる。ゴミ削減のために紙袋を有料にする社会の流れに沿って、再利用を促すという点で環境にも配慮している。





[プラン名] エキチャク〜「今から帰る」を 自動でお知らせ〜

経済学部3年 / 寺田 修造、橋本 健太、溝口 裕

〈商品概要〉

コンセプト: 帰る連絡で起こる
些細なトラブルを解決

重要であるにもかかわらず、帰る側はそこまで
思っていない、この認識のギャップに我々のチーム
は目をつけました。

〈背景〉

皆さん、家に帰る連絡をうっかり忘れて家族で小
さなトラブルが起きた経験はありませんか? 実際に
私たちが実施したアンケート調査では8割の家で
待つ主婦の方が帰る連絡が欲しいと答えたこと
に対し、外に出ることの多い学生のおよそ6割が
帰る連絡をいちいちすることは面倒だと考えてい
ることがわかりました。家で待つ側は食事や家事
の目処を立てるために何時に帰るかという情報は

〈内容〉

この認識のギャップを埋めるために、連絡をG P S
と連動することで解決しようと考えました。例えば、
最寄り駅を帰宅連絡を入れるポイントとして設定し
ておき、G P Sでその地点を通過すると相手に自
動でメッセージを送信する仕組みになっています。
これによって、帰る側は連絡する手間が省け、家
で待つ側は確実に何時に帰るかがわかり、連絡し
て欲しいというニーズを満たすことが狙いです。



奨励賞

[プラン名]

TENKYUBE (サンキュー+定休日=テンキュービ)

システム工学部3年 / 川田 祐暉

〈サービス内容〉

飲食店の定休日を有効活用するため、間貸し店舗とこれから飲食店を開業しようと思っている人や、学生をマッチングし、レンターに対しては企画立案から広告までの間借りビジネスを総合的にサポートするサービスです。

〈間貸し店舗について〉

定休日を有するチェーン展開していない店舗を想定しています。

業務内容に関しては店舗オーナーの貸出しに対する意向やコンセプト、周辺地域の顧客層のヒアリングし利用料の適正価格を算出することが主な業務内容です。



敢闘賞

[プラン名]

ファンコミュニティ型ゲストハウス

観光学部2年 / 井上 佑真

今回のプラン「ファンコミュニティ型ゲストハウス」は、静岡県沼津市を舞台としたテレビアニメ「ラブライブ!サンシャイン!!」のファンが集う宿泊施設の設立を目的としたものである。沼津市には日本国内各地からはもちろんアジアを中心とした全世界からファンが集まっており、地元への経済効果は少なくとも50億円を超えるとされている。そうした作品の影響で全国から多くのファンが集まるようになった

沼津市だが、「いかに作品のファンから沼津市のファンになってもらうか」という課題を抱え、ファンは「地域との繋がりを作りたい!」という思いを持っている。これらの課題をファンと地域が繋がるゲストハウスを設け、「ファンに地域に入るきっかけ作りつつ地域の魅力に触れてもらう」ことで解決へ導くことができるのがこのプランである。



[プラン名]
稲村の火になろう

システム工学部3年 / 田中 桂央

〈商品概要〉

コンセプト:津波から多くの命を救った
「稲村の火」のように、
災害時に活躍できるようになる。

〈内容〉

提案プラン「稲村の火になろう」は、地域の住民・自治体・企業の3者のつながりを強くすることで災害に強い地域にするスマホアプリを用いたシステムである。地域防災での課題とされる、住民の防災意識の低さ、高齢化、施設の備蓄率の低さを

解決する。避難所や備蓄の規模を表すアプリ内の稲ポイントによって、住民の避難場所・避難経路の把握を促す。また、稲ポイントを集めることで受けられる防災検定に合格すると防災マスターとして腕章が与えられ、災害時に知識がある人の目印となる。これによって、地域住民の避難・備蓄されている場所や経路の把握、高齢者の活躍の場ができる、自治体の防災啓発運動の効率化、企業の防災への協力の可視化によるイメージアップが見込まれる。このシステムのサイクルが継続されることで、災害に強い地域になる。



米本合同税理士法人

会計 税務 監査 組織再編 事業承継 M&A 事業再生その他コンサル

本部事務所	大阪府岸和田市別所町 2 丁目 17-1	TEL 072-439-0300
大阪事務所	大阪市北区大深町 3 番 1 号 グランフロント大阪 タワー B14F	TEL 06-6375-7125
岡山事務所	岡山市北区出石町 2 丁目 4-4	TEL 086-235-9118
沖縄事務所	沖縄県浦添市牧港 5 丁目 5-5	TEL 098-879-4446

代表社員 肥 田 直 樹 (大 6)
吉 田 謙 司 (大 4 6 ・ 院 4 5)

公認会計士 4 名 税理士 2 1 名 職員総数 8 5 名

現役クラブ紹介

硬式野球部

教育学部 71 期 副務 則兼 勇斗

弊部は1924年（大正13年）に教育学部の前身・和歌山師範、経済学部の前身・和歌山高商時代に創部し、現在所属している近畿学生野球連盟には1950年（昭和25年）秋に加盟した。加盟当初はI部リーグに属していたが、1951年に（昭和26年）にII部制になり、I部リーグとII部リーグを行ったり来たりする苦しい時期もあった。1998年（平成10年）には、連盟50周年記念事業に合わせてOB会（現和球会）が設立され、多大なご支援をしてくださっています。

2008年（平成20年）にはIII部リーグ降格も経験しましたが、当時の小田章学長のご尽力により大原弘監督を招聘していただき、2012年（平成24年）にはI部リーグ復帰を果たした。2017年（平成29年）春の全日本大学野球選手権大会出場を機に「リーグ優勝」という目標が「日本一」へと変わり始める。その後2018年秋季リーグ戦で2度目のリーグ優勝を達成するも、神宮出場は叶わなかった。その後2019年春季リーグ戦から、新型コロナウイルスによるリーグ戦中止をはさみ、3季連続2位という悔しい結果に。その雪辱を果たすべく、安田主将（駒澤大学付属

苫小牧高校・4回生）を中心に迎えた2021年春季リーグ戦。新型コロナウイルスの影響により中断もあったが近畿学生野球連盟の代表を決定するために、トーナメント方式で試合を実施。初戦は神戸大学に5-3で勝利、続く決勝戦では阪南大学に7-4で勝利。第70回全日本大学野球選手権大会への出場を決めた。初戦の九州産業大学戦は延長タイブレークの10回裏に柏田（和歌山商業高校・3回生）のサヨナラタイムリーで4-3の劇的なサヨナラ勝利を収め、続く2回戦、「陸の王者」慶応義塾大学戦は攻撃陣がプレッシャーを与え、根気強い守りを見せたが惜しくも4-2で敗北。目標としていた日本一へは届かなかった。秋季リーグでは、果たせなかった「日本一」を目指しもう一度神宮での姿を皆さんにお見せしたい。

最後になりましたが柑芦会の皆様この度は多大なるご支援をいただきありがとうございました。和歌山大学OB・OGの皆様、和歌山大学硬式野球部を応援して下さる皆様、いつも多大なるご支援、あたたかいご声援ありがとうございます。皆様のご支援、ご声援なしには日本一を達成することはできません。今後とも和歌山大学硬式野球部にご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



2021 年代表決定戦決勝で阪南大学に勝利、神宮出場決定後マウンドに集まる選手たち



第 70 回全日本大学野球選手権大会 1 回戦九州産業大学戦、サヨナラ勝利を決めた瞬間

剣道部

システム工学部 24期 主務 吉田 歩

我々剣道部は現在、男子13名、女子7名の計20名で月曜、火曜、木曜、金曜、土曜の週5日で活動をしています。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により、活動ができず、大会も中止となってしまいました。その悔しさを糧に、今年度は部員全員で一生懸命稽古に取り組み、2021年6月に開催されました 関西学生剣道選手権大会では、男子の小幡侑矢（経済学部3回生）がベスト16に入り、

全日本学生剣道選手権大会の出場権を獲得しました。団体戦の戦績におきましては、近年男子はあと一歩という所で全日本学生剣道大会の出場枠を逃して悔しい思いが続いております。今年は女子も人数が揃い、団体戦に出場できるようになりました。

団体戦でも男女ともに全日本学生剣道大会の出場枠を勝ち取るため、OB、OGの方々の指導を活かしながら日々の稽古に励んでいます。

最後になりましたが、和歌山大学体育会剣道部へのご支援、並びにご指導いただきありがとうございます。



フライングディスク部

経済学部 71 期 主将 細川 晋幹

アルティメットとは、走る・投げる・跳ぶといった様々な能力が要求されるスポーツです。近年では、オリンピック新種目入りが期待されたり、体育の授業で実施する学校が増えたりなど、競技自体の認知度も上がっています。バスケットボールとアメリカンフットボールを合わせたような競技で、味方同士でフライングディスクを繋ぎ、エンドゾーンでディスクをキャッ

チすれば得点となり、得点で勝敗が決まる競技です。私たちはそんなアルティメットを行なっている和歌山大学の部活動団体であり、過去には大学日本一を果たした実績もあります。先輩の中には、世代別の日本代表として、世界を相手に戦っている選手もいます。活動曜日と時間は、月・木・土曜の週3回で月・木曜は4限後～21時、土曜は10:00～17:00頃までです。練習場所は、主に大学のグラウンドや河川敷で活動をしています。今後ともフライングディスク部をよろしくお願いたします。



STEP

経済学部 71 期 部長 佐藤 蓮

私たちSTEPは、現在男子6名、女子3名の計9名で活動しています。知的障がいを持った子どもたちが伸び伸びと遊ぶことができる場をつくり、子どもたちの生活がより良いものになるよう日々努めています。月1回の子ども会を開催するため、主に火・金曜日に部会を開き、企画や作成を行っております。この部活は教育学部の特

別支援というイメージがありますが、経済学部や観光学部の学生も多くいます。

昨年はコロナウイルスの影響で活動することができませんでしたが、今年は1回でも多く子ども会を開催できるよう試行錯誤し、子どもたちの笑顔をつくることのできるよう活動していきます。最後になりましたが、OB・OGの皆様の温かいご支援、ご協力に厚く御礼申し上げます。部員一同これからも邁進してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。



「和歌山大学基金の現状」

和歌山大学基金室 大23 西本 正人

私は、平成 30 (2018)年 4 月から和歌山大学において特任助教として「和歌山大学基金」の仕事を担当させていただいています。

柑芦会の皆様には、日頃より母校和歌山大学の発展のためにご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

和歌山大学では、学生への支援、教育研究の質の向上及び社会・地域貢献活動の充実を図ることを目的として、平成 21 年に大学基金を設置いたしました。

その事業内容は、

- ①大学全体の事業を支援するための「大学活動支援基金」
 - ②大学が用途を特定したプロジェクトを支援するための「特定目的支援基金」
(災害支援・グローバル人材育成・教育振興支援・研究支援・地方創生など)
 - ③平成 28 (2016)年度から設けられた「修学支援事業基金」
 - ④令和 2 年(2020)年度から設けられた「研究等支援事業基金」
- です。

令和 2 (2020)年度の寄付実績は、568 件、5,459 万円でした。このうち 537 件、4,906 万円が、創立 70 周年記念事業基金への寄付でした。柑芦会からは、このうち 430 件、3,874 万円を超えるご寄付を賜りました。コロナ禍のなかで、同窓生の方々も大

変な時期に基金にご協力をいただきまして、あらためて柑芦会の皆様方に深く感謝申し上げます。

令和 2 年度の大学の活動としましては、災害(ボランティア派遣)支援、グローバル人材を育成する支援、研究活動等に対する支援、学生の奨学に対する支援、課外活動が円滑に行うための支援、学生の主体性を伸ばすための本学の特徴的な教育である学習自主演習(クリエ)への支援、地方創生にかかる活動への支援、教育振興にかかる支援、等の事業を実施致しました。

コロナウイルス感染症対策として、昨年 5 月、家計急変により修学を継続することが経済的に困難になった学生に対し、「本学独自の支援措置」として、大学活動支援基金から 500 万円を充当させて頂き、申請からわずかな期間で速やかに学生へ給付することができました。さらに昨年 10 月、入国制限の影響を受けた留学生に対し、経済的負担を軽減するために、グローバル人材育成から 300 万円を給付することができました。

和歌山大学は、学生、地域・社会と価値を共創する大学を目指しています。

大学活動をさらに発展的に展開させることを目指し、柑芦会の皆様方には、「和歌山大学基金」に、引き続きご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

「和歌山大学創立70周年記念事業基金について」

和歌山大学基金室 大23 西本 正人

和歌山大学では、2019年に創立70周年を迎え、「そしてここから」をスローガンに「高松地区松下会館再生事業」と「グラウンド改修事業」の二つからなる「70周年記念事業基金」を立ち上げました。

令和元年から令和3年3月末の基金の募集期間中、柑芦会会員の皆様方をはじめ多くの皆様のご支援をいただきまして、ありがとうございました。3月末日をもって募集を終了しました。

最終募金総額は、9千674万3千円となりました。誠にありがとうございました。

内、柑芦会関係からは4千3百万円のご寄付をいただきました。

この場をお借りして、柑芦会会員の皆様に、重ねて厚く御礼申し上げます。

当寄付金につきまして、大学活動支援基金7千万円や、大学の財源を充当し、上記の事業に活用させていただきます。

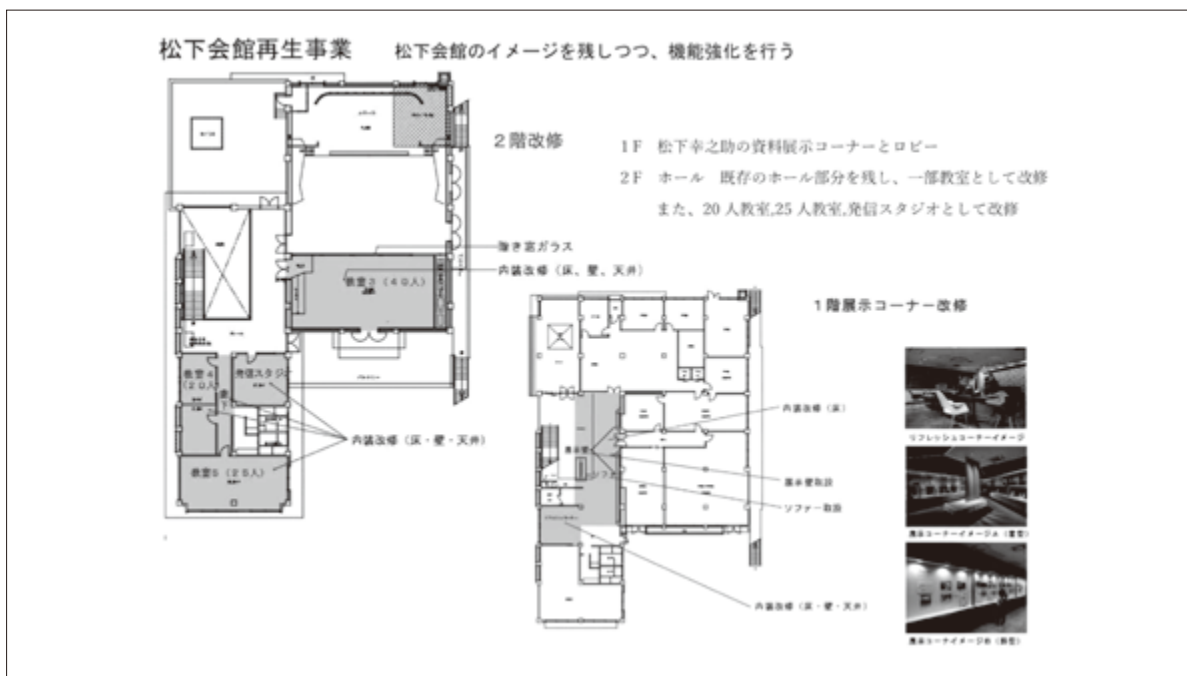
この「創立70周年記念事業」が、次の時代につながるよう和歌山大学を「REBOOT」し、教育・研究・地域社会との連携の力を示す契機として邁進することを確信いたしました。

最後となりましたが、柑芦会の更なるご発展と会員皆様の益々のご健勝・ご活躍をお祈り申し上げます。

【進捗状況】

松下会館改修(下記図面のとおり)

令和3年度着工 令和4年度供用開始(予定)
グラウンド改修事業
令和3年度実施計画 以後年度着工



新刊書紹介

◆社会起点発想のコミュニティ創生

—NEXCO中日本における新たな地域連携の仕組みと人財育成—

著者:厨子直之

編集:一般社団法人日本能率協会KAIKA研究所

発行:good.book

発行日:2020年6月12日

価格:880円

<https://kaikaproject.net/report/#books>

◆온천마을에서 마을경영을 배우다 유후인의 마을 브랜딩 전략

『由布院モデル 地域特性を活かしたイノベーションによる観光戦略』

(学芸出版社:2019年3月刊行)の韓国語翻訳

著者:大澤健・米田誠司

発行:도서출판 미세움

発行日:2020年10月

価格:15,000ウォン

<https://book.gakugei-pub.co.jp/book-yufuin-translate-korean/>

<http://www.kyobobook.co.kr/product/detailViewKor.laf?barcode=9791188602278>

◆新型コロナとまちづくり リスク管理型エリアマネジメント戦略

著者:足立基浩

発行:晃洋書房

発行日:2021年2月10日

価格:2,090円

<http://www.koyoshobo.co.jp/book/b555305.html>

◆商業簿記・会計学 I 講義ノート

著者:山田恵一

発行:デザインエッグ社

発行日:2021年3月31日

価格:2,970円

和歌山大学 役員及び事務局紹介(2021年7月現在)

学長	伊東 千尋	
理事(教学・入試)・副学長	永井 邦彦	
理事(研究・産学連携)・副学長	恵下 隆	
理事(財務)・副学長	中川 敦之	
理事(企画・総務・施設)・副学長	松谷 治	
理事(社会連携)・副学長	山本 進三	経済学部39期生
企画課長	橋本 元樹	経済学部48期生
総務課長	南方 伸之	経済学部37期生
参事役(基金事務室長)	青木 稔	
財務課長	猪原 豊之	
施設整備課長	藤原 洋二	
研究・社会連携課長	森中 崇文	
学務課長	岡野 辰巳	
参事役(学部支援室総括室長)	長谷 浩	経済学部36期生
入試課長	山田 純	
学生支援課長	脇田 淳一	
国際交流課長	中元 一恵	
学術情報課長	篠栗 伸一	

経済学部執行部

学部長・研究科長	教授	芦田 昌也
評議員	教授	金澤 孝彰
評議員	教授	辻本 勝久
副学部長（教務委員長）	教授	柳 到亨
副学部長（入試委員長）	教授	金川 めぐみ
副学部長（学生委員長）	教授	長廣 利崇
学部長補佐	教授	藤永 博
学部長補佐	教授	阿部 秀二郎
学部長補佐	准教授	竹内 哲治

◆経済学部教職員の異動

□ 教 員

停年退職（3月31日付）	教授	クパニ・ルンビディ
	教授	荒井 信幸
昇任（4月1日付）	教授	阿部 秀二郎
	教授	金川 めぐみ
辞職（3月31日付）	准教授	太田 勝憲
	准教授	築田 優

□ 職 員

（4月1日付）	学部支援室観光学部分室長参事役 （学部支援室総括室長）	長谷 浩
（4月1日付）	学部支援室経済学部分室長	高橋 真紀子

令和3年度和歌山大学入学者選拔出身学校 都道府県別選抜状況等一覧（経済学部）

経済学部 令和3年4月1日

区分	志願者			受験者			合格者			入学者			
	府県	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1	北海道	5		5	3		3	2		2	2		2
2	青森県												
3	岩手県	1		1	1		1	1		1	1		1
4	宮城県	2		2	1		1	1		1			
5	秋田県		1	1		1	1		1	1		1	1
6	山形県	1		1									
7	福島県	1		1									
8	茨城県	1	1	2	1	1	2						
9	栃木県	1		1									
10	群馬県	1		1	1		1						
11	埼玉県	3	1	4	1		1						
12	千葉県	1	2	3		2	2		1	1		1	1
13	東京都	4	3	7	1		1	1		1			
14	神奈川県	5		5	3		3	1		1	1		1
15	新潟県	2		2	1		1	1		1	1		1
16	富山県	1	1	2		1	1						
17	石川県	7	4	11	4	1	5	1		1	1		1
18	福井県	8	1	9	5		5	1		1	1		1
19	山梨県	4	1	5	2	1	3		1	1		1	1
20	長野県	6		6	3		3						
21	岐阜県	8	2	10	5	1	6						
22	静岡県	7	2	9	5		5	1		1			
23	愛知県	29	9	38	19	4	23	5	2	7	4	2	6
24	三重県	17	4	21	10	2	12	4	2	6	4	2	6
25	滋賀県	15	6	21	11	3	14	5	1	6	4		4
26	京都府	21	6	27	13	4	17	1		1	1		1
27	大阪府	489	237	726	308	127	435	94	47	141	77	40	117
28	兵庫県	70	32	102	49	21	70	24	10	34	20	8	28
29	奈良県	27	21	48	13	12	25	7	6	13	6	5	11
30	和歌山県	276	178	454	199	116	315	67	35	102	64	35	99
31	鳥取県	7	1	8	6	1	7	2	1	3	1		1
32	島根県	3	1	4		1	1						
33	岡山県	13	6	19	9	3	12	3		3	3		3
34	広島県	16	8	24	10	4	14	3	2	5	3	2	5
35	山口県	3	2	5	2	2	4						

	区分	志願者			受験者			合格者			入学者		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
36	徳島県	7	3	10	5	2	7	3	1	4	3	1	4
37	香川県	10		10	7		7	3		3	3		3
38	愛媛県	4	1	5		1	1						
39	高知県	5	6	11	2	4	6	1	1	2	1	1	2
40	福岡県	3	2	5	2	1	3		1	1		1	1
41	佐賀県	2		2	1		1	1		1	1		1
42	長崎県	3	1	4	1		1						
43	熊本県	1	1	2	1	1	2						
44	大分県	3	2	5	2	2	4		1	1		1	1
45	宮崎県	4	2	6	4	2	6						
46	鹿児島県	1		1	1		1	1		1	1		1
47	沖縄県	2	1	3	1		1						
51	高校卒業程度 認定試験・大学 入学資格検定	3		3	2		2	1		1			
52	外国の学校等	1		1	1		1	1		1	1		1
	合計	1104	549	1653	716	321	1037	236	113	349	204	101	305

※一般選抜における大学入学共通テストの受験科目不足等による出願無資格者は欠席者数に含む。

※学校推薦型選抜における大学入学共通テストの受験科目不足等による出願無資格者で受験した者は受験者数に含む。



今年の卒業生の就職状況

◆農業・林業=1名

株式会社ふる一つふあーむ
わかやま

◆建設業=10名

セキスイハイム近畿株式会社
株式会社ヴィス
株式会社きんでん
株式会社ヤマダホームズ
株式会社一条工務店
積水ハウス株式会社
東亜建設工業株式会社
東洋建設株式会社
不二建設株式会社

◆製造業=43名

マルハニチロ株式会社
ヤマサ醤油株式会社
株式会社神戸屋
株式会社サイネックス
凸版印刷株式会社
日新シール工業株式会社
エーザイ株式会社
クラシエホームプロダクツ
株式会社
ゼリア新薬工業株式会社
ユニチカ株式会社
ライディック株式会社
株式会社クボタケミックス
株式会社ディーエイチシー
紀和化学工業株式会社
三ツ星ベルト株式会社
大日本除虫菊株式会社
YKKAP株式会社
イハラサイエンス株式会社
ジェイワイテックス
株式会社
株式会社いけうち
株式会社岡崎製作所
合同製鐵株式会社
東京機材工業株式会社

高田機工株式会社
ヤマザキマザック株式会社
株式会社デンソーウェーブ
株式会社マキタ
三菱重工冷熱株式会社
株式会社ディスコ
日本圧着端子製造株式会社
アイリスオーヤマ株式会社
エレコム株式会社
タイガー魔法瓶株式会社
パトライト株式会社
日本電気株式会社
菱岡工業株式会社
クリナップ株式会社
株式会社オーエ
株式会社サンコー
株式会社ハウステック
大王製紙株式会社

◆情報通信業=37名

DXCテクノロジー・ジャパン
株式会社
KSR株式会社
SCSK株式会社
TISソリューションリンク
株式会社
アクティス・ジャパン
株式会社
インフォテックス株式会社
コネクシオ株式会社
サイバーワークス株式会社
システムズ・デザイン
株式会社
ソフトブレン株式会社
ユニアデックス株式会社
株式会社DTS
株式会社JFR情報センター
株式会社NSD
株式会社NSソリューションズ
関西

株式会社アイティシステム
株式会社アスタリスク
株式会社いい生活
株式会社オービック
株式会社オービックビジネス
コンサルタント
株式会社サイバーリンクス
株式会社セントラル情報
サービス
株式会社ニッセイコム
株式会社ビジネスブレイン
太田昭和
株式会社プラザクリエイト本社
株式会社プロシッパ
株式会社佐渡テレビジョン
株式会社情報技術社
紀陽情報システム株式会社
中央コンピューター株式会社
日本システム技術株式会社

◆運輸業・郵便業=6名

アートバンライン株式会社
株式会社三協運輸サービス
株式会社住友倉庫
第一貨物株式会社
朝日航洋株式会社
日本通運株式会社

◆卸売業・小売業=46名

JFE商事株式会社
スタイレム株式会社
タケヤテック株式会社
ミツワ電機株式会社
伊藤忠食品株式会社
稲畑産業株式会社
株式会社ケーエスケー
株式会社サンゲツ
株式会社山善
株式会社酒直
株式会社大黒
株式会社日伝

- 吉田鋼業株式会社
江綿株式会社
佐藤商事株式会社
阪和興業株式会社
三菱マテリアルトレーディング株式会社
三陽物産株式会社
上原成商事株式会社
竹内化学株式会社
日本アルコン株式会社
日本出版販売株式会社
林株式会社
和歌山ゼロックス株式会社
イオンビッグ株式会社
イオンリテール株式会社
サイバール株式会社
わかやま市民生活協同組合
株式会社オークワ
株式会社クスリのアオキ
株式会社サンワカンパニー
株式会社チャーム
株式会社パル
株式会社ファミリーマート
株式会社フジデン
株式会社プラス
株式会社ワールドストア
パートナーズ
株式会社三城
株式会社西松屋チェーン
日本マクドナルド株式会社
兵庫スバル自動車株式会社
和歌山日産自動車株式会社
- ◆**金融業・保険業=48名**
きのくに信用金庫
マツダクレジット株式会社
みずほ証券株式会社
株式会社アプラス
株式会社ジャックス
株式会社みずほフィナン
- シャルグループ
株式会社りそな銀行
株式会社関西みらい銀行
株式会社紀陽銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社大垣共立銀行
株式会社鳥取銀行
株式会社徳島大正銀行
三井住友信託銀行株式会社
大阪厚生信用金庫
大阪信用金庫
尼崎信用金庫
半田信用金庫
兵庫県信用組合
和歌山県信用農業協同組合
連合会
和歌山県信用保証協会
メットライフ生命保険
株式会社
コアラ保険パートナーズ
株式会社
日新火災海上保険株式会社
全国共済農業協同組合
連合会和歌山県本部
第一生命保険株式会社
日本生命保険相互会社
明治安田生命保険相互会社
- ◆**不動産業・物品賃貸業=10名**
エスリード建物管理
株式会社
リバー産業株式会社
株式会社フェニックス管理
株式会社プレサンス住販
株式会社ライジング
コーポレーション
阪急阪神不動産株式会社
日本ハウズイング株式会社
Fレンタカー大阪株式会社
オリックス自動車株式会社
- ◆**学術研究・専門・技術サービス業=7名**
ジーク株式会社
株式会社TSP
株式会社オフィスシャツ
株式会社片平エンジニア
リングインターナショナル
税理士法人川邑・中
合同会計事務所
税理士法人北原会計事務所
長田会計事務所
- ◆**宿泊業・飲食サービス業=7名**
Noahs ark company
ジェイエフエフシステムズ
株式会社
株式会社ドミノ・ピザ
ジャパン
株式会社温故知新
株式会社阪急阪神ホテルズ
株式会社天国
古都里 志高庵
- ◆**生活関連サービス業・娯楽業=6名**
株式会社インターレイズ
株式会社JTB
株式会社ダスキン
株式会社ラウンドワン
株式会社広島東洋カーブ
株式会社長野県民球団
- ◆**教育・学習支援業=5名**
公立大学法人大阪
株式会社BlueSkyFC
株式会社Jサポート
株式会社臨海
新教育総合研究会株式会社
- ◆**医療・福祉=3名**
医療法人 裕紫会 中谷病院
グッドタイムリビング
株式会社

◆**複合サービス事業=7名**
 全国健康保険協会
 わかやま農業協同組合
 一般社団法人日本自動車
 連盟
 紀南農業協同組合
 大阪北部農業協同組合
 日本郵便株式会社
 和歌山県農業協同組合
 連合会

◆**サービス業=17名**
 DSP株式会社
 WDB株式会社
 ソウルドアウト株式会社
 テス・エンジニアリング
 株式会社
 ミカタ株式会社
 株式会社ウィルテック
 株式会社オプティマイザー
 株式会社キャリスタ
 株式会社サイリス
 株式会社ワールドインテック
 株式会社大阪ガス
 ファシリティーズ
 関西ビジネスインフォメー
 ション株式会社

西日本高速道路サービス・
 ホールディングス株式会社
 東京ガスパイプネットワーク
 株式会社
 日研トータルソーシング
 株式会社
 日本年金機構

◆**公務=39名**
 厚生労働省 和歌山労働局
 厚生労働省 近畿厚生局麻薬
 取締部
 国税庁 大阪国税局
 国土交通省中国運輸局
 神戸家庭裁判所 姫路支部
 財務省 大阪税関
 大阪出入国在留管理局
 防衛省 航空自衛隊
 防衛省 陸上自衛隊
 大阪府警察本部
 大津市役所
 忠岡町役場
 紀の川市役所
 紀美野町役場
 京都府庁
 橋本市役所
 御坊市役所

香川県庁
 守山市役所
 洲本市役所
 大阪市役所
 長崎県庁
 兵庫県庁
 和歌山県警察本部
 和歌山県庁
 和歌山市消防局
 和歌山市役所
 ◆**総計=292名**

令和2年度就職状況調査 内定率=97.7% (292/299)

進路状況

項目	就職者		進学者		自営業		その他		合計(卒業者数)		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
経済学部	163	128	6	8	1	0	12	7	182	143	325
	291(89.5%)		14(4.3%)		1(0.3%)		19(5.8%)				

※令和3年5月27日現在

現在の就職状況について

経済学部キャリア教育担当 大 46 本庄 麻美子

2018年10月、経団連(日本経済団体連合会)会長の定例記者会見において、「2021年度以降に入社する学生を対象とした採用選考に関する指針を策定しない」と発表しました。以降、政府は、日本経済団体連合会による「採用選考に関する指針」の廃止方針、就職問題懇談会の「座長声明」等を踏まえ、学生が学修時間を確保しながら安心して就職活動に取り組むことができるよう検討を行うため、就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議を開催し、年度ごとに「就職・採用活動日程に関する考え方」を示しています。2022年卒の就活日程についても、現行の2021年卒のスケジュール(3年3月広報活動解禁、4年6月選考活動解禁)を維持する方針が決定していました。

和歌山大学主催業界・企業研究セミナー(12月)、学内合同企業説明会(3月)はWeb会議システムRemoを利用し、オンラインですべて実施されました。経済学部キャリア支援室の相談業務については、緊急事態宣言が発令されていなければ、オンライン面談か対面面談か希望を受け付け柔軟に対応

しています。昨年度は年間2,400件近く相談がありました。

70期(2022年3月卒業予定者)を対象とした就職活動は、以前から、2021年夏オリンピック開催の影響を受け早期化する、といわれていました。そのため、3年生夏～秋冬インターンシップに積極的に参加し早々から業界・仕事研究を行っていた学生の中には「早期選考」にのり早々に内定を得た人もいました。また、昨年に引き続きオンラインでの選考がメインとなり、最終面接のみ対面で実施する企業が多く見受けられました。一方で、そのような環境下もあり、なかなか企業理解が進まず、進路決定ができない学生が全体的に増えたのも今年度の特徴です。内定は複数持っている、でも就活は続けたい、という学生が一定数います。就職活動をやり切った!という実感があまりないからかも知れません。現在は、公務員2次試験対策が佳境となっています。納得のいく進路決定にはやや時間がかかります。引き続き、学生に寄り添った支援を行ってきたいと思います。

こんな学生が欲しい! (企業の本音)

大 22 島田 新市

私は最近会社勤めを卒業しました。22歳から68歳まで、四国電力(株)、四国計測工業(株)、(株)四電工と3社で勤務、そのほとんどを人事労務部門で過ごし、その46年間で今振り返り、気づいたことをお話しさせていただきます。これから仕事に就かれる皆さん方の参考になれば幸いです。

まず、上司が褒めたくなる仕事の仕方は何か、やはり指示に対してきちんと答えを出すこと、これは当然です。

しかし、いくら内容が良くても期限を過ぎたらだめ、100点の仕事で1週間かかるより、80点で良いから3日で仕上げる方が大抵は評価が上です。企業は競争しています、スピードも勝つため生き残るための重要な要素だからです。

でも、実はもっと大事な評価ポイントがあります。それは「誠意」です。

上司は、内容、スピードも見えますが、何より部下が誠意をもって仕事に取り組んでいるか、ここを最も重視しています。

それは何故か? 決して単なる精神論ではありません。つまり、会社に入った1年や2年ではしょせん大した戦力にはなりません。だから、上司にとっては、新入社員の現在の仕事の出来が多少良いか悪いかよりも、むしろ、この先10年、20年、30年でどこまで伸びてくれるか、そういう目で見ています。それを左右するのが、どれだけ「誠心誠意」仕事に取り組んでいるかということなのです。

誠意を持って仕事に取り組む人は、成功しても慢心することなく、失敗しても周りのせいにするこ

なく絶えず努力を続けます。これが将来どれだけ伸びるかを決定づけます。

(企業が欲しい人材とは)

採用面接において学生さんから企業への質問として最も多いのが、「御社が望む人材像は?」と言うことです。

学生の本分は勉強であることはその通りですが、それでも、学業、専門能力、資格は百点満点のうち50点、残りは、やる気、元気、我慢強さ、謙虚、粘り強さ、協調性、親切、誠意、など所謂マインドの部分が占めています。

決して勉強しなくて良いと言うことではありません。しかし、勉強が抜群であってもマインドの部分が弱いと企業は恐らく採用しません。

企業にとって、人材は最大の財産であり、また重要な投資(一人雇うと億円単位のコスト)でもあります。従って、採用に当たっては、会社もその学生の今の力量ではなく今後長期に亘ってどれだけ仕事ができるかと言う事が選考基準となります。

企業が採用に当たって面接点を重視するのは、そう言う理由です。学業、資格などは書類だけでもある程度は分かるのですが、マインドは受け応えの雰囲気やちょっとした言葉の端々から感じ取っていると言うことです。

会社は採用面接において学生さんが答える内容の良し悪しよりは、人間性をみていると言っても良いかと思います。これから就職活動をされる皆さん方は、正直に素を出して「誠意」と「熱意」でぶつかる気持ちで臨むことをお勧めします。

技術でひらく 新たな可能性

 旭精機工業株式会社

取締役会長 山口 央 (大24)

主要製品：精密金属加工品・小口径銃弾・プレス機械・ばね機械・
航空機部品・自動機・専用機・搬送装置

〒488-8655

愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1

TEL：0561-52-5300

FAX：0561-53-2419

URL：<http://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>

2021年度寄付講義「現代経営実践論」の中止と リモート配信「就活学生向け応援メッセージ」の開催報告について

学生支援委員会 委員長 大 23 西本 正人

現役学生の将来の進路検討や「職業観の醸成」を目的として、平成16年から開設され、柑芦会から大学への寄付講義である「現代経営実践論」は、昨年度で17年目を迎えるところでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、残念ながら中止になりました。

これまでのような対面授業での寄付講義ができないため、2020（令和2）年度は、リモート配信「コロナ時代の就活学生向けの応援メッセージ」と題して、8月から柑芦会のメンバーに向けて講師の公募を開始しました。講義内容は、所属の業界、企業の現況、ご自身の仕事の内容、社会や企業の求める人物像、応援メッセージなどをパワーポイント資料にまとめていただき、音声を付けて、10分間程度の講義にして提出してもらい、これを大学が、現役の3年生向けにオンデマンド授業として、10月から翌年の3月末まで配信して、この間何回でも見られるような授業として実施しました。

おかげさまで、講師の公募に対して、10月までに4名の柑芦会OBから「応援メッセージ」の提出があり、その後3月までに1名の方が追加で参加され、5名の方々の応援メッセージが授業として配信されました。

講師として素晴らしい「応援メッセージ」を提出されたOBの皆さんをご紹介します。

- ①大学・7期 岩井 定敬 様（元丸紅）
- ②大学・55期 中川 健太 様（元南海電鉄）
- ③大学・55期 來住 貴宏 様（㈱電通）
- ④大学・61期 倉田 優美 様（スズキ㈱）
- ⑤大学・シス工3期 秦 裕史 様

（BB 労務管理ソリューションズ 代表）

お忙しいところ、「応援メッセージ」を作成していただき、誠にありがとうございました。

2021年度についても、新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中で、寄付講義の対面授業ができない状況ですので、リモート配信「コロナ時代の就活学生向けの応援メッセージ」と題して、柑芦会のOBに向けて講師の公募を行いますので、OBの皆様方、ご自分のご経験などについて、就活学生向けの応援メッセージとして、ご応募くださいますようよろしくお願いいたします。

柑芦会としても、今後とも現役学生の就職支援をより充実させていきたいと考えております。

リモート配信 「コロナ時代の就活学生向けの応援メッセージ」 《 2021年度 講師公募要項 》

柑芦会学生支援委員会

【講義の概要】

・－企業・職種研究－（副題：職業観の醸成）

・リモート配信予定日：

2021年10月1日（金）～2022年3月31日（木）

※この授業は、講師の採点がなく、単位は付与されません。

①目的：

・この授業は、未だ実社会を知らない学生達が、大学での学習が将来にどう繋がるかを理解すると共に、将来なすべき課題を予見し実感することにより勉学意欲を高めるきっかけを得ることが目的です。

・併せて、自らの今後の進路を考えるために「職業観を醸成」することもねらいとしています。

②講義いただきたい内容：

主に、「入社後3年間に期待される仕事」の理解を助ける内容

・所属業界・企業の現況、自身の仕事の具体的内容、社会や企業が求める人物像、学生向けの応援メッセージなど

・講義の方法 上記の内容をパワーポイント資料に音声をつけて、大学に提出する。

※スマホで音声のみでも結構です。資料の提出先は、和歌山大学キャリアセンター（アドレス：gcareer@ml.wakayama-u.ac.jp）へ

③希望業界：

メーカー・金融・保険・商社・コンサルティング・公務員など

職種：人事・経理・営業・企画・広告・販促企画など

④講義時間：

1 講義は2分～10分以内とします。

⑤対象学生：主に大学3年生。

⑥講師：

30歳代（53期卒業以降）の柑芦会員（男女不問）をお願いします。

⑦講師謝礼：なし

⑧公募締切：2021年12月31日（金）まで

⑨講師打合せ：

遠隔地の方もおられるため、メールにて打合せさせていただきます。

⑩公募窓口：

柑芦会本部 事務局（浦事務局長）

T e l : 06-6941-4986

F a x : 06-6947-7925

E-mail : honbu@kourokai.org

支部活性化支援委員会からの活動状況ご報告

支部活性化支援委員長 大 20 辻 均

2020年12月 下記12名で委員会を再構成して
具体的に活動を再開

委員一覧: 菊池静(東北・大46)小林淳(東
京・大30)草場寛(東京・大34)伊
藤僚一(東海・大20)林国敏(北
陸・大41)柏木俊樹(大阪・21)多
田昭弘(徳島・大26)島田新市(香
川・大22)三吉規央(広島・大45)
深川照明(九州・大20)北村修一
会長(オブザーバー・大18) 辻
均(神戸・大20)

・2020年12月 第一回メール会議開催・柑芦会
へのお誘いリーフレット改定版
内容検討、支部活性化支援の諸
案検討

・2021年3月 柑芦会へのお誘いリーフレット
改定版完成

・2021年3月 Zoomによる全体会議
10支部と会長を交えて
①広島支部再開へ向けての意見
聴取
②柑芦会若返りへの提案
③人材バンク立ち上げの提案等
を検討。最優先課題として広島
支部再開のための方策を検討。
多くの貴重な意見を聴取。

・2021年4月 広島支部アンケート実施
120名の登録会員へ活動再開の
ための懇談会開催通知に対し21
名の返信があり9名(11期～66
期)が参加表明

・2021年6月 広島・福山2会場で懇談会(6/27)
開催 会長・辻参加

2021年11月～12月に再開総会を
開催することと、三吉規央氏(大
45)を支部長に、山本経穂氏(大
49)を副支部長に選出決定

★広島支部再開支援懇談会実施後の感想

支部会員(120名)アンケート返信率が24%
(29名)、懇談会出席率が7.5% (9名)は好反
応と考えます。総会参加率は大規模支部が
低く小規模支部が高くなり2%～5%程度で
しょうか。懇談会では若手の三吉支部長・山
元副支部長が選任され活動が再開されるこ
ととなりました。参加者は支部活動再開を心
待ちにされておられ、特に若い世代が今後支
部を牽引して行くことに大いに期待されて
いました。

★支部が活性するためには

まずは核となる情熱ある数名の人材が必要
不可欠!なぜ情熱をもてるか?そのインセン
ティブは

- 1、後輩達のお役に立ちたい
- 2、交友関係を広めたい
- 3、新しい趣味を持ちたい

4、人的ネットワークを広げたい等々

ホームページ表題にあるように柑芦会は“会
員の成長に役立ち、人生を豊かにする”これ
の実現には受け身ではなく、自ら会の運営に
積極的に取り組むことで得られる果実だと
考えます。活性化のために皆様の積極的な
ご協力を切望いたします。

以上

出会いのひろば(会員談話室)

【随想】

- ・大13 中村 昌宏 傘寿雑感
- ・短17 塩谷 幸子 もっと赤ちゃんが生まれる社会に
- ・大17 味野 耕二 中国人研修生たちの事
- ・大24 内山 一夫 続けたかった夫婦の末永い「趣味」
- ・大25 河本 要 NHK短歌に入選して
- ・大25 鈴木 晋一 学生時代の思い出と近況
- ・大29 赤松 良寛 和歌山市市会議員として
- ・大33 福原 満夫 思い出～そこはかたなく書きつくれば～
- ・大34 草場 寛 次回は「日本一」を目指して

【俳句】

- ・大 3 安本 純 芦火と俳句と写真
- ・大25 河本 要

【短歌】

- ・大 6 川淵 湧三 閑居近詠

【川柳】

- ・大13 佐竹 明吟

「出会いのひろば」は皆様方の談話室です。
活発な意見交換、作品の投稿をお待ちしています。

傘 寿 雑 感

大13 中村 昌宏

令和3年4月、傘寿を迎えましたが、すこぶる元気です。肥満体で運動能力に自信のない私が現在もNPOの理事長や10を優に超える国、県、市、諸団体が設置している委員会の会長や委員長、委員を務められているのは不思議なことです。よく、「活力の源は何か」との質問を受けますが、自分でも分かりません。あえて挙げるならば、積極的に生きようという心がけていること、他人からの頼まれ事には原則として断らない、人との出会いを大切に、社会的弱者への温かいまなざしを忘れないように心がけていること等です。

私は、和歌山大学を受験前の昭和35年から今日まで、1日も欠かさずに日記を付けています。膨大な量になった日記をめくっていくと、今から思えば些細なことで真剣に悩んだり、取るに足りないことに欣喜雀躍したりしている自分がいます。その日その日に会った方々から頂いた、生きていく上でのヒントや心に残る言葉をメモしてきましたが、それらの中からいくつかを紹介したいと思います。

努力と継続に関しては、「他人よりも少しだけ多く努力せよ。そして、それを続けよ」「止まらなければ、ゴールは近づく」。

プラス思考に関しては、「暗いと不満をもらすより、進んで灯りをつけましょう」「過去は運命、未来は可能性」。

積極性に関しては、「成功の反対は失敗ではなく、何もしないことである」「兆という字にシンニョウを付けるな(逃)、手偏をつけよ

(挑)」。

人間関係に関しては、「人は出会いの感動により成長する生き物である」「人とひと温い出会いを抱いて生き」「他人を喜ばせることが、自分の幸せの基である」「チャンスは人から降ってくる」。

生き方に関しては、「反省すれども、後悔はせじ」「生きるということは、誰かから借りをつくり、誰かに借りを返すこと。つまり恩送りである」「楽しきと思うことこそ、楽しきもとなり」。

若さに関しては、「あなたにとって、今が最も若い」「出会いと好奇心が若さを保つ秘訣なり」「60歳は3度目のハタチ、80歳は4度目のハタチ」「青春とは人生の或る時期をいうのではない。心の様相をいうのである」。

ビジネスの流儀に関しては、「顧客ニーズの把握は必要条件、顧客ウォンツを掴むのが十分条件」「凡事徹底、浅き川も深く渡れ」「障子を開けて見よ、外界は広いぞ」「クールヘッド&ウォームハート」「人は役割と出番と評価により生きがいを得る」。

人生観に関しては「大いなるものに抱かれあることを今朝吹く風の涼しさに知る」「愛、運、縁、恩のアイウエオに感謝して生きる」。

最後にシニアライフに関して私見を述べます。「シニアライフはポンコツ車ではなく、憧れのクラシックカーを目指そう」「人生は後半戦がオモシロイ。終盤戦こそ輝いて」。私が理想とするシニアライフは、健やかに老いる、美しく老いる、好かれて老いる、楽しく老いる、豊かに老いる、そして輝いて老いるです。生かされている、これからの日々を、いとおしく、丁寧に、かつ有意義に生きていきたいと思っています。

もっと赤ちゃんが生まれる 社会に

短17 塩谷 幸子

金沢駅から七尾線で30分。西田幾多郎生誕の地でその記念哲学館のあるところに住んでいます。日本海に沈む夕日がすぐそこに見えるのです。

私は和歌山から39歳の時嫁いで来ましたが、その前は人間関係につまずいて約10年間引きこもっていました。なのでまさか結婚できるとは思っていなかったの、一人で生きることを真剣に考えていました。次に子供を生みたいと思い、結婚しなければと思ったのです。自ら写真を周りの人に配るといった積極的行動により縁結びの神様の心に届き目出度く七番目の見合いで成立したのです。

そして順調に妊娠した喜びも東の間で流産という悲しみを味わうことになったのです。

小学校の運動会を見に行き我が子も元気に生まれていたらここで走っていたんやなど涙が出た時もありました。

流産をきっかけに生命の尊さに気付いて多くのことを学ぶ機会に恵まれたことが私の幸せでした。ある時は仏教のお話の中で人間に生まれるということは「大海の一針」海に落とした一本の針を見つけるようなものだ、と。又あるときは科学者の方からは宝くじに百万回連続して当たるような奇跡だと。

父母で2人。祖父母が4人。曾祖父母8人。20代遡れば百万人のご先祖様が存在し、そ

の内の一人がいなくても私達の命は存在していません。

その尊い人間の生命が届けば出生数だけでも年間16万人。一日500人が中絶されているそうです。驚きませんか。

母の胎内で約一年育てて頂きオギャーと生まれたら一才だと思えるのですが何故だかいつからかゼロオと耳にします。身長は50センチ体重3キロくらいの赤ちゃんがゼロとは首をかしげるのは私だけでしょうか。

もう一つ首をかしげることは建国記念日という祝日はあるのに建国〇〇年と聞いた記憶がなかったのですが十数年前に知ることができました。今年で2681年。成程126代の今上陛下の御存在から納得できる数字でした。なんと世界最古だったのです。

どうか小学校で教えてほしいです。皆さん学業にがんばりますよ。

この歴史のある日本にこれから生まれようとしている命を皆で喜んで迎えましょう。赤ちゃんは米びつを背負って生まれてくるそうです。経済の心配は不要のようですよ。

スーパーでたまに見かける赤ちゃん連れのお母さんに「可愛いですね」と声をかけると笑顔で返してくれます。

赤ちゃんの声があちこちから聞こえる日本でありますよう祈ります。

今年71歳になる私の一番の気がかりなことを書かせて頂きました。

このような機会を与えてくださりありがとうございます。

中国人研修生たちの事

大17 味野 耕二

アパレル企業での現役を61歳で引退して十数年になる。引退前、50歳前からの十数年間、中国からの研修生受け入れに携わった。当初、実習生の制度はなく、一年間の研修のみであった。技術研修は工場のほうに任せたが、縫製技術に関しては、平均的に、日本人よりも上で、主に生産管理に重点を置いた。私のほうは研修生の受け入れ、日本文化と日本語の教育に力を注いだ。

中国にある合弁企業からの受け入れだったので、帰国後、一部に、収入の多い通訳の仕事とかに転職する者もいたが、中間管理職として会社に残るものが多かった。研修生の送出国を通さない受け入れはその点で教育のし甲斐があった。

一般的に、研修生と受け入れ企業の関係は研修期間の一年間だけのもので、帰国後の結びつきはない。研修制度(その後実習制度もできた)というが、研修とは名ばかりで、実質、低賃金労働者として受け入れられ、研修生は労働者ではないとの建前で最低賃金の保証も無く、過酷な労働条件のもと、研修を計画通り実施しているところは多くなかったように思う。その様な、本音と建前の著しく乖離した制度の下、大多数は、研修よりもより多く稼いで本国に仕送りすることと割り切っていた。

そんな中、私の担当した研修生たちは、このほか勉強に熱心であった。殆どは中卒だったが、合弁企業の社員500名の中から数名選抜されてきただけあって、優秀さは群を抜いていたし、人間性も素晴らしかった。日本で成

人式に出席したものもいる。キャンプに行ったり、潮干狩りに行ったりと楽しかった思い出もある。

日本語に関しては、来日当初は「あいうえお」の知識だけの者が少なくなかったが、一年の勉強で日常会話はマスターした。私もその熱心さに惹かれ、希望されれば、夜間、休日も教えた。帰国時には、ダジャレの類も理解し、多少の岡山弁も覚えていた。日本語学校で二年間日本語を学び、その後岡山大学に入学した大学院生と就活での会社訪問時、面談したことがある。会話だけなら研修生のほうが上手だった。帰国後、教えてもいないのに、「拝啓」で始まる長文の手紙をもらって驚いたこともある。

日本語を教える中で難しかったのは、助詞の「は」と「が」の使い分け、質問に対し十分に説明できたかどうか。「馬」と「牛」ではアクセントは同じでも続く助詞の高さが違うこと等は、さすが言語の根幹に四声を持つ母国語を持つだけに、片っ端から覚えていった。

合理精神の塊の私は、日本語を教えるようになるまで、自分を保守とは無縁の存在であると思っていたが、言葉については随分保守的であることに気づかされた。日本人はなぜ「寝れた」、「来れた」と言う人が多いのかと聞かれたとき、苦笑して「それは日本語を知らないからだ」と答えると、日本人なのにと笑っていた。「私が昔学んだ文法」通り教えたからで、現在は多くの人が「ら抜き言葉」を使い、一部の学者までそれが正しいとしている。さすがにアナウンサーはあまり使わないし、字幕では修正されている。私は今でも「ら抜き言葉」には違和感をおぼえる。「極端に省略、縮められた若者言葉」の全く通じない老人の思いだが。(ついでに言うと、近年「凄い」「凄く」連発する

人が多い。ふさわしい使用が多いものの、中には「コロコロ」と「ゴロゴロ」、「キラキラ」と「ギラギラ」を間違っていると使われていると思われるほど、ふさわしくない例も見受けられる。「ものすごく」だけではなく、「非常に」、「とても」、「大変」、「随分」、それぞれ適切な使い方があるのではと思う。）

ともあれ、彼女たち、(手紙とか電話で近況を知らせてくれる者以外の、1年で4～5人、累計で40～50人)は、今頃どうしているだろう。結婚して、何人かの母親になっているのかなと懐かしく思われる今日このころである。電話をしても、本人が出れば良いが、お母さん、お祖母さん等、年配者の場合は悲惨なことになる。私のたどたどしい言葉は全く通じず、

先方は方言で、こちらには理解できない。(中国語の方言は甚だしく、研修時の連休中、退屈だろうと、中国語のビデオテープを借りたことがあったが、南方の制作だったらしく、まったく分からない、日本語より難しいと言われたことがある。)

「あなたたちの国は十年は無理でも三十年後には日本に追いつき追い越すだろう」と話したが、私の予想より早くGDPでは日本を追い抜いた。爆買いする都会の富裕層はともかく、田舎、奥地でも経済的にも、文化的にもいい方向に発展することを願っていて、そう遠くない将来に実現できると信じている。

(岡山和大会 ペンクラブより)



なんば道頓堀ホテル

〒542-0071 大阪市中央区道頓堀2-3-25

宴会予約(大中小宴会場)

06-6213-3444

飲み放題込み、MAX3時間

¥4,500.-

宿泊予約 06-6213-9040

場所：地下鉄・なんば駅から北へ徒歩5分

続けたかった 夫婦の末永い「趣味」

大24 内山 一夫

私は、「ひとつの事を長年続けておられる方」を、とても尊敬しております。

例えば、私と同じ67歳の親友は、高校時代から地味な「クラシックギター」を続けていて、演奏に専念するため60歳定年を機に退職、今や、数々の大会のシニア部門で入賞し、全国に200人以上のギター仲間が出来ました。

私が続いたことは、せいぜい中高大と「卓球部」に所属していた位で、卒業後は続けていません。

当時の部活は「根性論」で、特に高校は、大先

輩が全国優勝されていて、体育館より卓球専用の講堂が広く、練習は厳しく長時間、楽しさより鍛錬のイメージが残っていたためと思います。

子供たちが小さい頃の趣味は、毎週の様に行っていたオートキャンプでしたが、40歳代となり、「末永い夫婦共通の趣味」と思って関心を持ったのが、「スキューバ・ダイビング」でした。きっかけは、「杉浦ゼミ」仲間で行った卒業旅行で、沖縄周遊中の「西表島」で潜った海中の美しさが脳裏に焼き付いていて、偶然、ジムでライセンス取得のパンフレットを見つけたからです。

45歳の時、「サイパンでライセンス」を取得した後、コスパが良くて時差の少ない海外（オーストラリア、グアム、フィリピン等）や、沖縄、伊豆、和歌山などで潜っていて、第一線を



*グレートバリアリーフのダイビング専用クルーザー（定員115名）と、機材一式。

離れられる還暦後は、夫婦で世界中の美しいダイビングスポットを潜る事を、楽しみにしておりました。

しかし、なんと56歳で突然に「心筋梗塞」になり、永く楽しむ予定のダイビングに「ドクターストップ」が掛かり、大切な趣味を「一瞬で失い」ました。

病院のヒアリングで、原因は55歳まで5年半の単身赴任（神戸→東京）での、タイトな勤務と、不規則不摂生な食生活、飲酒、喫煙と言われました。

また悪いことに、長年使うつもりで、ダイビング機材はレンタルではなく、タンク以外は全て購入し「フル装備」でした。

更に、ひょっとしたら、また潜れるかなとも思い、転売や譲渡するタイミングを逃したため、夫婦合わせて軽く50万円は超える、「ダイビング機材一式はゴミ」と化しました。

例えば、50m潜っても大丈夫だった度付きの「水中マスク」は4万円、水深、浮上速度、

潜水時間等を管理し、減圧症対策に必要な「ダイビングコンピューター」(腕時計型)は7万円、フルオーダーの「ウエットスーツ」は1着8万円など、結構、高価でした。

そして、各機材はゴムの部分が多く、オーバーホールもしなかつたので、直ぐに劣化しました。

かつては、地元のランナーズクラブに所属し、体力勝負のマラソンやマウンテンバイクの大会にも参加していましたが、今は心筋梗塞を機に始めたウォーキング、カメラ、家庭菜園、世界遺産検定や、酷暑極寒を避けて10年以上ブランクだったゴルフも楽しんでいます。

ダラダラと残念無念の投稿になりましたが、お陰様で気持ちの整理がつき、10年以上捨て切れなかつたダイビング機材一式を、廃棄する決心が付きました。

そして、「継続する事は難しいですが、本当に大切な事」だと、あらためて痛感した次第です。

T 税理士法人
坪内会計事務所

代表社員 坪内 隆 (大嘗21回)
公認会計士・税理士・行政書士

〒567-0885 大阪府茨木市東中条町1番5号
TEL (072) 622-0400 (代) FAX (072) 627-0022

坪内公認会計士事務所
総合コンサル株式会社
株式会社サポートイング

NHK 短歌に入選して

大25 河本 要

令和2年9月20日 月曜日の朝、私は、いつものことながら早く目が覚めてしまい、6時からの短歌の入選発表を待っていた。

その1ヶ月ほど前、Eテレのディレクターから連絡があり、「寺井龍哉先生が入選に取られました。放送を楽しみにしてして下さい。」これまでも、ラジオ、新聞などで文芸作品が紹介されたことは多くあり、例えばどこかの会合で自己紹介しても、「ああ、あなたですか」と言われる。有名人である。

さて入選作品は、「もし」という兼題で作ったものです。

「年齢差 もしなかりせば かくほどに

愛し合うこと なかりしものを」

71歳の私には、今はるか年上の恋人がいる。老いらくの恋である。二人とも今は老人介護

施設にいるのだが、彼女の部屋に招かれて、入選発表を聞いた。ハラハラしたが確かに私の歌が放送された。興奮の余り、選者の評は全く耳に入らなかった。

私は、経済学科21期の入学で卒業は25期。高校生するとき、発病した。統合失調症のため病院に入退院を繰り返していたから、随分卒業が遅れた。病院から大学に復帰しても、「僕のお母ちゃんはね」なんて言っていたので、周りから苛められるか、相手にされないかだった。同期生達は卒業、就職、結婚と進んだが、私は卒業はしたが、何もできない。止むなく、パートでトイレの清掃員になった。それでも体調が悪くなれば、病院へ逆戻り。結局何もかも諦めざるを得なくなった、最後に残ったのが文芸である。

俳句、短歌、エッセイなどに全力を傾注している。今回はテレビに入選したが、いつかは、アマチュア歌人の憧れである「歌会始」に入選したいと願っている。

会計監査・税務及び経営コンサルティング

名尾公認会計士事務所

公認会計士 名尾 邦 博 (大18回)
税 理 士

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-5-22 第3新大阪ビル3F

TEL 06-6305-9731 FAX 06-6305-9733

E-mail naocpa@qk9.so-net.ne.jp

学生時代の思い出と近況

大25 鈴木 晋一

2020年3月末日を以って43年間勤めた会社を定年退職しました。月日の経つのは早いもので大学卒業からこんなにも時間が経ったのか、と改めて思う今日この頃です。幸い、夫婦共々いたって健康で好きな海外旅行に思いっきり行こう、などと話しておりましたが、このコロナ禍で予定が狂ってしまいじつと我慢の日々を過ごしております。

柑芦会とは随分疎遠となっしまい、今更という気持ちも正直ありましたが、今般大17期の増田様を通じ大16期の松石様より寄稿文投稿の機会をいただきましたので、当時の思い出や卒業後の自分に与えた影響等につきお話ししたいと思います。

入学は昭和48年でした。入学と同時に入寮し、親元を離れた初めての生活体験でしたので、毎日とても新鮮な気持ちでいたことを記憶しています。寮生活では先輩、後輩関係無く朝まで議論(ダベリ半分)をしたものでした。社会というものを少しでも知りたがっていた時期でもあり、政治にも関心を持ち始めていたため、先輩達に「イデオロギーとは何々・・・」などと言われるとすべて信じ込んでしまったものでした。しかし真反対の意見を言う先輩もあり、何が正しいのか全く分からなくなったのも事実でした。どうやらこれが正しいというものは無く、自分が正しいと思うのかどうか、という判断力を持つことと、それを自分の言葉にする力をつけることが大切だということを思い知らされたのだと思います。その経験は、その後の人生において大いに役立ちました。余談ですが、入寮と同時に先輩たちに怒鳴られながら覚えさせられた寮歌(花

の霞に)は、その前口上とともに今でも鮮明に覚えています。ひょんなことから妻の所属する紀学同窓会東京支部で約30年ぶりにお披露目することが出来ました。その後も毎年お声がかかり、私も悪い気はしないので毎回大声を張り上げて寮歌を歌っています。

クラブはマンドリンクラブに所属し結構厳しい練習をしていました。マンドリンクラブはOB会との繋がりも強く、現役時代からOB会にお世話になり、自分がOBとなった後もその感謝の気持ちが残り、現役メンバーに毎年些少ではありますが演奏会の都度寄付を行ってきました。その繋がりは一生涯消えることはないと思っています。現在はマンドリンクラブOB会東京支部に所属し、年に1回先輩達と懇親し、有志で定期的に楽器を持ち寄り、合奏を楽しんだりしています。

大学3、4年は小野ゼミに所属し国際金融論を専攻しました。小野先生の指導の下、ゼミの仲間と議論したり合宿に行き飲み明かしたことも楽しい思い出となっています。

大学を卒業し、43年間働き続け健康でリタイアできたことはとてもハッピーなことだと思っています。会社人生では色々な局面がありました。常に心の支えとなったものは、家族は勿論のこと、学生時代の思い出、経験であったと思います。素晴らしい学生時代を共に過ごした皆さんに改めて感謝いたします。

高校時代まで夢中になっていた卓球を現在も継続中です。孫達と遊び、マンクラOBとギター合奏し、卓球で汗を流し、毎日1万歩のウォーキングで体力維持し充実した毎日を送っています。残りの人生を精一杯楽しんで過ごしていきたいと思っています。

以上

和歌山市市会議員として

大29 赤松 良寛

思えば母校を卒業して随分時間が経ちました。加齢と共に記憶力の低下を感じる昨今ながら当時のことは忘れることなく鮮明に覚えているのだから実に不思議なものであります。

就職に際して民間企業志望であった一人っ子の私は、地元・和歌山に残れるよう公務員を目指して欲しいという母親の懇願を断り、その代わりに民間企業の中でも地元で縁のある花王(当時は花王石鹼)を就職先に決めたのでした。

元々商社志望の私でしたが、後に学長になられた小田章先生(当時は助教授)から、「総合商社で外国相手に一つ100億円のビジネスも大きい仕事だが、一個100円の物を1億人に売るビジネスも等しく大きい仕事だぞ!」という言葉が迷う私の背中を押してくれたのでした。

「地元で縁のある会社」という思惑は見事にはずれましたが、東京、大阪を中心に遠くは14年に渡る東南アジア(インドネシア、マレーシア、ベトナム)駐在など実に刺激的なものでした。結果として花王が私にとって最初で最後の会社になったのですから40年前の選択は大正解だったということになります。

さて、インドネシアの駐在になった25年前の話になりますが、当時のインドネシアはGDP/人が1000US\$に満たない貧しい国でした。首都のジャカルタでさえ市場に行くと3人に一人は裸足で街中では多くの幼い子供が靴磨きや物乞いをしたり、極めて厳しい環境での生活を余儀なくされていました。その時の日本は「一億総中流」などと言われており子供達は食べることに困らず、欲しい物は大概手に入る恵まれた環境にあったと記憶しています。

現に当時、幼稚園から小学校低学年であった私の子供達も「あれ嫌い!これ好き!」とわがまま放題であったように思います。

ただ不思議なことにそのような厳しい環境にあるインドネシアの子供達の眼は恵まれた環境にある日本の子供達のそれより輝いているように私には見えたのでした。その時、気づいたのが「人って今の満足した生活、豊かな生活で眼が輝くのではなく、明日は今日より良くなるぞ!という明日への希望で輝く」ということでした。

昨今、日本でも貧富の格差が広がって来ており、コロナ禍がそれに追い打ちをかけています。一人親家庭を始めとした生活困窮者の増加は社会問題化しています。生活保護申請数も増加の一途をたどっています。

我が故郷・和歌山市自体も他の地方都市同様、年々明かりが減り、活気が失われつつあり明日への希望が感じられるどころではありません。そういう状況下で、私自身が民間企業で得た経験や知恵で何かお役に立てないか?という思いから、一昨年の和歌山市議会議員選挙に立候補した次第で、幸いにも友人・知人を始めとした応援のおかげで当選させていただきました。

正直言って民間企業とお役所仕事の違いは想像以上で驚きました。予算は使い切ることが重要視され、その成果について議論されないこと。前例主義、保守主義のもと新たなことに挑戦しようという気風がないこと。よってコストにおいても効率化するために見直ししようという考えが極めて乏しいこと。人事は年功序列が基本で能力や業績による個人評価がなされないこと等、数え上げればきりがありません。故郷への恩返しを思いを忘れず一人でも多くの市民が明日への希望を抱いて眼が輝ける街作りを目指して臆することなく是非々で邁進する所存です。

思い出

～そこはかとなく書きつくれば～

大33 福原 満夫

コロナのせいで、やっと動き始めようとしている岡山和大会の活動も集合自粛。まことに残念なことです。

皆様方もいかがお過ごしのことか。きっと窮屈な生活（Withコロナ、新しい生活様式と言えは聞こえも良いが）を強いられているのではと考えながらこの時間を共有しています。

先般、本多さんを通じてご発案いただいたペンクラブ。私にはさほどの文才はないので、『賛同します』と申し上げたものの、さて、何から記したらよいのやらと。ま、悩んでみても仕方ないので今回は思いつくがまま、私の自己紹介をすることで私の人間像をイメージしていただければとパソコンに向かっております。気楽に目を通していただければ幸いです。

まずは大学時代、

◇期・専攻学科・ゼミ

・33期（1981年入学～1985年卒業）・・・現在58歳と少し何とかダブることなく卒業させてもらった。
 ・経済学部、経営学科、浅野敏ゼミ（経営経済学）私はほとんど勉強してないが……故 浅野先生、楽しかったです。

◇生活していた場所（下宿）・所属サークル

・和歌山市西浜3丁目4-11 西口様方の下宿（2棟で全13部屋）

6畳一間（トイレ洗濯機共用、当時家賃12,000円だったと思う）水軒通りの南側、和歌山工業高校東側近く

・実家は岡山県津山市、出身高校は津山高等学校
 ・混声合唱団（教育学部・真砂町の特別音楽室に部室）

中学・高校まではバスケットボール一筋。なのに何故体育会系から文科系？

もともと、音楽とか歌とかは嫌いではなかったが夜な夜な下宿にやって来ていた合唱団先輩たちにドライブ、食事に連れていかれ、足抜けできないことに（笑）きっちり丸め込まれる。地方からやってきた新入生が陥るパターン。

◇学生時代の思い出

【其の一】

夜10時発、先輩の車で紀南一周ドライブ（1回生）

バイト帰りの先輩が続々下宿終結、『さあ、行くぞ』と。ど、どこへ？これから紀伊半島を一周する。いやいや、明日午前中一般教養の授業が。代返頼んどけ！ うえーい。そこから翌日までほぼ拉致状態（汗）

【其の二】

夕食、お風呂付の家庭教師バイト（1・2回生）
 和歌山に大学少ないのと和歌山の人の温かさで重宝され大切に頂きました。もちろんしっかり教えました。

【其の三】

合唱団員バイトのBigBoyで深夜のカレー食べ放題
 和歌浦東のダイエー近くのファミレス、大盛り、お代わりお願いしま～すと。当時の店長、苦笑いの了解済み（しっ！）

【其の四】

西和歌山病院(市内延時)での救急受け入れ当直バイト
 消防署からの入電で、当直医へ連絡、受け入れ準備。贅沢言わねば、夜と朝、病院の職員食あり、冷房付きの当直室は良かったけど、急患連続で朝までほとんど寝られぬ日。

【其の五】

結婚式場（ベルナール）での披露宴司会バイト（超100組）
 定期演奏会の広告取りがきっかけで、バイトすることに。多くの新郎、新婦のひときわ輝くシーンに共感。シーズン土日は1日3回転（組）の日

も。ご祝儀はずんでもらえました(笑)

【其の六】

2泊3日のゼミ旅行

私含む車持ちのゼミ生の運転で岐阜県の飛騨高山、福井県の東尋坊などへ

◇サークルでの思い出(3回生:チーフ涉外マネージャー時代)

【其の七】

紀北、紀南の小・中学校20数校をまわる毎年恒例の夏季演奏旅行。1週間の行程、タイムスケジュール企画、学校との交渉、バス、宿舎手配

【其の八】

第38回関西合唱コンクールで金賞。創団初、関西代表に

【其の九】

合唱団50余名をつれて盛岡での第36回全日本合唱コンクールへ(創団初)

と、話せば長〜い涙と笑いのエピソードがいろいろとありました。楽しくも良き時代の思い出です。皆さんにもたくさんあったことでしょう。

◇それから

大学卒業後の私は、パナソニックに入社し、現在、津山市河辺にあるパナソニック(株)インダ

ストリアルソリューションズ社で電子部品製造の生産販売管理の仕事に就き、現在に至っています。

趣味:音楽活動(地域の仲間とおやじバンド)を少しやっています。もちろん、カラオケにも行きます。運動ではゴルフもやってきましたが、上手くならず。音楽活動が忙しくなってきた頃からは、とんとご無沙汰です。(6、7年か?)既に炎天下1ラウンド回れる気力、体力は残っていないと思われ(苦笑)。ドライブ、旅行も好きです。

そのあたりを記しだすとまた、長々となってしまいますので、次回酒席の肴とさせていただきますと思いますが、時期は違うとは言え、同じ紀州、柑芦の里で学んだ同郷岡山の方々と縁あって集う機会をいただきました。私もお酒を酌み交わしながらの呑みニュケーションは好きなほうなので、先輩、後輩広い層の皆さまとの情報交換を楽しみにしつつパソコンを取めることとさせていただきます。拙文なにとぞご容赦のほどを。(拝)

コロナに負けるな! 2020年8月

<岡山和大会 ベンクラブより>

公認会計士・税理士 不動産鑑定士

山 中 静 (高商20回)

税理士 山中典子 (大学25回)

公認会計士 山中盛義 (大学28回)
税理士

東直 (大学31回) 寺園喜久美 (大学33回) 宮脇亜有子 (大学45回)

〒640-8567 和歌山市西汀丁36 和歌山商工会議所2階

電話 (073) 423-1231(代)

F A X (073) 433-4066

次回は「日本一」を目指して

大34 草場 寛

東京都の3回目の緊急事態宣言の中、第70回全日本大学野球選手権記念大会が6月7日～13日に明治神宮野球場・東京ドームで開催されました。和歌山大学硬式野球部も近畿春季リーグ戦の中断中の5月19日、20日に全日本大学野球選手権の代表決定戦を行い、4年ぶり2回目の出場を果たしました。

全国各地から選手や関係者が集まる選手権大会では、無観客の心配もありましたが、「観客上限 5,000人、(間隔を空けて)全席指定、プレイガイドでのみ販売」という条件での開催になりました。

前回の出場のような和歌山・大阪からの応援が難しい中、東京支部会員に神宮球場で応援する旨の「東京支部だより(メールマガジン)」を代表の決定時の5月20日、組合せと入場券の販売が決まった6月1日、試合前の6月7日に配信しました。

6月8日の1回戦の九州産業大学(福岡六大学)

戦は予定より約20分遅れの11時48分開始、この日の最高気温は31.2度でした。3塁側のスタンドには和歌山大学出身者、和歌山県東京事務所、和歌山県にゆかりのある皆さんが駆けつけていました。硬式野球部の後援会の方からタオルマフラーと部員の名簿をいただきました。

試合は、タイブレークで1点をリードされた10回裏、ランナー1-2塁でのダブルスチール後のサヨナラ勝ちでした。

6月9日の2回戦の慶応義塾大学(東京六大学)戦は試合開始が予定より約1時間半遅れの15時28分となりました。試合は、残念ながらチャンスを生かせぬまま2対4で負けました。慶応義塾大学は勝ち上がり34年ぶり4回目の優勝を果たしました。

硬式野球部の目標は「日本一」です。秋に「明治神宮野球大会」があると思います。再び神宮球場で応援できると期待しています。

写真は、左から水島代議員(29期)、中川幹事、小林支部長、草場、松村副支部長です。水島さん提供。2回戦の終了後に水島さんに撮影していただきました。



芦火と俳句と写真

大3 安本 純

同期の安田善富君に誘われ柑蘆同人誌「芦火」に入会したのが、2013年春、八年前でした。それまでにも俳句には関心があったが少し作句したことがありましたが、自作を発表するなんてことは夢にも思わず入会してたまたま自作の句が選ばれるとうれしく、励みが出てきたものでした。そして「斬り捨て御免」と



ことは夢にも思わず入会してたまたま自作の句が選ばれるとうれしく、励みが出てきたものでした。そして「斬り捨て御免」と

いうコーナーで自作の欠点が指摘されたり、添削を受けたりといった具合でそのおかげで少しずつ俳句というものが解ってきたような気がしています。また若いときから野菜や花を育てるのが好きでその成果を写真に撮って残したりしておりましたが、年とともに畑仕事が出来なくなり、その代わり出来るだけ散歩して自然との関わり合いを楽しむようになってカメラを携行して草や木などの写真を撮るようになりました。枯木でもよく見ると春を待つ芽が膨らんでいます。小さな草でもよく見るとその花は驚くほど美しく造物主の存在を意識せずにはおられません。写真に撮って小さな被写体を拡大してみるとその複雑な構造、幾何学的な配列の美しさに驚くばかりです。草木の美しさや生命力には畏敬の念を抱かずにはおられません。そしてある時芦火編集長の山下さんから話があり芦火誌上で「散歩道の自然」のタイトルで毎回写真と写真解説、写俳を載せることになり今も続いています。



私の理想は俳句とそれの俳画を作ることなのですが、絵画の才は全く無きに等しく、やむを得ず写真ということになったわけです。月一回の投稿ですが投稿が終わるとすぐ次は何をテーマに撮るかを決め、散歩道の自然の撮影に妻をアシスタントにして取り掛かります。二人でああでもない、こうでもない話し合いしながら散歩方々被写体を探し回るのは幸せのひとつ時だどつくづく実感します。

こうして出来た作品に図鑑などを参考にして写真解説と写真を見ての作句(写俳)し投稿します。この作品に呼応して善富さんと碧亥さんが素晴らしい俳句(写俳)とエッセイを毎号寄稿されます。エッセイは経験談、人生観など深い内容の読み応えのある表現でちりばめられており、散歩道の自然の写真に花を添えていただい

ています。行動半径は年々小さくなっていますが、それなりに被写体があるものです。これからも出来る範囲内で続けようと思っています。

この句会に入会出来て本当に良かったと思っています。充実した毎日を過ごしているのですから。



写俳(梅)近詠紹介

密やかな探梅行や垣根越し

後藤碧亥(8期)

暫くは写俳に籠る梅見かな

後藤碧亥

土塀越し覗く梅花や白に紅

安田善富(3期)

梅林へ行く坂道や空蒼し

安田善富

紅梅や新枝も紅く艶やかに

安本純一(3期)

山頂はカンバス並ぶ梅見かな

安本純一

俳句同人誌「芦火」

昭和38年の創刊、和大経済学部OBによって俳句の同人会としてスタート。現在会員数は20名。「芦火」句会は58年間月一回の通信句会として欠けることなく続けられ、和高商以来の経済学部100周年の節目に当たる来年は創刊700号となります。会誌「芦火」は50号毎に記念句集(来年は第14句集)を出します。こうした刊行物は、柑芦会本部や和歌山大学図書館にて保管頂いております。

俳句に興味をお持ちの方は、本部事務局、または「芦火」窓口担当者・穂永千秋(17期)(090-9887-2513)までご連絡ください。お待ちしております。



俳句

河本 要 (大25)

- ・黒南風や埴輪の園の登り窯
- ・百合咲くや施設に稀の見舞客



短歌

閑居近詠

川淵 湧三 (大6)

- ・海路のみ頼りとしたる時代あり
 棧橋あとが浜に残れり
- ・高台に役場と保育所移りゆき
 町にぼっかり穴があきたり
- ・スーパ―に七草粥は売られをり
 母と摘みたる昔が浮かぶ
- ・何となく静けき五月の漁師町
 かつお祭りが二年もなくて
- ・原爆の焼けあとぬらす「黒い雨」
 奈良岡朋子は語りつづける
- ・「里の秋」続けて歌ふ「赤とんぼ」
 歌詞は頭にきざまれており
- ・草を焼く匂い懐かし里の暮
 山ふところに煙がのぼる



佐竹 明吟 (大13)

- ・夫の顔にスーダラ節が描いてある
- ・世界より隣りの事が気に掛かり
- ・経済とコロナ歯車かみ合わせ
- ・窓口の木に竹を継ぐお役人
- ・人類は進化したのか種の起源
- ・日めくりと今日のストレス捨てる妻
- ・値段より鮮度見ている妻の智恵
- ・早乙女の早苗が揃う白い脛
- ・神宮へ母校の愛が駆け付ける
- ・神宮の和大魂語り継ぎ

結婚相談室のご案内

入会申込み、その他お問い合わせは、ホームページからお願いします

<http://kouro-m.com/>



こうろ(柑芦)結婚相談室では、柑芦会員とその子弟、子女などに対して、1994年からOB・OGによる手作りの結婚相談を行っています。



----- 相談員 -----

- <大阪> 松石 憲一 (大16)、田中 義男 (大18)、舌野 啓治 (大18)、森本 康則 (大20)、
高田 保子 (大21)、飯尾 守平 (大21)、中澤 典代 (大28)
- <東京> 河野 通剛 (大16)、藤原 孝志 (大22)

2021年度 柑芦会定時理事会 (一財)経済学部後援会評議員会・理事会 開催

●開催日時／2021年5月15日(土)13:00～16:20 ●場所／オンライン(Zoom方式)

EC奨学金制度 2022年度より実施決定 経済学部創立100周年記念事業 取組スタート

会議開催の状況

コロナ禍による緊急事態の為、オンラインによる会議を実施した。

参加状況 参加対象者78名、Web参加者37名、事前賛否確認者61名+委任状2名=計63名

来賓:2名(阿部秀二郎学部長補佐、青木稔基金事務室長)

事務局:3名

Web参加者総数:42名

下記議題について審議され、事前賛否確認を含めて多数の賛同を得て可決されました。

第一部 (一財)和歌山大学経済学部後援会 理事会・評議員会

(財)1号議案 2020年度決算案承認の件

(財)2号議案 2021年度予算案承認の件

(財)3号議案 奨学金制度導入の件

(財)4号議案 奨学金制度導入に伴う事業計画承認の件

(財)5号議案 定款変更の件

(財)6号議案 理事辞任に伴う役員選任と評議員辞任承認の件

第二部 和歌山大学柑芦会 理事会

(柑)1号議案 2020年度決算案承認の件

(柑)2号議案 2021年度活動方針案承認の件

(柑)3号議案 2021年度予算案承認の件

(柑)4号議案 奨学金制度導入の件

(柑)5号議案 会則変更の件

(柑)6号議案 経済学部設立100周年について(方針確認)

決議された下記事項の概要(要旨)は以下の通りです。

(1)「柑芦会 EC奨学金制度」(仮称)の概要

(2)経済学部創立100周年記念事業について

(3)和歌山大学柑芦会会則の変更の件

(4)(一財)和歌山大学経済学部後援会の定款変更の件

(1)「柑芦会 EC奨学金制度」(仮称)の概要

1. 背景：

- ① 現代社会では、経済学・経営学を中心とした社会科学分野においても、「高度な専門性」に加え、包括的な「課題対応能力」を併せ持つ人材が求められている。
- ② 学生の中には、学部での学費に加えてさらに2年間の学費(含・入学金)がネックとなり、大学院進学に踏み切れない者がいる。

2. 目的：

- ・和歌山大学経済学部から経済学研究科への、「優秀な内部進学者」を増やすため、特に優秀な学生に対して奨学金を給付する。

3. 対象となる学生：

- ・和歌山大学経済学部の「エキスパート・コース(EC)生」(70期以降)で、かつ和歌山大学経済学研究科に入学する者

4. 奨学金の形態と金額：

- ・「給付型」(返還の必要なし)とする
- ・1名あたり年額27万円(学費のほぼ半額)

5. 給付人数：※大原則は、1ユニット×1期で1名(ただし時期は早まったり遅くなることもある)

- ・エキスパート・コース(EC)の各期・各ユニット(3ユニット) 1名ずつ
- ・70期(学部入学2018年)と71期：各期1名(71期までは1ユニットしかないため)
- ・72期(学部入学2020年)以降：各期3名

6. 奨学金給付の方法：

- ① 給付者：柑芦会(財団)が学生に直接支給する。
- ② 給付時期：授業料納付完了後(年2回。5月と11月)
- ③ 給付期間：1名に対する給付期間は2年間とする。
 - ・「留年」した場合も2年間で打ち切る。「留学」「休学」等による給付期間の変更は認める。

8. 制度の見直し：

- ・この制度は、実施から5年後にそれまでの実績を検証し見直すこととする。

以上

(2) 経済学部創立100周年記念事業(仮称)について

◆ 経済学部・柑芦会の設立時期と、100周年到達時期：

- 1922年(大正11年)10月 和歌山高等商業学校設立 → 2022年10月設立100周年
1923年(大正12年)4月 和歌山高等商業学校開校 → 2023年4月開校100周年
1926年(大正15年)3月 柑芦会発足 → 2026年3月発足100周年

◆ 「経済学部開学100周年記念事業」について(案)：※考え得る最大規模の一案

① 「和歌山大学経済学部創立100周年記念祝賀式典」の開催・・・学部と柑芦会の共催

- (1) 記念シンポジウム・・・各界の著名な卒業生、学部長、柑芦会長などによる
・登壇者は3～4名程度(ファシリテーターは柑芦会副会長から人選)
・時期:2022年10月15日(土)「和歌山大学ホームカミングデー」のあと

(2) 祝賀パーティ……………シンポジウムの終了後に、学内または学外で開催

(注)コロナ禍が現在よりも収まっていることが前提

- ・参加者の規模は150名程度
・「会費制」とする(1万円程度)

② 「和歌山大学経済学部100年史」(仮称)の発刊

- ・前半部(2000年までは「和歌山大学50年史」の記事から抜粋、後半部(2000年以降)について、学部関係者を主体に「編纂委員会」を構成。

③ 「EC奨学金制度」の新設

- ・大学院への内部進学者のうち、成績優秀者を対象とする「給付型」の奨学金
・給付人数は、3ユニットの最優秀者1名 → 各学年3名(2学年で平均6名)
・給付額は年間授業料の半額相当(27万円/年・人)

④ 「柑芦」誌の「100周年特集号」の発刊(OB・OG座談会などを含む)

⑤ 「経済理論」の「100周年記念号」の発刊(経済学部担当)

● 基本方針(案)：

- ① 経済学部主体の事業ではあるが、柑芦会もできる限りのご協力をする。
② 事業内容は、90周年の前例と同様またはそれを上回る内容とする。
③ 検討および推進にあたっては、学部と柑芦会による「実行委員会」を設置する。

以上

(3)和歌山大学柑芦会会則の変更の件

「柑芦会 EC奨学金制度」の導入にあたり、第3条(事業)に新たな事業項目を追加する。

追加する事業項目：「母校に在学する学生に対する支援(奨学金制度、講座の提供、面接指導等)を
すること。」

変更理由

「柑芦会 EC奨学金制度」の導入にあたり、当面は、(一般財団法人)和歌山大学経済学部後援
会で運営するが、将来同財団で運営することが困難となった場合、柑芦会でその運営を引き継ぐため。

現行

第3条(事業)本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 母校に協力し、研究の助成、奨励に努めること。
2. 会員の啓発のため、講演会、懇談会等を開催し、相互交流を活発にすること。
3. 会報を発行し、会員名簿を常備すること。
4. 会員の慶弔に対し、相互扶助に努めること。

変更 (※下線部分が変更箇所)

第3条(事業)本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 母校に協力し、研究の助成、奨励に努めること。
2. 母校に在学する学生に対する支援(奨学金制度、講座の提供、面接指導等)をすること。
3. 会員の啓発のため、講演会、懇談会等を開催し、相互交流を活発にすること。
4. 会報を発行し、会員名簿を常備すること。
5. 会員の慶弔に対し、相互扶助に努めること。

以上

(4) (一財)和歌山大学経済学部後援会の定款変更の件

「柑芦会 EC奨学金制度」の導入にあたり、第4条(事業)に新たな事業項目を追加する。

追加する事業項目：「大学及び大学院に在学する学生に対する奨学金の給付」

現行

第4条(事業)この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 経済学部の教育施設設備の充実整備のための物的、財的援助
- (2) 経済学部における学術研究の奨励助成
- (3) 学術論文集、研究報告書等の刊行に対する助成
- (4) 教官の海外派遣、講師の招聘のための斡旋援助
- (5) その他前条の目的を達成するために必要な事業

変更

(※下線部分が変更箇所)

第4条(事業)この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 経済学部の教育施設設備の充実整備のための物的、財的援助
- (2) 経済学部における学術研究の奨励助成
- (3) 学術論文集、研究報告書等の刊行に対する助成
- (4) 教官の海外派遣、講師の招聘のための斡旋援助
- (5) 大学及び大学院に在学する学生に対する奨学金の給付
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

以上

Pasco

だいじなひとの、
まいにちに。

敷島製パン株式会社
代表取締役副社長
田中 正樹 (大 21)



柑 芦 会

1) 2020年度 正味財産増減計算書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

科 目	2019年度実績	2018年度実績	増 減
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入会金	6,026,000	6,647,000	-621,000
利息収入	1,429,441	1,433,130	-3,689
広告収入	568,000	578,000	-10,000
補助金収入	0	149,120	-149,120
寄付金収入	13,000	0	13,000
雑収入	0	35,000	-35,000
経常収益合計	8,036,441	8,842,250	-805,809
(2) 経常費用			
支部総会祝金	0	130,000	-130,000
理事会費	550	275,388	-274,838
会議費	9,720	67,444	-57,724
通信費	134,981	127,501	7,480
広報活動費	1,406,510	1,566,667	-160,157
支部通信費補助	1,920,000	1,930,000	-10,000
旅費交通費	50,440	250,370	-199,930
寄付講義交通費	0	112,044	-112,044
ゲートウェイ交通費	0	200,970	-200,970
理事会等交通費	5,300	482,784	-477,484
支部活性化費	186,868	1,300,994	-1,114,126
香村賞費	345,850	494,279	-148,429
本部管理費	2,049,780	2,342,320	-292,540
卒業生記念品費	378,000	420,400	-42,400
事務用品費	91,732	211,411	-119,679
什器備品費	50,030	0	50,030
減価償却費	91,800	91,800	0
家 賃	500,000	500,000	0
柑芦編集費	0	25,421	-25,421
柑芦印刷費	2,070,200	2,095,465	-25,265
寄付金	0	0	0
慶弔費	10,000	0	10,000
雑 費	22,748	47,095	-24,347
経常費用合計	9,324,509	12,672,353	- 3,347,844
当期経常増減額	-1,288,068	-3,830,103	2,542,035
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券評価益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
有価証券評価損	1,851,000	2,516,000	-665,000
経常外費用合計	1,851,000	2,516,000	-665,000
当期経常外増減額	-1,851,000	-2,516,000	665,000
当期正味財産増減額	-3,139,068	-6,346,103	3,207,035
正味財産期首残高	127,731,076	134,077,179	-6,346,103
正味財産期末残高	124,592,008	127,731,076	-3,139,068

2) 2021年度 正味財産増減予算書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位:円)

科 目	2020年度
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
入会金	5,750,000
利息収入	1,430,000
広告収入	550,000
寄付金収入	0
雑収入	0
経常収益合計	7,730,000
(2) 経常費用	
支部総会祝金	200,000
理事会費	300,000
会議費	70,000
通信費	180,000
広報活動費	1,700,000
支部通信費補助	2,000,000
旅費交通費	300,000
寄付講義交通費	150,000
ゲートウェイ交通費	250,000
理事会等交通費	600,000
支部活性化費	2,650,000
香村賞費	500,000
本部管理費	2,500,000
卒業生記念品費	450,000
事務用品費	220,000
什器備品費	100,000
減価償却費	90,000
家 賃	0
柑芦編集費	30,000
柑芦印刷費	2,100,000
慶弔費	60,000
雑 費	50,000
経常費用合計	14,500,000
当期経常増減額	-6,770,000
2. 経常外増減の部	
経常外費用	
予備費	200,000
有価証券評価損	0
経常外費用合計	200,000
当期経常外増減額	-200,000
当期正味財産増減額	-6,970,000
正味財産期首残高	124,592,008
正味財産期末残高	117,622,008

3) 貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
流動資産			
現 金	52,522		
普通預金	8,375,492		
郵便貯金	699,641		
未収入金	277,003		
流動資産 計	9,404,658	負債合計	0
固定資産		前期繰越正味財産	127,731,076
ソフトウェア	145,350	(内 香村基金)	(100,000,000)
投資有価証券	115,042,000	当期正味財産増減額	-3,139,068
固定資産 計	115,187,350	正味財産 合計	124,592,008
資産 合計	124,592,008	負債・正味財産 合計	124,592,008

柑芦会役員名簿 (2021年8月10日現在)

顧問 学長 伊東千尋
顧問 学部長 芦田昌也

顧問 山中 静 (高20)
顧問 青柳 明雄 (大16)

☆は新任

役職	支部名	卒回		氏名	役職	支部名	卒回		氏名
会長	大阪	大18		北村 修一	理事	〃	大29	☆	松村 勉
副会長	和歌山	大 8		坂本 漸	〃	〃	大34		草場 寛
〃	大阪	大15		奥山 泉	〃	〃	大34		山根 木晴久
〃	東京	大30	☆	小林 淳	〃	東海	大20		伊藤 僚一
〃	神戸	大20		平林 義康	〃	〃	大26		赤塚 信正
〃	東海	大25		垣見 祐二	〃	〃	大30		岡野 英生
理事	和歌山	工 1		南村 桂太郎	〃	〃	大50	☆	中川 暢顕
〃	〃	大11		山崎 清作	〃	神戸	大17		吉田 和宏
〃	〃	短 6		塩路 茂一	〃	〃	大25		中原 憲造
〃	〃	大13		竹中 順一郎	〃	〃	大27		吉竹 俊道
〃	〃	大15		廣田 俊樹	〃	〃	大27		小野 田修一
〃	〃	大16		渥美 正道	〃	京滋	大14		和田 壽郎
〃	〃	大17		橋本 孝郎	〃	〃	大46		宮下 剛
〃	〃	大18		西本 和生	〃	北海道	大19		田中 廣
〃	〃	大20		小瀧 信	〃	東北	大46		菊池 静
〃	大阪	大14		金子 義明	〃	北陸	大41		林 国敏
〃	〃	大15		足立 邦雄	〃	福井	大24		江波 庄進
〃	〃	大16		青柳 明雄	〃	静岡	大14		澤田 務
〃	〃	大16		松石 憲一	〃	三重	大18		井上 俊一
〃	〃	大17		穂永 千秋	〃	姫路	大25		毛利 恵行
〃	〃	大21		井口 滋雄	〃	岡山	大15		真下 義則
〃	〃	大21		柏木 俊樹	〃	広島	大45	☆	三吉 規央
〃	〃	大23		西本 正人	〃	山口	大24		宮本 高司
〃	〃	大23		長谷 健太郎	〃	山陰	大17		吉村 政憲
〃	〃	大25		中村 隆昭	〃	徳島	大26		多田 昭弘
〃	〃	大26		塩谷 昭	〃	高知	大21		西川 博
〃	〃	大26		糸川 公偉	〃	香川	大22		島田 新市
〃	〃	大31		東海 秀明	〃	愛媛	大35		門屋 孝博
〃	〃	大31		平野 勝久	〃	九州	大19		石川 和彦
〃	〃	大32		岡田 治	〃	沖縄	大28		当真 一男
〃	〃	大33		渡邊 豊					
〃	〃	大46		本庄 麻美子					
〃	東京	大15		原 良也					
〃	〃	大15		西浦 英次	監事	和歌山	大28		山中 盛義
〃	〃	大26		末廣 利明	〃	大阪	大39		小柴 学司
〃	〃	大28		石田 隆造	〃	大阪	大47・院37		夫馬 竜司

理事66名(定数56名以上69名以内) 監事3名(定数2名または3名) 顧問4名

柑 芦 会

柑芦会 支部一覧表

支 部 名		事務所所在地
和歌山	和歌山	640-8227 和歌山市西汀丁36 和歌山商工会議所2F 山中会計事務所内 柑芦会 和歌山支部事務局
大 阪	大阪、奈良	540-0012 大阪市中央区谷町4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町207号
東 京	東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、山梨、長野、栃木	160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-14 新宿シテイ源ビル5F 和歌山大学柑芦会東京支部
東 海	愛知、岐阜	450-6426 名古屋市中村区名駅3丁目28番12号大名古屋ビルヂング26階 (有)あずさ監査法人名古屋事務所 岡野 英生様方
神 戸	兵庫(東播磨、北播磨、丹波以東および淡路)	659-0087 芦屋市三条町17-20芦屋三条町パークハイム302 中原憲造様方
京 滋	京都、滋賀	607-8182 京都市山科区大宅坂ノ辻町29-4 グランドムール山科306号 和田 壽郎様方
北海道	北海道	059-1942 北海道勇払郡安平町追分白樺2丁目28番地 田中 廣様方
東 北	青森、岩手、秋田、山形、福島、宮城	020-0004 岩手県盛岡市山岸二丁目 菊池 静様方
北 陸	富山、石川、新潟	921-8065 金沢市上荒屋3-311 林 国敏様方
福 井	福井	912-0061 大野市篠座町7-8 清水 啓司様方
静 岡	静岡	411-0021 三島市富士見台4-16 澤田 務様方
三 重	三重	516-0035 伊勢市勢田町608-136 山際 雅彦様方
姫 路	兵庫(神戸支部以外)	670-0965 姫路市東延末3丁目39 毛利会計事務所気付
岡 山	岡山	710-0826 倉敷市老松町3-13-36ジュンサンライト503号 本多 康重様方
広 島	広島	731-5127 広島市佐伯区五日市6-2-16 三吉 規央様方
山 陰	島根、鳥取	690-0884 松江市南田町92-7 友定 雅紀様方
山 口	山口	758-0041 萩市大字江向179-3 宮本 高司様方
徳 島	徳島	770-8040 徳島市上八万町中山6-11 三村 清美様方
高 知	高知	780-8037 高知市城山町192-1 西川 博様方
香 川	香川	761-0432 香川県高松市亀田南町87-108 山上 武司様方
愛 媛	愛媛	799-2696 松山市堀江町7番地 三浦工業(株) 内
九 州	九州全県	852-8063 長崎市北栄町4-5 石川 和彦様方
沖 縄	沖縄	904-0022 沖縄市園田1-3-30 当真 一男様方
北 米	アメリカ	6 Teramo Ct. Newport Coast, CA USA 92657
本部事務局		(和歌山) 640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 経済学部 分室 気付
		(大 阪) 540-0012 大阪市中央区谷町4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町207号
監 事		山中 盛義(大28)、小柴 学司(大39)、夫馬 竜司(大47・院37)

(2021.10.1.現在)

電 話	支 部 長	副 支 部 長		幹 事 長	在籍者数
073-423-1231	坂本 漸(大8)	後藤 善美(大7) 山崎 清作(大11)	塩路 茂一(短6)	山中 盛義(大28)	4,906
06-6941-4986	奥山 泉(大15)	糸川 公偉(大17)	平野 勝久(大31)	西本 正人(大23)	6,026
03-3366-3680	小林 淳(大30)	石田 隆造(大28) 松村 勉(大28)	山根木 晴久(大34)	草場 寛(大34)	1,270
052-589-0500	垣見 祐二(大25)	伊藤 僚一(大20)	赤塚 信正(大26)	岡野 英生(大30)	599
090-3657-8127	平林 義康(大20)	吉田 和宏(大17)		中原 憲造(大25)	872
075-581-4120	和田 壽郎(大14)			宮下 剛(大46)	364
0145-25-2801(FAX)	田中 廣(大19)				14
080-1824-2688	菊池 静(大46)	喜多 正行(大8)	村澤 美代子(大34)		48
076-205-1916	林 国敏(大41)				106
0776-21-8700	江波 庄進(大24)			清水 啓司(大31)	107
055-986-5223	澤田 務(大14)				107
0596-72-8025	井上 俊一(大18)	小谷 剛(大20) 太田 均(大22)	水谷 正道(大26)	山際 雅彦(大31)	212
079-283-1250	毛利 恵行(大25)	黒田 俊行(大29)		栄藤 雅雄(大31)	276
090-4840-2565	真下 義則(大15)	味野 耕二(大17)		本多 康重(大17)	204
082-921-1662	三吉 規央(大45)	山元 経穂(大49)			123
090-5696-0212	吉村 政憲(大17)			友定 雅紀(大24)	163
0838-26-8523	宮本 高司(大24)			橋本 尚明(大26)	55
090-1578-7941	多田 昭弘(大26)	丸木 一男(大14) 春藤 勝弘(大33)	相談役 中村 昌宏(大13)	三村 清美(大36)	142
088-833-7274	西川 博(大 21)		安岡 道夫(大21)		26
087-847-3185	島田 新市(大22)			梶 正司(大31)	85
089-979-1230	門屋 孝博(大35)				114
090-1876-1674	石川 和彦(大19)				357
098-932-2787	當真 一男(大28)			大城 直輝(大46)	26
213-610-7578	田中 昌平(大19)			西川 謹爾(大1)	21
				(小計)	16,223
073-457-7607	(大 学)	学部支援室 経済学部分室長 高橋 真紀子		(死亡・不詳等)	12,988
06-6941-4986	(会 長)	北村 修一(大18)		合 計	29,211
	(事務局長)	浦 義弘(大17)			

後援会

1) 2020年度 正味財産増減計算書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:円)

科目	2020年度実績	2019年度実績	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 財産運用益			
利息収入	325,237	573,375	-248,138
② 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
経常収益合計	325,237	573,375	-248,138
(2) 経常費用			
① 事業費			
施設設備援助	400,000	400,000	0
学術研究助成	0	900,000	-900,000
論文刊行等費用助成	0	0	0
海外留學費援助	0	600,000	-600,000
特定寄付(70周年記念事業)	30,000,000	0	30,000,000
事業費合計	30,400,000	1,900,000	28,500,000
② 管理費			
会議費	0	396,801	-396,801
通信費	6,580	0	6,580
事務用品費	43,045	46,839	-3,794
家賃	460,000	460,000	0
機器リース料	27,588	230,736	-203,148
租税公課	10,834	10,835	-1
雑費	58,678	42,672	16,006
管理費支出合計	606,725	1,187,883	-581,158
経常費用合計	31,006,725	3,087,883	27,918,842
当期経常増減額	-30,681,488	-2,514,508	-28,166,980
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
有価証券評価益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
有価証券評価損	177,000	956,000	-779,000
有価証券売却損	506,400	56,100	450,300
経常外費用合計	683,400	1,012,100	-328,700
当期経常外増減額	-683,400	-1,012,100	328,700
当期一般正味財産増減額	-31,364,888	-3,526,608	-27,838,280
一般正味財産期首残高	56,703,169	60,229,777	-3,526,608
一般正味財産期末残高	25,338,281	56,703,169	-31,364,888
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	25,338,281	56,703,169	-31,364,888

科目	2021年度予算
I. 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
① 財産運用益	
利息収入	140,000
② 受取寄付金	
受取寄付金	0
経常収益合計	140,000
(2) 経常費用	
① 事業費	
施設設備援助	400,000
学術研究助成	400,000
論文刊行等費用助成	0
海外留學費援助	1,000,000
特定寄付(70周年記念事業)	0
事業費合計	1,800,000
② 管理費	
会議費	200,000
通信費	0
事務用品費	50,000
家賃	960,000
機器リース料	30,000
租税公課	30,000
雑費	60,000
管理費支出合計	1,330,000
経常費用合計	3,130,000
当期経常増減額	-2,990,000
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
有価証券評価益	0
経常外収益合計	0
(2) 経常外費用	
有価証券評価損	0
有価証券売却損	0
経常外費用合計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	-2,990,000
一般正味財産期首残高	25,338,281
一般正味財産期末残高	22,348,281
II. 指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III. 正味財産期末残高	22,348,281

3) 貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産			
現金	17,261		
普通預金	13,732,479		
未収入金	37,493		
流動資産 計	13,787,233	負債合計	0
固定資産			
土地	138,048	前期繰越正味財産	56,703,169
投資有価証券	11,413,000	当期正味財産増減額	-31,364,888
固定資産 計	11,551,048	正味財産合計	25,338,281
資産 合計	25,338,281	負債・正味財産 合計	25,338,281

和歌山大学経済学部後援会・役員名簿 (2021年8月10日現在)

☆は新任

役職名	所属支部	卒回		氏名	役職名	所属支部	卒回		氏名
理事長	大阪	大18		北村 修一	評議員	和歌山	大13		竹中 順一郎
常務理事	和歌山	大8		坂本 漸	〃	〃	大16		渥美 正道
〃	大阪	大15		奥山 泉	〃	〃	大17		橋本 孝郎
〃	東京	大30	☆	小林 淳	〃	〃	大20		小瀧 信
〃	神戸	大20		平林 義康	〃	大阪	大17		浦 義弘
〃	東海	大25		垣見 祐二	〃	〃	大21		柏木 俊樹
理事	大阪	大14		金子 義明	〃	〃	大23		西本 正人
〃	〃	大16		青柳 明雄	〃	〃	大25		中村 隆昭
〃	〃	大21		井口 滋雄	〃	〃	大31		東海 秀明
〃	〃	大24		佐藤 直樹	〃	東京	大28		石田 隆造
〃	東京	大15		原 良也	〃	〃	大34		草場 寛
〃	〃	大15		西浦 英次	〃	東海	大30		岡野 英生
〃	〃	大26		末廣 利明	〃	神戸	大17		吉田 和宏
〃	神戸	大20		辻 均	〃	京滋	大46		宮下 剛
〃	京滋	大14		和田 壽郎	〃	東北	大46		菊池 静
〃	姫路	大25		毛利 恵行	〃	三重	大18		井上 俊一
					〃	姫路	大29		黒田 俊行
					〃	徳島	大26		多田 昭弘
					〃	香川	大22		島田 新市
					〃	九州	大19		石川 和彦
監事	和歌山	大28		山中 盛義					
〃	大阪	大39		小柴 学司					
〃	〃	大47・院37		夫馬 竜司					

任期 理事 2年(2022年5月まで)
 評議員 4年(2022年5月まで)
 監事 4年(2024年5月まで)

現在数 理事 16名(定数10名以上20名以内)
 評議員 20名(定数10名以上25名以内)
 監事 3名(定数3名以内)

訃報情報

本年4月、全会員向けに「消息葉書」を送付し、過年度分も含めて多くの方から訃報連絡を頂きました。心からご冥福をお祈り申し上げます。
ご逝去日をご連絡頂いていない場合は、「-」(不明)としています。(敬称略) (2021年8月10日現在)

卒	期	氏名	永眠年月日
高商	5	井上豊彦	2002.11.12
	6	森本英一郎	-
	8	山本捨雄	-
	9	川口正三	-
	9	松本政雄	-
	12	加納隆雄	-
	13	山本保男	-
	13	村橋四郎	-
	15	堀内弥一	-
	16	吉村正博	-
	17	石黒豊	-
	17	宮内富司	-
	18	土橋茂	-
	18	串間英夫	2020.11.1
	19	藺田環	2020.9.28
	19	出羽健二	-
	19	下野正次	-
	20	土山忠治	2018.3.22
	20	辻橋安文	2019.3.28
	経専	20	林喜一
20		津田盛男	-
20		鷹取卓二	-
20		岩佐成一郎	-
20		辰巳行男	-
1		植見房男	-
1		平野清明	-
1		桑原英彦	-
1		宮野秋彦	2020.12.-
1		山下薫	2021.3.4
2		半田多喜男	-
2		森岡巍	-
2		嶋村登郎	2021.5.25
2		岸裏匡郎	2021.7.14
3		竹内謙二	-
3		吉田太一	2020.7.20
3		加田文彦	2019.5.8
3		岡崎四郎	2015.7.4
3		西岡明	2020.11.21
3		重命龍三	2020.11.23
3	杖村治	-	
4	若尾誠之助	-	
4	北山卓司	-	

卒	期	氏名	永眠年月日	
工専	1	高木敏	2019.8.-	
	1	川口利和	-	
	1	馬場猛	-	
	1	稲葉昭	-	
	1	高塚善吉	-	
	1	森田弘	-	
	1	中田亘	-	
	2	山本善昭	2019.-.-	
	2	伊庭一郎	2019.9.-	
	2	粉川寛	2021.1.30	
	2	松本一郎	-	
	2	立花清治	-	
	2	辻明	-	
	2	望月井泉	2020.12.29	
	2	武岡敬吉	2020.10.-	
	大学	1	安田雄次郎	2019.2.-
		1	別所寛昭	-
		1	大田隆造	2020.2.29
		1	大福塚展夫	-
		1	藤原英夫	-
1		名手敬	-	
1		出口博一	2018.12.8	
2		神谷充薫	2021.3.2	
2		赤松良幹	2021.3.11	
2		岩橋敏夫	-	
2	土岐和孝	-		
2	赤松盛次	-		
2	山本正	2016.-.-		
2	福田功	-		
2	大友澄男	-		
3	川端陽三	2019.10.21		
3	根来宏	2020.1.-		
3	千田正人	2019.8.29		
3	味村勝	-		
3	川崎楠夫	-		
3	川瀬順通	-		
3	鳴神徹	2020.10.31		
3	鈴木寿	-		
3	岡崎寿樹	-		
3	中平元	-		
3	井上吉	-		
3	南谷三津	2020.5.-		

卒	期	氏名	永眠年月日
大学	3	勝部俊一郎	2020.12.21
	4	福田一郎	2021.1.-
	4	下原正信	-
	4	西芳史	-
	4	高沢俊吉	-
	5	種田靖弘	2020.-.-
	5	楽谷信夫	2020.8.8
	5	榎本陽一	-
	5	岩永定吉	-
	6	上原正三郎	2020.1.4
	6	久山稔	2020.9.27
	6	堀田正信	2021.1.28
	6	三島八壽夫	2019.8.18
	7	渡辺信彦	-
	7	中川基行	-
	7	若尾喜平治	-
	7	宇治田真三	-
	7	片山全雄	-
	7	梅垣洋	2020.12.15
	7	岡田卓也	2019.11.-
	7	濱本實	2021.7.9
	8	古家宗一	2020.12.9
	8	今井通博	2021.1.5
	8	海野ミヅホ	-
	8	角野善彦	2019.12.25
	8	福田敏男	-
	9	嵯峨田健	2019.11.19
	9	和泉章	2021.1.18
	10	杉本和之	2020.8.17
	10	森勝則	-
	11	小池布紗雄	2021.7.7
	12	小椋博文	-
	12	岸本光雄	2020.12.-
	12	糸井勲緒	2015.10.25
	12	木原正雄	2018.1.19
	12	山崎誠造	-
	12	高橋新一	-
	13	與野正直	2012.1.3
	13	青木充生	2013.1.7
	13	岡本志郎	2013.1.10
	13	市山義明	2017.4.-
	13	和田進	2017.5.-
	13	平塚昭	2019.4.-
	13	浅尾敏	2020.11.-
	13	南方忠	2021.1.12
	14	島田勝光	2020.10.26
	14	大福地博文	2021.1.7

卒	期	氏名	永眠年月日
	14	榊井實	-
	15	小林英二	2021.7.-
	16	小津田正弘	-
	16	富澤宏彦	-
	16	香川淳	-
	16	大久保克也	2021.8.1
	17	椎木和光雄	2021.1.20
	17	林正雄	-
	17	野田真之	2021.6.18
	18	川西哲司	-
	18	八木芳雄	2020.11.27
	19	八綾塔大	-
	19	山田史郎	-
	20	平野博次	-
	21	武石正博	2020.-.-
	21	出口雅章	2019.-.-
	21	宮崎豊博	2016.1.26
	21	大林秀行	-
	21	高井寛	2014.6.27
	21	前田成年	-
	21	西村孝	-
	22	鈴木修	-
	22	林清則	-
	22	丸林敏明	2021.4.3
	24	福島四郎	2020.-.-
	24	重栖隆	-
	25	谷口繁	-
	26	熊澤富夫	-
	27	田渕啓二	-
	29	高橋陽生	-
	29	佐野尊久	-
	29	山浦達也	-
	30	宮西祥介	-
	30	山形晴彦	-
	31	岡野光信	2020.2.3
	34	高橋寿英	-
	38	山本明	2017.12.7
	46	久野智康	-
	57	松尾侑加里	-
	59	上田志朋	-
院	2	稲部知義	2019.4.12
短大	1	石原重治	-
	1	上島晃司	-
	2	小倉良平	-
	2	巽章夫	-
	2	西山雅夫	-
	2	山下敏夫	-

卒	期	氏 名	永眠年月日
短大	2	森 澤 保 二	-
	2	山 本 怜	-
	2	三 宅 道 夫	2019.6.9
	3	瀬 戸 昭 夫	2005.1.-
	3	広 野 禎 甫	-
	3	谷 口 文 男	2009.5.25
	3	杉 田 栄 司	-
	3	上 野 山 敦 士	-
	3	脇 田 嘉 和	2020.8.3
	3	檜 葉 吉 夫	-
	3	山 崎 義 彦	-
	3	村 田 英 治	-
	4	佐 藤 欽 一	-
	4	山 口 年 弘	-
	4	藤 本 宗 男	2020.5.14
	4	森 本 明 夫	2021.5.17
	5	四 至 本 猛 夫	-
	5	山 本 敏 夫	-
	5	廣 野 脩 三 郎	2019.7.24
	5	秦 野 健 治	-
	6	塩 路 幸 也	-
	6	井 上 鉄 也	2020.12.9
	7	島 田 精 三	-
	8	岡 本 憲 児	-
	9	ノ 木 保 晃	-
	9	松 下 啓 晃 子	-
	9	深 田 栄 子	-
	9	木 村 典 生	-
	10	辻 俊 博	-
	11	高 城 仁	-
	11	田 村 彰 男	-
	13	橋 爪 正 彦	-
	13	中 井 義 和	-
14	池 上 重 昭	2020.12.21	
14	岩 田 登	-	
15	宮 本 眞	-	
18	植 忠 久	2020.10.28	
22	鶴 山 宗 楽	-	
25	川 上 幸 生	-	
33	佐 田 万 紀 子	-	

広告索引

「柑芦」第52号

(50音順)

ア	旭精機工業(株) …………… 107	田中会計事務所…………… 72
	岩垣会計事務所 …………… 68	チョーヤ梅酒(株) …………… 21
	鵜島会計事務所 …………… 29	坪内会計事務所 …………… 117
	(株)岡本設計…………… 24	道頓堀ホテル …………… 115
カ	川瀬計理事務所…………… 74	ナ
	(株)共立合金製作所 …………… 44	名尾公認会計士事務所 …… 118
	(株)小泉組 …………… 76	(株)南北 …………… 70
	柑芦結婚相談室 …………… 127	ハ
サ	斎藤直樹税理士事務所 …… 30	(株)白山機工…………… 35
	司法書士法人さくら国際 …… 14	パークス(株) …………… 72
	敷島製パン(株)…………… 133	紀三井寺ガーデンホテル はやし …… 26
	(株)島精機製作所 …………… 39	阪和興業(株) …………… 77
タ	大成金属(株) …………… 54	マ
	高島工業(株) …………… 47	毛利会計事務所 …………… 74
		ヤ
		山中静事務所…………… 122
		米本合同税理士法人…………… 90

〈和歌山大学経済学部創立100周年記念〉

「柑芦53号」(2022年度版)名刺広告申込要領

来年2022年に和歌山大学経済学部創立100周年を迎えますが、次号の柑芦第53号は100周年記念号として発行する予定です。(2022年10月発行予定)

つきましては、同号にて会員皆様の名刺広告を実施いたしますので、お申し込みいただきたくお願い致します。

卒業以来会う機会の少なかった、同期、クラブ、ゼミ等の学友へ、「元気にしています!」の発信をしてみませんか?

1. 発行：2022年 10月 発行予定部数：5,000部予定
2. 広告サイズ：特別サイズ(柑芦誌1頁×1/6 天地 7.0cm 左右 7.2cm)原寸大下記

黒 潮 太 郎	
大□□期	
クラブ：□□部	ゼミ：□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□□□□□□□□□□□□□□□	
□□□□□□□□□□□□□□□□	

掲載内容は、氏名、期、クラブ、ゼミ、自由記述(60字以内)とします。
自由記述は、役職、肩書、住所、電話、メッセージ等何でも可。

3. 費用：1万円(掲載後郵便振替にて請求させていただきます。)
「柑芦」の制作費用に充当させていただく予定です。
4. 申し込み方法：本誌綴込みの申込書(右頁)を切り取りFAXにてお送りください。
5. 申込締切日：2022年4月30日(土)

◆お申込み、お問合わせ先

和歌山大学 柑芦会 本部事務局 浦 義弘 藤井 英雄
〒540-0012 大阪市中央区谷町4-4-17-207
電話：06-6941-4986 FAX：06-6947-7925
E-mail：honbu@kourokai.org

〈和歌山大学経済学部創立100周年記念〉

「柑芦53号」(2022年度版)名刺広告申込書

「柑芦」編集委員会 御中

(FAX:06-6947-7925)

下記の通り会誌「柑芦53号」に名刺広告の掲載を申し込みます。

20 年 月 日

サイズ	柑芦誌1頁×1/6 (天地 7.0 cm 左右 7.2 cm)
住所	〒 - 高商・経専・工専 大学・院・短大 期
名前	
電話番号 アドレス	<hr/> <hr/>
	クラブ： ゼミ：
自由記述	60字以内

キリトリ線

(担当)柑芦会本部 事務局 浦 義弘 藤井 英雄
電話 06-6941-4986 FAX 06-6947-7925

2年続くコロナ禍のもと、いろいろな制限の中で、柑芦第52号はやっと完成、発刊にこぎつけることができました。和歌山大学卒業生の中心的組織として柑芦会各支部の会員のご協力、編集委員各位のご尽力に深く感謝申し上げます。

対面からリモートへ、大学も職場も新しい環境への移行に対応せざるを得なかった一年でした。第52号の特集として、コロナ終息が待てない中、「withコロナの日常」について、会員の皆様のご意見、お知恵を伺うこと、また来年、和歌山高等商業学校以来続く経済学部が100周年となる記念の年の取り組みと、その後続く柑芦会創設100周年記念に向けての準備を取り上げました。

支部だよりもお決まりの報告ではなく、各支部の取

り組みの紹介であり、談話室での意見交換がどれだけ出来たかたかを、編集の評価としたいと思います。

まだまだ編集委員としての取材活動は十分にできませんが、会員の相互のつながりと、母校の現状をお伝えできるようこれからもご協力をお願いする次第です。

今年の6月、編集委員のキーパーソンの一人野田真之氏(17期)がご逝去されたことは編集委員会の大きな痛手となりました。ここ数年編集委員の絶対的人数も不足しています。お手伝いしていただける方を募集しています。リモート会議が増えている現在です。常時ご出席していただく必要はありません。ご意見や情報のご提供が中心となります。ご協力よろしく願いいたします。

「柑芦」編集委員長 大17 穂永 千秋

柑芦 第52号(2021年版)

2021年10月発行

発行所 大阪市中央区谷町4丁目4-17
ロイヤルタワー大阪谷町207号

電話 06-6941-4986

FAX 06-6947-7925

発行人 北村 修一

編集人 穂永 千秋

(印刷・製本 東洋紙業高速印刷株式会社)

柑芦編集委員会

委員長 穂永 千秋(大阪)

委員 林 歳昭(姫路)

同 青柳 明雄(大阪)

同 松石 憲一(大阪)

同 本多 康重(岡山)

同 萩原 謙(神戸)

同 中川 暢顕(東海)

同 中川 貴照(東京)

各支部 広報支局員

広告掲載申込み受付中!!

「柑芦」の編集費用は、広告収入でその大部分を賄っております。

皆様のご協力をお願いします。

お問合せ、お申込みは、本部事務局へ

《投稿募集!!》

柑芦会員並びに関係者の方々からの投稿を歓迎いたします。

随筆・紀行文・俳句・短歌・詩……など

ただし、編集上、訂正、削除等の変更がある場合をお含み置き下さい。



wakayama
univ.